

第 1 6 8 0 回島根県教育委員会会議 議題書

令和 8 年 9 月 7 日 (月)
日 時
13 時 30 分～

第 1 6 8 0 回教育委員会会議議題

期日 令和 8 年 9 月 7 日(月)

議 題

— 公 開 —

(議決事項)

第11号 令和 9 年度県立高等学校の入学定員について (学校企画課) ———— 4

第12号 令和 8 年度教育委員会の点検・評価報告書について (総務課) ———— 9

第13号 令和 9 年度島根県公立学校教育職員人事異動方針等について
(学校企画課) ———— 87

(報告事項)

第34号 令和 8 年度 9 月補正予算案 (9 月 9 日上程分) の概要について
(総務課) ———— 89

第35号 県立学校の教育職員及び市町村立学校の教職員の特殊勤務手当
に関する条例の一部を改正する条例について (総務課) ———— 92

第36号 こども性暴力防止法施行への対応について (学校企画課) ———— 95

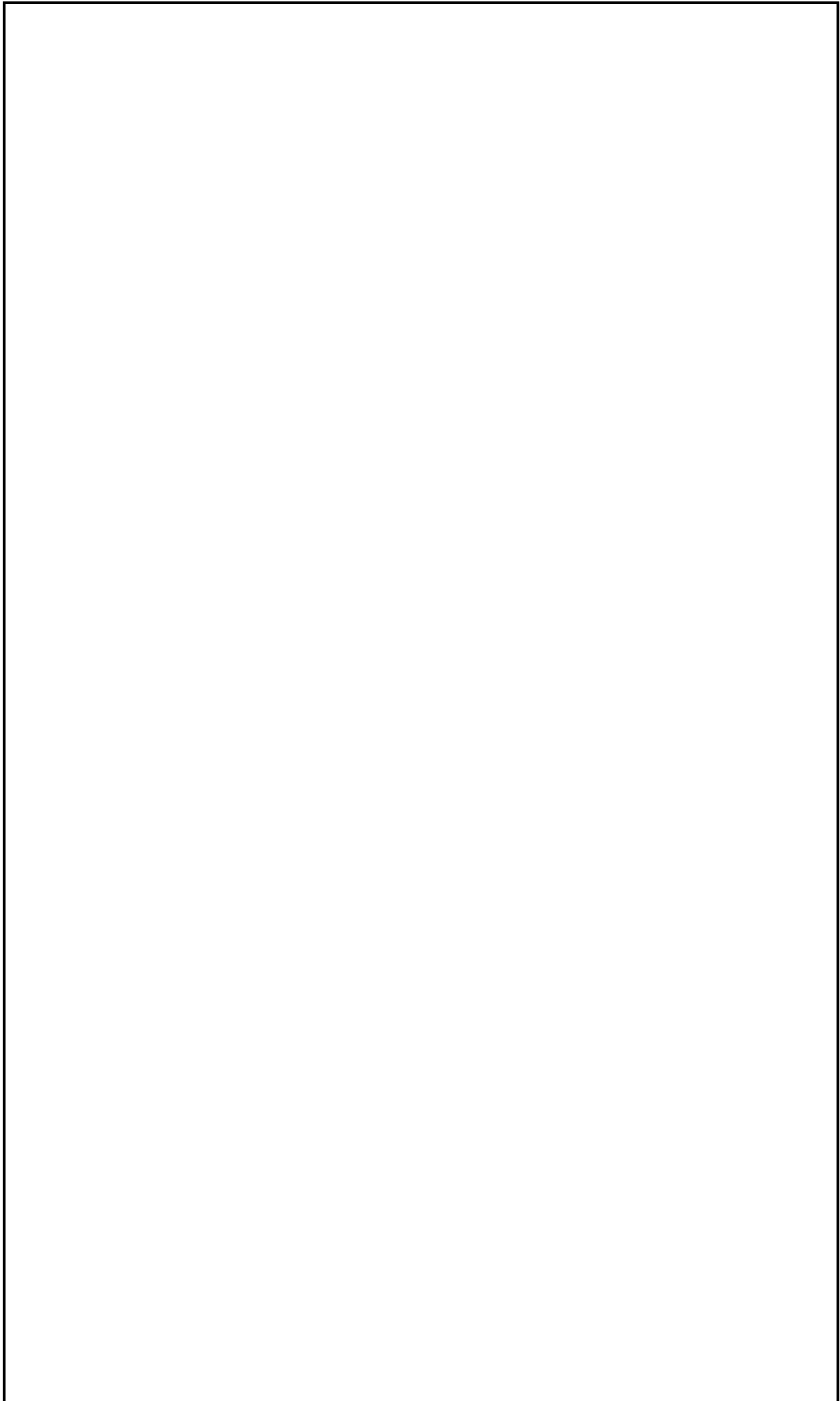
第37号 令和 9 年度島根県公立高等学校入学者選抜について
(学校教育課) ———— 97

第38号 令和 9 年度使用県立高等学校教科用図書の採択結果について
(学校教育課) ———— 100

第39号 令和 9 年度使用特別支援学校教科用図書の採択結果について
(特別支援教育課) ———— 113

第40号 令和 8 年度全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会等
の成績について (保健体育課) ———— 142

第41号 第50回全国高等学校総合文化祭の成績について (社会教育課) ———— 144



令和 9 年度県立高等学校の入学定員について

1 定員設定の方針

- 令和 9 年 3 月の県内中学校卒業予定者（義務教育学校を含む。以下同じ。）は、令和 8 年 3 月と比べて県全体で 4 名増加すると見込まれる。（別紙 1 参照）
- 各地域の中学校卒業予定者数の増減や近年の定員充足状況等を踏まえ、県立高校において入学定員の増減は行わない。

区 分		令和 8 年度	令和 9 年度	増減
全日制	学級数	1 2 4	1 2 4	± 0
	入学定員	4, 8 4 3	4, 8 4 3	± 0
定時制	学級数	9	9	± 0
	入学定員	3 6 0	3 6 0	± 0
通信制	学校数	2	2	± 0
	入学定員	4 0 0	4 0 0	± 0
専攻科	学級数	2	2	± 0
	入学定員	2 0	2 0	± 0

2 入学定員の増減がある高校

該当校なし（別紙 2 参照）

3 学科改編等を行う高校

全日制	松江北高校	単位制を導入する ※令和 9 年度入学生より年次進行
-----	-------	-------------------------------

【参考】 公立高等学校入学者選抜の日程

〔全日制・定時制〕

総合選抜 中高一貫特別選抜 スポーツ特別選抜	学力検査	令和9年1月20日
	※教育委員会が作成する学力検査を 実施する学校のみ	
	合格内定通知	令和9年1月28日
	合格発表	令和9年3月12日
一般選抜 第2次募集	学力検査	令和9年3月 3日
	追検査	令和9年3月 9日
	一般選抜合格発表・第2次募集実施校公表	令和9年3月12日
	第2次募集作文・面接検査等	令和9年3月18日
	第2次募集合格発表	令和9年3月23日

〔通信制〕

令和9年度島根県公立高等学校入学者選抜実施要綱にて後日公表

市郡別中学校等在籍者数(R8. 5. 1現在)

別紙 1

R6. 3～R8. 3は中学校等卒業者実数

	高 3	高 2	高 1	中 3	中 2	中 1
中学校等卒業年	R6.3	R7.3	R8.3	R9.3	R10.3	R11.3
安来市	305	313	326	279	291	265
前年差	△ 19	8	13	△ 47	12	△ 26
松江市	1,816	1,886	1,797	1,829	1,816	1,804
前年差	△ 74	70	△ 89	32	△ 13	△ 12
雲南市	302	311	270	306	271	287
前年差	△ 11	9	△ 41	36	△ 35	16
飯石郡飯南町	41	28	36	36	27	35
前年差	7	△ 13	8	0	△ 9	8
仁多郡奥出雲町	92	82	83	78	80	79
前年差	1	△ 10	1	△ 5	2	△ 1
出雲市	1,620	1,552	1,655	1,615	1,628	1,616
前年差	△ 1	△ 68	103	△ 40	13	△ 12
大田市	254	262	266	265	250	242
前年差	△ 22	8	4	△ 1	△ 15	△ 8
邑智郡	151	125	145	124	132	123
前年差	13	△ 26	20	△ 21	8	△ 9
川本町	22	17	19	23	18	22
美郷町	33	37	44	29	35	25
邑南町	96	71	82	72	79	76
江津市	143	166	146	169	159	163
前年差	△ 37	23	△ 20	23	△ 10	4
浜田市	408	397	423	400	372	371
前年差	△ 2	△ 11	26	△ 23	△ 28	△ 1
益田市	394	403	361	391	391	351
前年差	△ 2	9	△ 42	30	0	△ 40
鹿足郡	90	77	71	71	85	66
前年差	△ 5	△ 13	△ 6	0	14	△ 19
津和野町	38	49	42	39	50	37
吉賀町	52	28	29	32	35	29
隠岐の島町	105	108	98	98	113	110
前年差	△ 1	3	△ 10	0	15	△ 3
島前3町村	36	39	29	49	32	47
前年差	△ 8	3	△ 10	20	△ 17	15
県内合計	5,757	5,749	5,706	5,710	5,647	5,559
前年差	△ 161	△ 8	△ 43	4	△ 63	△ 88

別紙 2

令和9年度 県立高等学校 入学定員

全 日 制 課 程											
学校名	学 科	学級数	入学定員	1学級人数	備 考	学校名	学 科	学級数	入学定員	1学級人数	備 考
安 来	普 通	4	160	40		大 社	普 通	5	200	40	
情報科学	情報処理	1	120	40			体 育	1	40	40	
	マルチメディア	1		40			計	6	240		
	情報システム	1		40			大 田	普 通	3	120	40
	計	3	120		理 数			1	40	40	
松 江 北	普 通	5	200	40				計	4	160	
	理 数	1	40	40		邇 摩	総合学科	3	120	40	
	計	6	240			島根中央	普 通	3	105	35	
松 江 南	普 通	5	200	40		矢 上	普 通	2	72	36	
	探究科学	1	40	40			産業技術	1	36	36	
	計	6	240				計	3	108		
松 江 東	普 通	5	200	40		江 津	普 通	2	80	40	
松江工業	機 械	1	40	40		江津工業	機械・ロボット	1	40	40	
	電子機械	1	40	40			建築・電気	1	40	40	
	電気電子工学	1	40	40			計	2	80		
	情報クリエイター学	1	40	40			浜 田	普 通	4	160	40
	建築都市工学	1	40	40		理 数		1	40	40	
	計	5	200			計		5	200		
松江商業	商 業	3	200	40		浜田商業	商 業	1	80	40	
	国際ビジネス	1		40			情報処理	1		40	
	情報処理	1		40			計	2	80		
	計	5	200			浜田水産	海洋技術	1	40	40	
松江農林	生物生産	1	40	40			食品流通	1	40	40	
	環境土木	1	40	40			計	2	80		
	総合学科	2	80	40		益 田	普 通	3	120	40	
	計	4	160				理 数	1	40	40	
大 東	普 通	3	90	30			計	4	160		
横 田	普 通	3	90	30		益田翔陽	電子機械	1	40	40	
三 刀 屋	総合学科	4	160	40			電 気	1	40	40	
	掛合	普 通	1	40	40			生物環境工学	1	40	40
飯 南	普 通	2	80	40			総合学科	1	40	40	
平 田	普 通	4	160	40			計	4	160		
出 雲	普 通	6	240	40			吉 賀	普 通	1	40	40
	理 数	1	40	40		津 和 野	未来共創	2	80	40	
	計	7	280			隠 岐	普 通	2	60	30	
出雲工業	機 械	1	40	40			商 業	1	30	30	
	電 気	1	40	40			計	3	90		
	電子機械	1	40	40		隠岐島前	普 通	1	80	40	
	建 築	1	40	40			地域共創	1		40	
	計	4	160				計	2	80		
出雲商業	商 業	3	120	40		隠岐水産	海洋システム	1	40	40	
	情報処理	1	40	40			海洋生産	1	40	40	
	計	4	160				計	2	80		
出雲農林	植物科学	1	40	40		合 計					
	環境科学	1	40	40							
	食品科学	1	40	40							
	動物科学	1	40	40							
	計	4	160								

定 時 制 課 程					
学校名	学科(部)	学級数	入学定員	1学級人数	備 考
松江工業	機 械	1	40	40	夜間部
	電 気	1	40	40	
	建 築	1	40	40	
	計	3	120		
宍 道	普通(午前部)	2	80	40	昼夜間三部
	普通(午後部)	1	40	40	
	普通(夜間部)	1	40	40	
	計	4	160		
浜 田	普通(昼間部)	1	40	40	昼夜間二部
	普通(夜間部)	1	40	40	
	計	2	80		
合 計		9	360		

通 信 制 課 程			
学校名	学 科	入学定員	備 考
宍 道	普 通	300	後期入学を含む
浜 田	普 通	100	後期入学を含む
合 計		400	

専 攻 科					
学校名	学 科	学級数	入学定員	1学級人数	備 考
浜田水産	漁業・機関	1	10	10	
隠岐水産	漁業・機関	1	10	10	
合 計		2	20		

【参考】 松江市立高等学校入学定員

全 日 制 課 程					
学校名	学 科	学級数	入学定員	1学級人数	備 考
松江市立 皆美が丘 女子	普 通	3	90	30	
合 計		3	90		

令和8年度教育委員会の点検・評価報告書について

1 概要

- ・ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、令和8年度教育委員会の点検・評価報告書を県議会に提出する。
- ・ 同条第2項の規定に基づき、「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る」こととされている（8月5日に島根県総合教育審議会を開催）。
- ・ 8月17日の教育委員会会議において、点検・評価報告書（案）について協議

2 報告書の編集上のポイント

- (1) 令和7年度の教育委員会委員の活動状況及び教育委員会の特徴的な動きを記載
- (2) しまね教育振興ビジョンの30施策に関連する事務事業ごとに、取組の成果、課題、方向性を記載
- (3) 参考資料として各事務事業に係るK P I（重要業績評価指標）の状況を掲載

3 目次

■ はじめに

I 点検・評価の趣旨	1
II 点検・評価の構成	1
III 施策体系表	2

■ 点検・評価

I 令和7年度の県教育委員会委員の活動状況について	3
II 令和7年度県教育委員会の特徴的な動き	6
III 点検・評価	
1 発達の段階に応じた学力の育成	18
2 教育上の配慮が必要な子どもの学びへの支援	34
3 地域との協働による学びの充実	42
4 教育の基盤となる環境の整備と充実	47
【資料】各事業に係るK P I（重要業績評価指標）の状況	63
IV 島根県総合教育審議会の主な意見	73

4 今後のスケジュール（予定）

9月9日 9月定例県議会に提出

令和 8 年度
教育委員会の点検・評価報告書
(案)

令和 8 年 9 月
島根県教育委員会

目 次

■ はじめに	1
I 点検・評価の趣旨	1
II 点検・評価の構成	1
III 施策体系表	2
■ 点検・評価	3
I 令和7年度の県教育委員会委員の活動状況について	3
II 令和7年度県教育委員会の特徴的な動き	6
① 発達の段階に応じた学力の育成	6
② 幼小連携・接続の推進	7
③ ICT教育の充実	8
④ 高校魅力化の推進	10
⑤ インクルーシブ教育システムの構築	11
⑥ 悩みの相談対応	12
⑦ 教員不足への対応（教員の確保対策）	13
⑧ 教職員の働き方改革（地域人材を活用した指導力等向上事業）	14
⑨ 江津地域における新設校についての検討	16
⑩ 令和7年度全国高等学校総合体育大会（中国ブロックインターハイ）	17
III 点検・評価	18
1 発達の段階に応じた学力の育成	18
(1) 基礎学力の育成	18
(2) 幼小連携・接続の推進	19
(3) 理数教育の充実	20
(4) ICTを活用した教育の推進	22
(5) ふるさと教育や探究的な学びの推進	23
(6) 読書活動の推進	25
(7) 国際理解教育の推進	26
(8) キャリア教育の推進	27
(9) 望ましい生活習慣の確立、心身の健康づくりと体力の向上	28

(10) 人権教育の推進	31
(11) 道徳教育の推進	33
2 教育上の配慮が必要な子どもの学びへの支援	34
(1) インクルーシブ教育システムの推進	34
(2) 不登校児童生徒等への支援	37
(3) 学校と福祉の連携の推進	39
(4) 日本語指導が必要な児童生徒等への支援	40
(5) 学び直しの体制の充実	41
3 地域との協働による学びの充実	42
(1) 地域との連携・協働の推進	42
(2) 地域を担う人づくり	43
(3) 社会教育における学びの充実	43
(4) 家庭教育支援の推進	45
(5) 体験活動の充実	45
4 教育の基盤となる環境の整備と充実	47
(1) 学びを支える指導体制の充実	47
(2) 教職員の人材育成	49
(3) 働き方改革の推進	51
(4) 学校危機管理体制の充実	52
(5) 学校施設の環境改善の推進	53
(6) 部活動の地域連携・地域移行	55
(7) 図書館サービスの充実	55
(8) 文化財の保存・継承と活用	56
(9) 私立学校への支援	62
【資料】各事業に係るK P I（重要業績評価指数）の状況	63
IV 島根県総合教育審議会の主な意見（令和8年8月5日開催）	73

■ はじめに

I 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

島根県教育委員会（以下「県教育委員会」という。）では、本県教育の基本理念や施策の方向性を示した「しまね教育振興ビジョン」（令和7年3月策定。以下「教育ビジョン」という。）の取組について、島根県総合教育審議会の意見を得て、「教育委員会の点検・評価」を実施し、この報告書にまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）〔抜粋〕

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 点検・評価の構成

1 特徴的な動き

令和7年度の県教育委員会における特徴的な動きを記載しています。

2 各施策の点検・評価項目

点検・評価の対象項目を教育ビジョンの施策とし、施策ごとに点検・評価を行っています。なお、各項目には、教育ビジョンの各施策における「今後の方向性」を転載しています。

3 名称、目的、目指す状態

各施策と関連する行政評価の主な事務事業などについて記載しています。

4 成果、課題、方向性

事務事業ごとの取組の成果、課題、今後の方向性を記載しています。

5 その他

この報告書のほか、別途、議会に提出する「予算執行の実績並びに主要施策の成果」のうち該当部分についても、点検・評価の結果に関する報告書とみなすものとします。

Ⅲ 施策体系表

教育ビジョンは具体的かつ実情に即した「基本目標」を掲げ、その基本目標を実現するための具体的施策を記載しており、この報告書における点検・評価の対象となる施策はこの具体的施策の項目としています。

項 目	施 策 名
1 発達の段階に応じた学力の育成	(1) 基礎学力の育成
	(2) 幼小連携・接続の推進
	(3) 理数教育の充実
	(4) I C Tを活用した教育の推進
	(5) ふるさと教育や探究的な学びの推進
	(6) 読書活動の推進
	(7) 国際理解教育の推進
	(8) キャリア教育の推進
	(9) 望ましい生活習慣の確立、心身の健康づくりと体力の向上
	(10) 人権教育の推進
	(11) 道徳教育の推進
2 教育上の配慮が必要な子どもの学びへの支援	(1) インクルーシブ教育システムの推進
	(2) 不登校児童生徒等への支援
	(3) 学校と福祉の連携の推進
	(4) 日本語指導が必要な児童生徒等への支援
	(5) 学び直しの体制の充実
3 地域との協働による学びの充実	(1) 地域との連携・協働の推進
	(2) 地域を担う人づくり
	(3) 社会教育における学びの充実
	(4) 家庭教育支援の推進
	(5) 体験活動の充実
4 教育の基盤となる環境の整備と充実	(1) 学びを支える指導体制の充実
	(2) 教職員の人材育成
	(3) 働き方改革の推進
	(4) 学校危機管理体制の充実
	(5) 学校施設の環境改善の推進
	(6) 部活動の地域連携・地域移行
	(7) 図書館サービスの充実
	(8) 文化財の保存・継承と活用
	(9) 私立学校への支援

■ 点検・評価

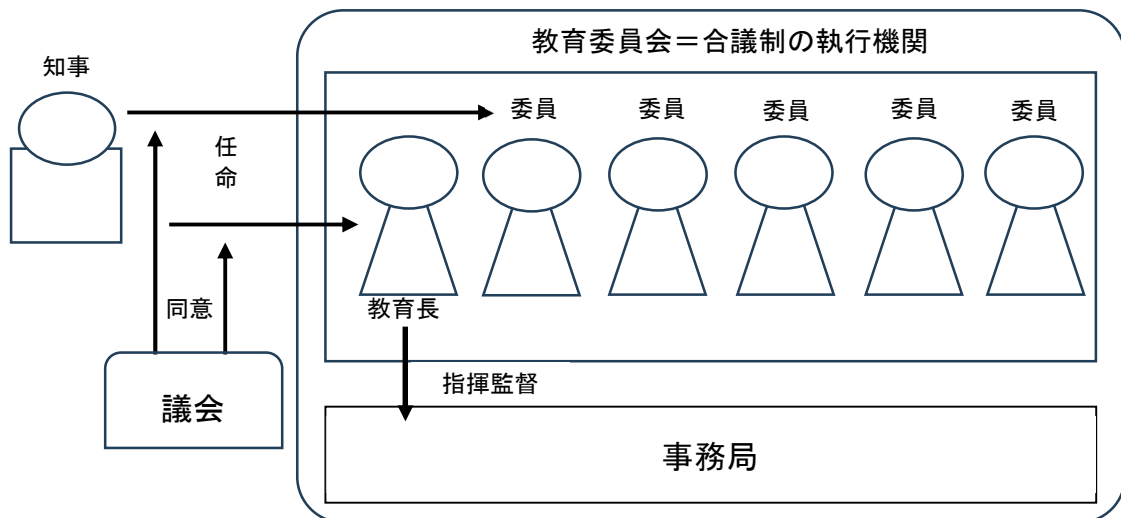
I 令和7年度の県教育委員会委員の活動状況について

1 教育委員会の制度

(1) 教育委員会の法的位置づけ

- ・ 法律の定めるところにより、執行機関として普通地方公共団体に置かねばならない委員会として、教育委員会があります。（他に選挙管理委員会、人事委員会など）（地方自治法第180条の5）
- ・ 都道府県及び市町村に教育委員会を置くこととされています。（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第2条）
- ・ 教育委員会は、学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理し及びこれを執行することとされています。（地方自治法第180条の8）

(2) 県教育委員会の組織構成



(3) 教育委員会の役割

- ① 最高意思決定機関
- ② 意思決定方法
 - ・ 「教育委員会会議」で議決、承認します。
- ③ 教育長
 - ・ 任期3年
 - ・ 人格が高潔で、教育行政に関し識見を有する者から、知事が議会の同意を得て任命します。
 - ・ 教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。（会議の主宰者、具体的な事務執行の責任者、事務局の指揮監督者）
- ④ 教育委員
 - ・ 任期4年
 - ・ 人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者から、知事が議会の同意を得て任命します。
 - ・ 委員には、保護者である者が含まれるようにしなければなりませんとされています。

2 県教育委員会会議の開催状況

県教育委員会では、令和7年度に14回の教育委員会会議を開催し、議決事項54件、承認事項6件、協議事項12件、報告事項96件について審議を行いました。

回数	開催年月日	(件)						(人)
		議決	承認	協議	報告	その他	計	傍聴者
1	令和7年4月21日(月)	-	-	-	6	-	6	6
2	令和7年5月19日(月)	3	-	1	4	-	8	2
3	令和7年6月2日(月)	2	-	-	3	-	5	0
4	令和7年7月22日(火)	2	1	1	8	-	12	3
5	令和7年8月20日(水)	3	1	2	4	-	10	2
6	令和7年9月4日(木)	6	-	-	8	-	14	5
7	令和7年10月16日(木)	3	1	1	10	-	15	5
8	令和7年11月20日(木)	5	-	2	9	-	16	1
9	令和7年12月22日(月)	7	1	1	8	-	17	2
10	令和8年1月22日(木)	3	1	-	5	-	9	1
11	令和8年2月5日(木)	-	-	1	4	-	5	1
12	令和8年2月17日(火)	3	1	2	6	-	12	0
13	令和8年3月10日(火)	8	-	1	8	-	17	1
14	令和8年3月26日(木)	9	-	-	13	-	22	2
計		54	6	12	96	-	168	31

<主な議事>

議事内容	内 容
議決	令和8年度使用県立高等学校・特別支援学校高等部用教科用図書の採択の基本方針
	島根県立高等学校規程及び島根県立高等学校通信教育規程の一部改正
	令和8年度島根県公立学校教育職員人事異動方針等
	島根県指定文化財の指定
	教育職員免許法及び教育職員免許法施行法施行細則の一部改正
	県立学校の組織編制に関する規則の一部改正
	江津地域における新設校のスクール・ミッション
	島根県教職員働き方改革プラン（県立学校の働き方改革と市町村教育委員会への取組）
	しまね特別支援教育魅力化ビジョン後期版
承認	令和8年度定期人事異動方針（教育委員会事務局等職員及び県立学校事務職員等）
協議	令和7年度教育委員会の点検・評価報告書
報告	教員不足の状況と対策
	石見銀山発見500年島根県記念事業
	教職員の働き方改革の進捗状況
	令和7年度全国学力・学習状況調査の結果概要
	文化財（登録有形文化財）の登録
	県立図書館の改修等
	高校生の就職活動に関する意識調査
	令和7年度江津地域における新設校開校準備委員会の検討状況等

協議事項：教育行政に関する重要な事案又は将来教育委員会会議において議決を要する事案で教育委員の協議を要するもの

3 教育現場等の視察

教育現場等の実状を把握することによって、教育課題への認識を深めるとともに、教育委員会会議における審議に活かすため、視察を行いました。

視察年月日	視察先
令和7年7月2日 (水)	豊川小学校、吉田小学校
令和7年7月3日 (木)	浜田高校、浜田ろう学校
令和7年7月9日 (水)	宍道高校

4 その他の活動

(1) 各種会議への出席

例年開催されている全国都道府県教育委員会連合会総会などに出席して、教育行政に関する情報収集に努めるとともに、他の都道府県の教育委員との意見交換を行いました。

開催年月日	会議名	開催地
令和7年7月15日 (火) 16日 (水)	全国都道府県教育委員会連合会総会	青森県
令和7年10月21日 (火) 22日 (水)	中国五県教育委員会委員全員協議会	鳥取県
令和8年1月15日 (木)	都道府県・指定都市教育委員研究協議会	(オンライン開催)
令和8年1月26日 (月) 27日 (火)	全国都道府県教育委員会連合会総会	東京都

(2) 市町村教育委員会委員との意見交換

令和7年度は、しまね教育振興ビジョンや益田市教育ビジョンの内容、地域における教育行政（ふるさと教育等）について、益田市教育委員会委員との意見交換を行いました。

Ⅱ 令和7年度県教育委員会の特徴的な動き

県教育委員会が行った令和7年度の取組、事業において、次に記載する特徴的な動きがありました。

① 発達の段階に応じた学力の育成

ビジョンの施策番号	1-(1) 基礎学力の育成
1	事業の目的及び事業内容の概要 学校図書館やICT機器を活用しながら他者と協働して自分の考えを深める協調学習を推進することで、授業の質の向上を目指す。 児童生徒の基礎的な知識・技能の定着や活用力の伸長を図るため、市町村と連携し、学力の実態把握や授業の質の充実など、学力育成の取組を推進する。
2	事業の実績及び効果 (1) 各校提案・伴走型、STEAM教育特化型事業 各高校のグランドデザインの実現に向けた、生徒の教科学力の向上及び教員の指導力向上の取組を支援した。また、理科・数学などの自然科学に興味関心をもつ生徒の視野を拡大するとともに、生徒の資質・能力を伸ばすための理数教育を充実した。 (2) 学習指導要領・大学入試改革への対応（共通教科「情報」） 専科教員数が限られている中で、普通科の共通必修履修科目であり、大学入学共通テストの受験科目に位置づけられている「情報Ⅰ」の指導を充実するため、「情報Ⅰ」授業支援ツールの導入や非常勤講師の配置等により指導体制等の支援を実施した。 (3) 授業改善リーダーの育成 協調学習等をテーマに授業改善研究を行う「授業力向上プロジェクト」を実施し、各校より31名の研究担当教員、172名のサポートメンバー教員の参加があった。研修会や研究授業を通じて教科や学校間を越えて研究協議をすることができた。 (4) 理数教育推進（スーパーサイエンスハイスクール） 益田高校、出雲高校及び松江南高校で科学に対する興味・関心を醸成し、科学的リテラシーを備えた国際社会で活躍できる人材を育成するための教育プログラムの研究開発を行った。 (5) 夢実現進学チャレンジセミナー 島根大学医学部の協力を得て、医学に関する講話や実習、施設見学や医学英語講座を実施し、高校1年生33名が参加した。 (6) 学びの基盤に関する調査【令和7年度新規】 教科学力の基盤となると考えられる「言葉、語彙」「数、形、量」「思考力、推論力」等における、小学校低学年段階の学習のつまずきの要因を把握するための「学びの基盤に関する調査」（たつじんテスト）を実施した。実施校において「つまずきの要因を把握する」という調査の意図が浸透し、つまずきに対する具体的な方策を考える契機となった。 (7) 小学校理数教科指導力向上プロジェクト【令和7年度新規】 全国学力・学習状況調査の結果から見える本県の課題を踏まえ、授業プラン及び評価問題を活用し、授業改善を学校全体で進めるとともに、教員の授業力向上と児童の学力育成を図る「小学校理数教科指導力向上プロジェクト」を算数科で実施した。26名の授業改善リーダーが作成した授業プラン及び評価問題を発信し、活用を促した。

② 幼小連携・接続の推進

ビジョンの施策番号

1ー(2) 幼小連携・接続の推進

1事業の目的及び事業内容の概要

(1) 目的

幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることから、幼児教育施設をはじめ、家庭、地域等における幼児教育の質の向上を図るとともに、幼児教育において育まれた資質・能力が小学校教育に円滑に接続できるよう幼児教育施設、小学校、家庭及び地域が一体となって、幼小連携・接続の取組を推進する。

(2) 事業内容

市町村主催の幼児教育の質の向上に関する保育者等を対象とした研修及び幼小連携・接続に係る幼小合同研修等、市町村の架け橋期の教育推進に対する支援を行う。

2事業の実績及び効果

(1) 幼児教育センターの運営

① 市町村の架け橋期の教育推進に係る指導や助言

・ 幼児教育センターに指導主事及び幼小連携・接続アドバイザー、幼児教育コーディネーターを配置

【令和7年度の派遣実績】

幼小連携・接続に関する指導・助言	68回	15市町村
幼児教育の質の向上に関する指導・助言	65回	18市町村

② 保育者の資質向上を目的とした集合型研修の実施

・ オンライン研修等、研修会場への参加が難しい参加者への配慮やオンデマンド研修、動画活用により、参加者が増加

・ 幼児教育推進研修における幼小連携・接続に係る実践発表を中心とした研修への小学校関係者の参加が少ないため、今後、小学校への働きかけが課題

区 分	R 元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
参加人数	595人	146人	214人	533人	923人	681人	825人

③ 家庭教育支援

・ ふるまい推進員派遣による「子育て」や「こどものつながりづくり」等の研修を実施

区 分	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
派遣実績	7 回	17回	48回	33回	34回	33回

(2) 「しまねの架け橋期の教育ガイド」の普及

国や県が進めている幼児教育の質の向上並びに幼小連携・接続についての理解と実践が県内で進むよう、令和7年3月に策定した「しまねの架け橋期の教育ガイド」を活用し、研修の機会等において周知を図った。

(3) 幼小連携・接続推進実践研究事業【令和7年度新規】

架け橋期の教育が充実するよう、3年間の市町村委託事業（1年目）として、出雲市において推進校区を指定して実践研究事業を実施し、架け橋期のカリキュラムを作成するとともに、「教育指導員」を配置して、1年生の集団作りをサポートした。

③ ICT教育の充実

ビジョンの施策番号	1-(4) ICTを活用した教育の推進
1 事業の目的及び事業内容の概要 (1) 目的 グローバル化や社会の情報化が急速に進展する中で、子どもたちが情報や情報手段を主体的に選択して活用していくための基礎的な資質（情報活用能力）を身に付け、情報社会に主体的に対応していく力を備えることが益々重要となっている。子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、ICTを効果的に活用した教育を推進する。 (2) 事業内容 ICT活用の基盤となる環境整備や教員のICTスキルを高めるための研修を一体的に実施する。 2 事業の実績及び効果 (1) 高等学校 ① 生徒一人一台端末導入支援事業 ・ 端末購入補助事業の実施（端末購入費の1／3補助） ・ 分割購入を可能とする奨学金の貸与 ・ 低所得世帯向け貸出端末の貸与 ② ICT活用の基盤となる環境整備 ・ 一人一台端末を活用した教育活動の円滑な運営を支えるためのDX推進運営支援センターを設置し、クラウド環境全般の運用管理を委託するとともに、ICT支援員を巡回配置 ・ 生徒一人一台端末の同時一斉使用を可能とする大容量ネットワーク環境（ローカルブレイクアウト）の整備 ③ ICT活用を推進するための研修等を実施 ・ ICT活用推進リーダー教員研修 ・ ICT基盤管理担当者研修 ・ 各学校の実情に応じた学校個別研修 ④ 各学校・課程・学科の垣根を超える高等学校改革推進事業 多様な学習ニーズに対応するための遠隔授業を3校4科目で実施するとともに、配信拠点センターを宍道高校に設置するための準備を実施 ⑤ 高等学校DX加速化推進事業 デジタル等成長分野を支える人材育成のため、情報、数学、理科等の教育を重視するカリキュラムの実施やICTを活用した文理横断的、探究的な学びを強化する学校において、必要な校内環境整備を実施 (2) 特別支援学校 ① ICT活用の基盤となる環境整備（教員一人一台整備） ・ 指導者用端末の整備 ② ICT活用を推進するための研修を実施 ・ ICT担当者スキルアップ研修・実践報告会（計3回） ・ 外部委託講師による各学校巡回型のICT活用研修（各学校年間2回） ③ 児童生徒一人一台端末整備事業 ・ 小中学部児童生徒用端末整備 ④ 高等部ICT環境整備事業 ・ 高等部生徒用一人一台端末に係る管理システム、フィルタリングアプリ整備	

(3) 市町村支援

① I C T活用を推進するための研修を実施

- ・ 教職員研修
初任者研修等経験年数に応じた研修・各教科等の研修・能力開発研修
- ・ 出前講座及び要請訪問
学校や市町村の教科部会等を対象としたI C T活用に係る研修

② 児童生徒一人一台端末の共同調達に関する会議体の運営及び調達経費の助成

- ・ 県教育委員会教育長及び市町村教育委員会教育長を構成員とする「島根県G I G Aスクール構想推進協議会」を計4回開催。また、同協議会に設置している共同調達部会（作業部会を含む。）を計19回開催し、共同調達する端末仕様の検討などの調整等を実施
- ・ 市町村が調達する経費に充てるため、国の補助金を財源として島根県公立学校情報機器整備事業基金への積立てを行うとともに、端末の更新を行う市町村に対して、同基金を取り崩して更新費用の助成を実施

④ 高校魅力化の推進

ビジョンの施策番号	1-(5) ふるさと教育や探究的な学びの推進 3-(1) 地域との連携・協働の推進
-----------	--

1 事業の目的及び事業内容の概要

学習指導要領及び県立高校魅力化ビジョンに基づき、学校と地域が協働した人づくりを推進し、「主体的・対話的で深い学び」、「社会に開かれた教育課程の実現」に取り組む学校や市町村等を支援する。

2 事業の実績及び効果

1) 高校魅力化コンソーシアム運営支援事業

教育的機能と地方創生的機能を持つ高校魅力化コンソーシアムに対し、運営マネージャーの配置費や活動費を支援し、地域協働体制の整備、関係機関との調整など、コンソーシアムの円滑な運営に重要な役割を果たした。

2) 高校魅力化教育活動推進事業

大学や地元企業等と連携した探究学習や進路学習、県外生徒募集など、地域の特色に応じた高校と地域社会との協働による取組を支援し、魅力ある学校づくりを推進した。

3) 高大連携推進事業

県内大学への進学を希望する生徒の進路実現や材料エネルギー学部をはじめとする島根大学理系学部など県内大学との連携強化を図るため、高大連携推進員を県内大学のキャンパスが存在する松江、出雲、石見の各エリアに計3名配置し、高校生に対し大学の学びに興味関心を高める講座や、総合型・推薦型選抜への理解を深めるプログラムを実施した。

4) 探究による人材育成支援事業

すべての県立高校で取り組んでいる課題解決型学習の推進に向け、各高校の探究学習推進担当者に対して、研修会の実施や学校訪問等の伴走等により、各高校の取組を支援した。また、1年間の探究学習の成果を発表する場を設け、各高校間で学び合う場を創出した。

5) しまね留学推進事業

島根で学ぶ生徒にとって、多様な価値観との出会いや、視野の広がり、交流の拡大やコミュニケーション力の向上を図るため、オンライン等による県外からの生徒募集を行った。

公立高校における県外入学者数

H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
184人	184人	179人	195人	199人	230人	184人	215人	205人	214人

6) 教育魅力化推進事業

・ 高校魅力化評価システム

成果の見えにくい「教育の魅力化」について、生徒、教職員、地域の大人たちに対して「地域の学習環境」「生徒の成長」などを検証するアンケートを行い、結果を詳細分析し、施策のPDCAに活用した。

・ 高校地域協働体制運営研修

高校魅力化コーディネーター等の育成や、横の連携（ネットワーク）を強化するため、オンラインを活用した情報共有や研修会を開催したことにより、教育魅力化に携わる人材の育成を図った。

⑤ インクルーシブ教育システムの構築

ビジョンの施策番号	2-① インクルーシブ教育システムの推進
1 事業の目的及び事業内容の概要 全ての学びの場で特別支援教育を充実させることで、障がいのある子どもの自立と社会参加を促進するとともに、地域を支える人材を育成する。 2 事業の実績及び効果 (1) 発達障がいの可能性のある子どもへの支援事業 ・ 小中学校等の教員への特別支援教育に関わる教育相談や研修等支援を行い、地域における特別支援教育の充実を図った。 ・ 県立高校において、自校通級4校、ろう学校2校の巡回による難聴通級に加え、5圏域で拠点校6校（松江北高校・出雲高校・浜田高校・益田高校・隠岐高校・隠岐島前高校）の巡回による指導を行い、通級による指導の充実を図った。 ・ 5圏域6校の拠点校が特別支援教育に係る推進センター校として、高校間のネットワークの構築や圏域の中学校と連携を図った。 (2) 切れ目ない支援体制整備事業 ・ 切れ目ない支援体制の構築のため、教育・福祉・労働分野等の関係部局・関係機関による県の連携協議会において、各市町村の取組の参考となる講義、情報提供を行った。 ・ 適切な就学支援につながるよう、県教育支援委員会及び就学事務担当者会を開催し、ニーズに応じた情報共有や協議等を行った。 (3) 特別支援学校機能向上事業 ・ 医療的ケア実施校においても、高度な医療的ケアに対応するため、一部の学校に非常勤学校看護師の配置や非常用蓄電池の配備を行った。 (4) 特別支援学校と地域の連携強化事業 ・ 全ての特別支援学校が、積極的な地域人材活用による地域活動やスポーツ、文化活動を通じて、地域と連携・協働した教育活動の拡充に取り組んだ。 (5) LDのある子どもの多様な学び推進事業 ・ 指定市町村のニーズに応じて研修協力や学校訪問等、全県に向けたオンデマンド研修を実施し、事業成果をまとめたリーフレットを作成した。	

⑥ 悩みの相談対応

ビジョンの施策番号	2-② 不登校児童生徒等への支援
1 事業の目的及び事業内容の概要 全国的に生徒指導上の課題が複雑化、多様化しているなか、いじめや不登校などの未然防止、早期発見、早期対応のため、スクールカウンセラー等を配置する。 2 事業の実績及び効果 (1) 心の相談事業 松江・浜田の教育センターに教育相談員を配置し、電話や来所による相談に対応した。また、中学・高校生にとって気軽に相談しやすいSNSを活用した相談窓口を設置し、土・日・休日の相談を含め、児童生徒及び保護者のニーズに応じた相談活動を行った。 (2) スクールカウンセラー配置事業 スクールカウンセラー及びスクールカウンセラーに準ずる者を全ての公立学校に配置した。 また、スクールカウンセラー「時間外・長期休業中・休日等相談センター」を設置する9市町にスクールカウンセラーを派遣した。 児童生徒、保護者の相談にあたったほか、教員への助言・援助等により不登校等の予防・解決を図った。 (3) スクールソーシャルワーカー活用事業 児童生徒がおかれた様々な環境の問題に対処するため、スクールソーシャルワーカーを活用する事業を中核市である松江市を除く全市町村に委託した。県立学校へは、宍道高校、浜田高校定時制・通信制及び三刀屋高校掛合分校に配置した。その他の県立学校に対しては、学校からの要請に応じた派遣に加え、巡回訪問を実施し、不登校等の生徒指導上の課題や、貧困を始めとする就学上の課題の未然防止・早期発見・早期対応に努めた。特に学校と家庭と関係機関との福祉的な調整役として連携を図った。 (4) 校内教育支援センター支援員配置事業【令和7年度新規】 公立小中学校において、校内教育支援センターを拠点として、不登校から学校復帰する段階にある児童生徒や不登校傾向のある児童生徒に対し、学習支援を行うとともに、スクールカウンセラー等の専門家と連携した相談支援を行う「校内教育支援センター支援員」を配置する市町村の取組に対して支援した。 (5) 教育相談員配置事業 定時制・通信制を併置する宍道高校及び浜田高校定時制・通信制並びに三刀屋高校掛合分校に教育相談員を配置し、不登校や問題行動等の課題を抱える生徒の相談に対応した。	

⑦ 教員不足への対応（教員の確保対策）

ビジョンの施策番号	4-① 学びを支える指導体制の充実
1 事業の目的及び事業内容の概要 深刻な教員不足に対応するため、即戦力及び若手の人材確保、Uターン・Iターンの促進、教員志望者の裾野拡大並びに募集広報・教職の魅力発信の強化を総合的に進め、教員の確保に努める。 2 事業の実績及び効果 (1) 中堅層・即戦力の確保、Uターン・Iターン促進 ① 30～40歳代の中堅層の不足等を踏まえ、即戦力となる人材を早期に確保するために、5月上旬と10月上旬に「特別選考試験」を実施した。正規教員として3年以上勤務している者を対象として、面接試験のみで選考した。 【第1回試験：5月】 33人受験、18人名簿登載（Uターン7人、Iターン8人、県内経験者3人） 【第2回試験：10月】 13人受験、11人名簿登載（Uターン5人、Iターン4人、県内経験者2人） ② 県外在住の教員経験者のUターン・Iターンの促進するために、ふるさと島根定住財団主催のイベント「しまね移住フェア」に相談ブースを開設した。ブースには28名の相談があった。 (2) 若手教員の確保 教員採用試験において、教職の専門性に加え、ふるさと島根への愛着と誇りを持った優秀な人材を採用するため、次の取組により受験者確保に努めた。 ① 試験の前倒し実施 ② 県内大学に在籍し学長の推薦を受けた者を対象とする「島根創生特別枠」 ③ 一部の校種・教科において第1志望と第2志望の両方で受験できる「併願制度」 ④ 小学校・特別支援学校小学部の第2次試験において県外会場（大阪・東京）を設置 (3) 教員志望者の裾野拡大 ① 大学生への働きかけ 県内大学1・2年生を対象に、入学後の早い段階から学校現場での体験活動を通して、教員を目指す意欲を醸成し、教職に対する理解を深めるために、県内公立学校で「学校職場体験（5日間）」を実施した。また、教員養成に関する連携協定を締結したI P U環太平洋大学の2年生が行うアウトリーチ教育実習を県内の小学校1校で、また広島文教大学の2年生を対象とした観察実習を県内の小学校3校で受け入れるなど、島根の良さと教職の魅力を感じてもらうことで本県の教員志望者増加に努めた。 ② 高校生への働きかけ 県内大学と連携して、県内6校（出雲地域2校、石見地域3校、隠岐地域1校）でセミナーを開催し、教員志望の大学生が高校生に教職の魅力を伝える活動を行った。また、この6校を含む県内13校の希望者が島根大学教育学部を見学したり、大学の附属学校で授業見学を行ったりした後に、教員志望の大学生と交流した。この取組により、教員養成大学への進学者数が増加傾向にあるため、今後もこれらの学校を中心に活動内容の充実を図っていく。 (4) 募集広報・教職の魅力発信強化 教員採用情報提供サイト「しまねの先生ナビ」のコンテンツを追加し、記載内容の充実を図った。また、教員募集の広告を様々な媒体を利用して積極的に発信した（web広告、民間求人サイト、テレビ、歩道橋横断幕など）。	

⑧ 教職員の働き方改革（地域人材を活用した指導力等向上事業）

ビジョンの施策番号	4-③ 働き方改革の推進
1 事業の目的及び事業内容の概要 教職員の働き方改革プラン（平成31年3月策定。以下「改革プラン」という。）に基づき、①教育の質の向上、②教職員の心身の健康保持、③仕事と生活の充実、④教職を目指す人材の確保を目的として、教職員の働き方改革の推進を図る。 改革プランでは、達成に向けた数値目標を設定し、令和元年度から令和3年度までを重点取組期間と定め、取組を推進した。令和4年度に重点期間の取組の検証と今後の方向性を取りまとめ、公表し、令和5年度から市町村との協働による新規取組も含めた各種事業を推進した。 【数値目標】 ① 時間外勤務時間 月45時間以内、年360時間以内 ② 年次有給休暇取得日数 全教職員年5日以上、全校種平均13日以上 ③ ワーク・ライフ・バランス とれていると感じる教職員の割合90%以上 2 事業の実績及び効果 (1) 改革プランにおける数値目標の状況 ① 時間外勤務の状況（令和6年度） 改革プラン策定前の状況からは全校種で改善した。月45時間以内の目標は全校種で達成。一方、年360時間以内の目標は、特別支援学校のみで達成したが、他は未達成。 ・ 小学校 月32.7時間（年392時間） ・ 中学校 月37.4時間（年449時間） ・ 高等学校 月38.9時間（年467時間） ・ 特別支援学校 月18.1時間（年217時間） ・ 全校種平均 月33.5時間（年402時間） ② 年次有給休暇の取得状況（令和6年） 取得日数は年々増加しており、全校種平均13日以上の目標は達成。一方、年5日以上取得した教職員は92.4%に留まり、全教職員年5日以上取得の目標は未達成。 ・ 取得日数13.5日 ③ ワーク・ライフ・バランスの意識の状況（令和7年度） 教職員の休憩時間及び持ち帰り仕事等の実態調査において、とれていると感じる教職員の割合は、67.1%となり、とれていると感じる教職員の割合90%以上の目標は未達成。 (2) 令和7年度の重点取組 ① 外部サポート人材の配置 ア スクール・サポート・スタッフ 小学校、中学校及び義務教育学校に教員の業務支援を行うスクール・サポート・スタッフを配置する市町村に対して補助を行い、教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備した。（18市町214校） イ 県立学校アシスタント ・ 高等学校と特別支援学校の全校に学校アシスタントを配置し、教員が抱える事務作業の軽減による物理的・精神的負担の軽減と生徒と向き合える時間の一層の確保を図った。 (ア) 高等学校 ・ 12学級以上の19校及び地域と一体となった教育活動の一層の促進が求められる中山間地域・離島の小規模校1校：各2名分 ・ 12学級未満の16校：各1名分 ・ 定時制の2校：各0.5名分	

(イ) 特別支援学校

全12校：各1名分

- ・ 教員の事務作業等に充てる時間が1人あたり月約204分削減され、教員の物理的負担の軽減が図られた。
- ・ 配置校の教員を対象としたアンケート調査において、93%の教員が多忙感の解消に役立ったと答えるなど、教員の精神的負担の軽減が図られた。

ウ 学習指導員

- ・ 感染症等対策に係る休校のあった学校について、学校再開後の授業で、内容の定着が不十分な生徒に対してきめ細かにフォローができる学習指導員の配置を希望する市町村に対して、その配置に要する経費の補助を行った。（5市町36校）
- ・ 学習指導員が、学習内容の定着が不十分な児童生徒への個別指導等を行うことにより、教員の負担軽減につながった。

エ 副校長・教頭マネジメント支援員

- ・ 小中学校における教頭の厳しい勤務実態を踏まえ、その学校マネジメント等に係る業務を専門的に支援するための人材を配置。希望する市町村に対して、その配置に要する経費の補助を行った。（2市2校）
- ・ 県立学校において依然として教頭の負担が深刻な状況を踏まえ、令和7年度から、学校規模、教頭数、時間外勤務時間数から対応が必要な学校に対してマネジメント等に係る業務を専門的に支援するための人材を配置した。（4校）
- ・ 教頭の時間外勤務や業務の軽減、負担感の軽減につながった。

② リーダー養成の取組

教職員の意識改革や業務改善を図るため、専門講師による研修を通じて、各学校の働き方改革の「きっかけ」を創出した。また、各学校の自走した取組への伴走支援として、学校及び管理職を対象に、ワークショップ形式の参加型研修（働き方改革伴走支援研修）を17回（小学校5校、中学校5校、県立学校3校、管理職研修等4回）実施した。

⑨ 江津地域における新設校についての検討

ビジョンの施策番号	4-⑤ 学校施設の環境改善の推進
1 事業の目的及び事業内容の概要 新設校開校準備委員会において、新設校の学校運営の基本方針や施設及び設備等に関する様々な検討を実施する。 【新設校開校準備委員会】 ・ 目的 新設校の開校準備に関する業務を適切かつ能率的に処理するために設置 ・ 構成員 江津高校及び江津工業高校の学校長等並びに教育庁関係課長 ・ オブザーバー 江津市、江津市教育委員会、GO▶GOTSUコンソーシアム、両校学校運営協議会等 ・ 設置期間 令和6年2月から令和10年3月まで (Ⅰ期：R6. 2～R7. 3、Ⅱ期：R7. 4～R10. 3) 2 事業の実績及び効果 新設校開校準備委員会では、Ⅰ期において、新設校の教育内容や施設整備の構想などの概要について検討を行い、検討結果を令和7年3月に「Ⅰ期まとめ」として、整理した。 令和7年度は、他の先進事例などの調査・研究を行い、教育課程や部活動の大まかな方向性を検討するとともに、単位制の導入及び新設校のスクール・ミッションを決定した。あわせて、子どもの意見を検討に反映するため、アンケート調査を実施及び公表した。 (1) Ⅰ期まとめの概要（Ⅰ期：R6. 2～R7. 3） ① 設置場所 江津市江津町1477番地（江津工業高校所在地） ② 新設校の開校 令和10年4月（令和9年度実施の入学者選抜より募集開始） ③ 新設校の設置 令和9年度中に設置（県議会への条例案提出）予定 ④ 新設校のイメージ・特色 【普通科系】 ・ 「普通科」と「新しい普通科」の学科を設置し、くくり募集とする。 ・ 「新しい普通科」は、地域と連携した探究的な活動を実践する教科・科目を設置 ・ 工業科の学びや、工業科の生徒との協働した学びを行う。 ・ 県立大学との連携の実績を基に、さらに充実した地域探究活動を実現する。 【工業系】 ・ 「機械・電気系」と「建築都市工学系」の学科を設置し、くくり募集とする。 ・ 機械・電気系の学科の中に機械コース、電気コースを設置 ・ 建築都市工学系の学科では、建築の学びに加え、街づくりに必要な測量や設計などを学ぶ都市工学系の内容も加える。 ・ ポリテクカレッジ島根との連携や地元産業界等との連携による学びを行う。 ⑤ 教育活動の特色 【部活動】 ・ 統合前の両校の特色を引き継ぎ、男女ハンドボール部、水球部及びボート部の強化を進める。 ・ 石見神楽など地域の伝統や文化を生かした部活動や工業系の専門性を生かしたモノづくりのできる部活動の設置を検討する。 【円滑な統合に向けた教育活動】 ・ 統合前に両校行事の合同開催、部活動合同チームの結成、合同練習などを行う。 ・ これらの活動を円滑に行うために必要な交通手段としてバスを整備した。 (2) Ⅱ期のスケジュール（Ⅱ期：R7. 4～R10. 3） 主に教育の特色、施設整備、円滑な統合に向けた活動や校名・校歌・校章などについて検討、整理を行う。	

⑩ 令和7年度全国高等学校総合体育大会（中国ブロックインターハイ）

ビジョンの施策番号	1-(9)望ましい生活習慣の確立、心身の健康づくりと体力の向上														
1 事業の目的及び事業内容の概要 令和7年度に県内で6種目（体操競技、男子バレーボール、レスリング、フェンシング、なぎなた、カヌー）が開催される全国高等学校総合体育大会に向けて、選手強化や開催準備を着実に進め、事業計画のとおり本大会を開催するとともに、本大会を契機としたスポーツ振興を図る。 2 事業の実績及び効果 (1) 選手強化 県内で開催する6種目の競技や、それ以外の中国ブロック開催の競技強化について、県外遠征や強豪校を招いて合宿等を実施し、全国高校総体開催に向けての選手強化を図ることができた。入賞した競技数は前年度の8競技から10競技に増加し、特に、地元開催の6競技では3競技（カヌー、フェンシング、なぎなた）で入賞することができた。 島根県開催競技種目 <table border="1"> <tr> <th>競技名</th><th>会場地</th></tr> <tr> <td>体操（体操競技）</td><td>浜田市</td></tr> <tr> <td>バレーボール（男子）</td><td>松江市</td></tr> <tr> <td>レスリング</td><td>雲南市</td></tr> <tr> <td>フェンシング</td><td>安来市</td></tr> <tr> <td>なぎなた</td><td>出雲市</td></tr> <tr> <td>カヌー</td><td>美郷町</td></tr> </table> (2) 開催準備 全国高校総体に向け、県実行委員会において、県高体連、各競技団体、会場地となる市町と連携し、開催準備のための調整や広報活動、競技に必要な備品の整備を行った。また、会場地市町に対し、大会開催に要する経費や選手等の計画輸送に要する経費、実行委員会の運営費や広報活動等の開催準備に係る経費の一部補助を行った。 大会開催に向け、会場地市町や競技団体等と緊密に連携し、着実に準備を進めたほか、競技に出場する選手の活躍、大会運営補助や広報・PR、おもてなし活動等を通じた高校生の支援、関係者の協力等により、本県における全国高校総体を成功裡に終えることができた。		競技名	会場地	体操（体操競技）	浜田市	バレーボール（男子）	松江市	レスリング	雲南市	フェンシング	安来市	なぎなた	出雲市	カヌー	美郷町
競技名	会場地														
体操（体操競技）	浜田市														
バレーボール（男子）	松江市														
レスリング	雲南市														
フェンシング	安来市														
なぎなた	出雲市														
カヌー	美郷町														

Ⅲ 点検・評価

1 発達の段階に応じた学力の育成

(1) 基礎学力の育成

- 「第2期しまねの学力育成推進プラン」（令和7年3月策定）における、「目指す授業像」に向けた取組により、児童生徒が「できた・わかった・やってみたい」と実感できる授業を展開します。
- 各教科等の学力の基盤になると考えられる「言葉、語彙」「数、形、量」「思考力、推論力」等について、小学校低学年段階からの学習のつまずきの要因を把握し、児童生徒に対する学習を支援するとともに、「全国学力・学習状況調査」の課題を踏まえた評価問題及び授業プランを作成し、展開します。
- 児童生徒一人ひとりの理解度にあわせた学びの推進や主体的に学びに向かう力を育成するため、学習の場面や発達の段階に応じたデジタル教材や学習アプリ等、一人一台端末を活用した学びを推進します。
- 学校図書館を活用した授業や、学校で学んだ知識及び技能を地域社会の課題解決に役立てる活動等を通じ、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力等を育成します。
- 授業と家庭学習を結びつけた指導等により、児童生徒が自主的に学習計画を立て、課題の探究に取り組むことができる「自立した学びの力」を育成します。
- 学習習慣の定着を図るため、放課後児童クラブにおいても、宿題や読書等に集中して取り組める環境を整備する市町村を知事部局と連携して支援します。
- 豊かな自然や歴史・文化、伝統、人との関わりの中で本物に触れる学びを通して、学びへの興味・関心を高め、主体的に学びに向かう意欲を醸成します。
- 小学校、中学校、高等学校を通じて、主体的に学習する態度の育成や教科等横断的な学習の推進に向け、授業改善の取組を引き続き行い、各学校の好事例を共有する機会を設けるなど、教員研修のより一層の充実を図ります。

名称	学力育成推進事業		所属	学校教育課
目的	対象	公立小・中学校及び県立高校の児童・生徒	目指す	児童・生徒の基礎的な知識・技能の定状態 着や学びを生かす力の伸長を図る。
成果	- 令和7年度の高校魅力化アンケートによれば、質問項目「情報を、勉強したことと関連づけて理解できる」と回答した生徒の割合は、全学年で83.1%（R6:82.3%, R5:81.2%）、高3生に限ると85.9%（R6:84.0%, R5:81.8%）であった。情報を学習内容と関連づけて理解を深める生徒の割合が高まっている。 - 令和7年度全国学力・学習状況調査によれば、質問項目「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」と回答した生徒の割合が小6調査時から4.7ポイント増加しており、同項目における学校からの肯定的回答の割合も8割と高い水準を保っている。 「学びの基盤に関する調査」の実施概要報告によれば、子どもたちの学びのつまずきの要因を把握することに非常に有効なツールであることを教員が実感しており、調査結果を具体的な支援につなげようとする意識が高まっている。			
課題	- 高等学校においては、各教科における探究的な学びや自ら問いを立てるなどの主体的な取組や、教科等横断的な学習等が各学校で広がっているが、「学びを活かす力の育成」に十分繋がっているとは言えない。 - 令和7年度全国学力・学習状況調査質問項目「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う」の肯定的回答割合が減少している。（R7児童:79.0%生徒:73.9%、R6児童:81.7%生徒:79.7%） 「学びの基盤に関する調査」から把握した児童生徒のつまずきに対する具体的な支援や実践方法の具体事例が不足している。			

方向性	・「第2期しまねの学力育成推進プラン」及び「令和7年度重点アクション」に基づき、子どもたちが「できた・わかった・やってみたい」を実感できる授業づくりを推進する。 ・高等学校においては、「夢実現チャレンジセミナー」「英語ディベート大会」等生徒個人が希望して参加する研修や大会等への積極的な参加を促したり、海外留学への関心を高めたりすることで、学びを社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するとともに、論理的な思考・表現する力の育成を図る。 ・「小学校理数教科指導力向上プロジェクト」において、全国学力・学習状況調査の結果から見える本県の課題を踏まえ、授業プラン及び評価問題を活用し、授業改善を学校全体で進めるとともに、教員の授業力向上と児童の学力育成を図る。 ・「学びの基盤に関する調査」の研修を実施し、つまずきに対する具体的な支援方法、学校全体での取組事例についての情報共有を行う。
-----	--

(2) 幼小連携・接続の推進

- 「しまねの架け橋期の教育ガイド」（令和7年3月策定）に基づき、幼児教育施設及び小学校、地域、保護者が一体となった架け橋期の教育の充実を図ります。
- 幼小合同会議や保育・授業研修会などを通して、幼児教育施設と小学校が教育内容や指導方法などの相互理解を深める取組により、小学校低学年段階の安定した学級づくりを推進します。
- 架け橋期の教育のつながりを意識しながら、「カリキュラムコーディネーター」や「架け橋アドバイザー」などを活用して幼小連携・接続に取り組む市町村を支援します。
- 幼児教育施設と小学校との協働により架け橋期のカリキュラムを編成できるよう、島根県幼児教育センターにおいて、市町村が実施する研修への支援や市町村幼児教育アドバイザー等への指導・助言を行います。

名称	幼児教育総合推進事業		所属	学校教育課
目的	対象	乳幼児、児童、保護者、保育者、小学校教職員、市町村	目指す状態	県内の全ての幼児教育施設において質の高い幼児教育を提供するとともに、幼小連携・接続を推進する。
成果	・集合型研修の参加人数が増えるなど、保育者の研修意欲が高まるとともに、保育者としての資質・能力が身につけていると答えた保育者の割合が増えてきている。 ・国の「幼保小の架け橋プログラム」の成果普及により、幼児教育の重要性や幼小連携・接続について、保育者、市町村に意識の向上が見られる。 ・各市町村の福祉部局と教育委員会が連携して研修を実施したり、幼小の現場の連携・接続状況を把握したりしており、幼児教育の推進体制整備が進みつつある。			
課題	・幼小連携に関わる交流は多くの小学校区において実施されているが、幼小の接続を見通したカリキュラムの編成・実施は十分には行われていない。 ・一部の市町村においては幼児教育推進体制が整っておらず、幼児教育施設や小学校に対して架け橋期の教育の指導・助言が十分には行われていない。			
方向性	・研修等を通して、国や県が推進する幼児教育に対する保育者の理解を深め、幼児教育の質の向上に努める。 ・幼児教育センター主催の研修への小学校教員の参加が増えるよう働きかけを行う。 ・市町村教育委員会と福祉部局の連携促進、各種研修やカリキュラム開発会議等の充実に向け、各市町村へ助言を行う。 ・幼小連携・接続の推進及び幼児教育の質の向上を図るため、幼小連携・接続アドバイザー、幼児教育コーディネーターを中心に、市町村の幼児教育担当課との連携を深め、市町村担当者が幼児教育施設に対する直接的な指導助言ができる体制づくりに協力する。 ・市町村の幼児教育施設に対する指導スキルの向上に向け、幼児教育アドバイザー対象の研修や指導・助言を実施する。			

名称	新規採用教員資質向上事業		所属	学校教育課
目的	対象	新規採用幼稚園教員	目指す 状態	教員として必要な実践的指導力と資質を身につける。
成果	・園が研修年間指導計画を作成して、組織的、計画的に研修を実施した。 ・園内研修のために派遣する研修指導員については、新規採用幼稚園教諭が配置された幼稚園の園長との連携が円滑に図られ、新規採用幼稚園教諭に対して、適切な指導・助言が行われた。 ・新規採用幼稚園教諭については、園内研修を通して基本的な資質が育成された。			
課題	・新規採用者の自立に向けた幅広い実践的指導力の定着という面では、指導員の実施する限られた研修のみでは十分とはいえない状況があるため、園の全教職員で効果的にOJTに取り組むことができるよう、現場の意識改革が必要となっている。 ・研修指導員の人材が慢性的に不足している。			
方向性	・年2回の指導員研修の中で、新規採用者育成の重点を明確にし、限られた回数の研修をより効果的に実施できるようにする。 ・キャリア別の研修を通して、管理職やミドル世代の指導力向上を図り、園の全教職員でOJTが実施できるよう、長期的、組織的な人材育成体制の構築を促す。 ・計画的で安定的に研修指導員を確保できるよう、新規幼稚園教諭を採用する市との連携を強化する。			

(3) 理数教育の充実

- 各教科等の学力の基盤となると考えられる「言葉、語彙」「数、形、量」「思考力、推論力」等における、小学校低学年段階からの学習のつまずきの要因を把握した児童生徒の学習支援や、「全国学力・学習状況調査」の課題を踏まえた評価問題及び授業プランの作成等により、小学校における理数教育の充実を支援します。
- デジタル等、成長分野を支える人材育成のため、県立高校において、情報、数学、理科等の教育を重視するカリキュラムの実施や、ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化します。
- 理系人材の育成のため、理数系・デジタル分野への進学を目指す生徒の資質・能力の育成に特化した高校独自の取組やDXハイスクール指定校の先駆的な取組を展開します。
- 専門高校（専門科系総合学科高校を含む）への理数教員の配置により、生徒の理数系分野への興味・関心や学びへ向かう意欲の喚起、進路の選択肢を拡げるための取組を推進します。

名称	理数教育の充実		所属	学校教育課
目的	対象	公立小・中学校及び県立高校の児童・生徒	目指す 状態	義務教育段階から理数教科への興味関心を高め、ICT機器を活用しながら理数系分野の学びへ向かう意欲を喚起することで、進路選択の幅を拡げる。
成果	・「学びの基盤に関する調査」の実施報告によれば、子どもたちの学びのつまずきの要因を把握することに非常に有効なツールであることを教員が実感しており、調査結果を具体的な支援につなげようとする意識が高まっている。 ・「小学校理数教科指導力向上プロジェクト」を算数科で行い、「全国学力・学習状況調査」の課題を踏まえた授業プラン及び評価問題を活用し、教員の授業力向上と児童の学力育成を図った。 ・県立高校では、STEAM教育特化型プロジェクトとして18校を指定し、理数系人材の育成を支援する環境を整えた。また、スーパーサイエンスハイスクール指定校支援事業や、科学の甲子園支援事業等、高校生からトップサイエンティストを育成する取組の支援を行った。 ・高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）では、指定されている26校がICT環境を活用した文理横断的で探究的な学びの強化に取り組み、うち24校が令和8年度までに情報Ⅱ等の開設を予定している。 ・専門高校から県内大学への進学者数が増加傾向にある。			
課題	・「学びの基盤に関する調査」から把握した児童生徒のつまずきに対する具体的な支援や実践方法の具体事例が不足している。 ・「学びの基盤に関する調査」の結果の活用や、「小学校理数教科指導力向上プロジェク			

	ト」での授業プランや評価問題の活用が一部の教員にとどまっており、学校全体での組織的な取組にいかを広げるかが課題である。 ・県立高校では、探究的な学びを推進する環境は整いつつあるが、文理横断的な学びの推進に関する取組や成果が十分とは言えず、理系進路を選択する生徒の数は十分でない。 ・D Xハイスクールでは、各学校ともに I C T環境の整備は進んでいるが、新たなカリキュラムの開発や、I C Tを活用した文理横断的で探究的な学びを進めるための具体的な授業実践までの落とし込みが不十分。 ・教員欠員の影響から、予算を確保している専門高校理数系教員加配の配置が出来ていない。
方向性	・「学びの基盤に関する調査」実施校が調査結果から計画した支援の内容等を共有するW e bシステムを構築し、学校に共有する。 ・「小学校理数教科指導力向上プロジェクト」における授業改善リーダー教員による授業公開や、評価問題を活用した授業プランの実践等を広く県内へ普及する。 ・県立高校では、S T E A M教育特化型プロジェクトや、その他の各事業において取組が効果的なものとなるよう、伴走支援を強化する。 ・D Xハイスクールでは、各学校の取組の横展開や情報共有を進めるため、定期的な担当者会議を開催し、事業進捗の把握や、課題や事例の共有を図る。 ・専門高校理数系教員の配置が確実なものとなるように、各校に配置する教科等に関して検討を行う。

(4) ICTを活用した教育の推進

- 子どもたちの情報活用能力の育成に向けて、一人一台端末の日常的な活用を促すとともに、授業や家庭学習での効果的な活用について好事例を収集し、展開します。
- 児童生徒一人ひとりの理解度にあわせた学びの推進や主体的に学びに向かう力を育成するため、学習の場面や発達段階に応じてデジタル教材や学習アプリ等による学習を行うなど、一人一台端末の活用を推進します。
- DXハイスクール指定校において、デジタル技術を活かした探究学習や、「情報Ⅱ」科目の開設による高度な情報教育の展開、専門高校における情報教育の充実を図ります。
- 多様な学習ニーズに対応するため、遠隔授業を実施する配信拠点センターを構築します。
- 授業や家庭学習における一人一台端末の更なる活用を図るため、研修等を通じて教職員のICT活用スキルの向上を図るとともに、授業改善に向けた取組を推進します。

名称	未来の創り手育成事業（授業改善・ICT）		所属	学校教育課 教育連携推進課
目的	対象	児童生徒、教職員（学校司書等を含む）	目指す状態	子どもたちに「生きる力」を育むため、学校図書館やICT機器を活用しながら他者と協働して自分の考えを深める協調学習を推進することで、授業の質の向上を目指す。
成果	・高等学校教員を対象とした「授業力向上プロジェクト」において、実践研究を行う推進教員として20名を指定した。各推進教員は、研究授業を行うことを通じて実践研究の成果を校内外に広めた。 ・学校図書館を活用した実践研究（小中学校）においては、公開授業やHPで研究成果を普及することができた。 ・各学校・課程・学科の垣根を超える高等学校改革推進事業では、習熟度別などの学習ニーズに対応する遠隔授業を3校4科目で実施する体制を整備した。 ・高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）では、指定されている26校がICT環境を活用した文理横断的で探究的な学びの強化に取り組み、うち24校が令和8年度までに情報Ⅱ等の開設を予定している。			
課題	・図書館活用の時間は、教科等により差があり、また、学年が進むにつれ減少している状況がある。学校図書館やICT機器を活用し、児童生徒が他者と関わりながら思考を深める学習活動が一部にとどまっている可能性がある。 ・各教科等における探究的な学びや、総合的な探究の時間も含めた教科等横断的な学習に向けた取組は、まだ十分とは言えない。 ・遠隔授業では、学校側のニーズに対して、非常勤講師を含めた教員の配置が困難な状況にある。 ・DXハイスクールでは、各学校ともにICT環境の整備は進んでいるが、新たなカリキュラムの開発やICTを活用した文理横断的で探究的な学びを進めるための具体的な授業実践までの落とし込みが不十分である。			
方向性	・一人ひとりの学びに寄り添う学校司書の配置や、学校図書館を活用した実践研究を小中学校で展開し、成果を県内に普及する。 ・これまで行っていた学校図書館を活用した授業実践の普及を一層図るとともに、一人一台端末等ICTを活用した授業実践が進むよう、学校図書館担当教員、学びのサポーター（学校司書）研修で積極的に取り上げる。 ・遠隔授業では、各学校の学習ニーズを把握し、非常勤講師を含む教員の配置調整を授業開始の半年以上前から実施する。 ・DXハイスクールでは、各学校の取組の情報共有を進めるため、定期的に担当者会議を開催し、事業の進捗を把握するとともに、課題や事例の共有を図る。特に、課題共有については、導入した機器がしっかりとねらいをもって授業で活用され、生徒の気づきを促し、より深い学びになるような授業デザインとする視点で行う。また、各学校内で事務担当者と事業担当者とがしっかりと情報共有するとともに、各学科主任や管理職にも情報を共有し、チームとなって事業推進に当たる環境をつくる。			

(5) ふるさと教育や探究的な学びの推進

- ふるさと教育を通して育まれた地域に対する愛着や誇り、貢献意欲などと教科等の学びを結びつけることによって学習効果を高め、子どもたちの実行力を育成します。
- 中学校区で運営する、ふるさと教育ネットワーク会議により、学校と地域の連携・協働体制の充実を図ります。
- ふるさと教育の趣旨を踏まえた教育活動と各学校段階における探究的な学びを充実させるため、研修等を通じて教職員の理解を深めるとともに、コーディネーター人材を育成します。
- 高校において、主幹教諭や探究学習推進担当者を中心とした校内指導体制の充実を図るとともに、松江、出雲、石見エリアに配置した高大連携推進員などにより、県内大学との連携による学びや、「しまね探究フェスタ」の開催等、課題解決に向けた行動や視野が広がる取組を推進します。

名称	教育魅力化人づくり推進事業		所属	教育連携推進課
目的	対象	県立高校や立地自治体等で構成する高校魅力化コンソーシアム及び高校魅力化協議会	目指す状態	・新たな学力観に基づく教育活動の実践や社会に開かれた教育課程の実現 ・ふるさとへの貢献意欲を抱き、探究的な学びにも粘り強く取り組む意志のある若者の育成と人の還流
成果	・グランドデザインの実現に向けて、全てのコンソーシアムで協働状況などループリックを活用しながら評価し、改善策を検討することができた。 ・放課後や休日の講座「おしプロ」には78講座・432人、進路探究ゼミには基礎編459名、応用編124人の高校生が参加者した。 ・県外中学校からの入学生は、近年200人程度を受け入れている。（R 7：214人）			
課題	・各地域の実情に応じて各高校の特色を活かしたコンソーシアムの活動としていく必要がある。 ・学校と地域の協働体制を維持し、持続可能で安定したコンソーシアム運営ができるようにしていく必要がある。 ・県内大学の具体的な学部や学科を学ぶ講座等が実施できていない。特に、理系学部を意識できる講座が開設できていない。 ・地域留学の取組が全国的に広がる中で、県外中学生が島根県の高校の魅力を理解した上で選択できるような広報活動ができていない。			
方向性	・コンソーシアムの実情に応じた運営ができるよう、選択研修等や伴走支援を行う。 ・魅力化ビジョン推進本部において、コンソーシアムの運営のあり方について、関係者の意見を聞きながら検討していく。 ・高大連携推進員の活動方針のもと、具体的な取組については戦略をもって実施していく。 ・進路探究ゼミや理系を含む多様な学部学科を意識した講座、大学と連携した事業などを通じて、県内大学進学者の増加を目指す。 ・県外中学校から入学した生徒に対して県内高校に興味をもつきっかけとなった広報媒体や、広報内容等についてのアンケートを行い、その結果を今後の広報に活用する。また、県外中学生を積極的に受入れている高校や市町の取組状況を把握し、それを踏まえた広報を行う。			

名称	教育魅力化人づくり推進事業（探究学習）		所属	学校教育課
目的	対象	県立高校や立地自治体等で構成する高校魅力化コンソーシアム及び高校魅力化協議会	目指す状態	・新たな学力観に基づく教育活動の実践や社会に開かれた教育課程の実現 ・ふるさとへの貢献意欲を抱き、探究的な学びにも粘り強く取り組む意志のある若者の育成と人の還流
成果	・研修を充実させ、各校に伴走したことにより、各校において探究学習のカリキュラムや教職員の指導方法、指導体制の見直しが進んだ。 ・しまね探究フェスタを島根大学で開催したことにより、探究学習に関する学び合いの場を創出するとともに、大学生の発表を通して、生徒が学びの連続性を実感する機会を提供することができた。			

課題	- 探究学習への理解や、その実践が広がっている一方で、教科学習や自己の在り方・生き方、進路とのつながりを意識した学校全体での取組は十分とは言えない。 - 探究学習の準備に係る業務や休日勤務への対応を含め、教職員の業務負担のさらなる軽減を図る必要がある。
方向性	- 探究学習推進担当者に対する研修や学校訪問により、グランドデザインを基盤とした、探究学習と教科学習、キャリア教育とのつながりについて理解を深め、学校全体で推進する体制を強化する。 - 管理職のリーダーシップのもと、校内の役割分担の明確化やコーディネーター等との連携を進め、教員の負担軽減と持続可能な運営体制の構築を図る。

名称	ふるさと教育推進事業		所属	社会教育課
目的	対象	学校、市町村	目指す状態	学校・家庭・地域が一体となって、地域の教育資源を活用した教育活動を展開し、ふるさとへの愛着や貢献意欲、学習意欲の向上を図るとともに、自ら課題を見つけ学び考える児童生徒を育成する。
成果	- 市町村が主体性をもって、所管する公立小中学校におけるふるさと教育を推進できるよう連携しながら進めており、県の方向性を踏まえ、市町村のねらいを付加する形で小中9年間を通した取組として定着している。 - 令和7年度に中学校区のふるさと教育全体計画を整理し、ネットワーク会議を開催したことにより、学習内容の系統性や発展性、ねらいの明確化に改善がみられた。			
課題	- 担当教員が、地域ボランティアとの連絡調整や打合せを行うための十分な時間が確保できていない状況がある。 - コーディネーターの配置や活用に向けた体制構築が十分でない市町村がある。			
方向性	- 中学校区で行われているふるさと教育ネットワーク会議等において、ふるさと教育がより効果的に推進されるよう社会教育主事による働きかけを継続して行う。 - 派遣社会教育主事や、東西社会教育研修センターと連携し、各市町村のコーディネーターの配置や活用に向けた体制構築や、研修による質の向上を図る。			

(6) 読書活動の推進

- 子どもたちの豊かな感性や表現力、創造力や情操を育むため、発達の段階に応じた読書習慣を身に付けることができるよう、乳幼児期からの本に親しむ環境づくりを推進します。
- これからの子どもたちに求められる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を育むため、学校図書館を教科等横断的に授業で活用するとともに、ＩＣＴの活用を効果的に結び付けた学校図書館活用教育を推進します。
- 学校図書館活用教育の更なる推進のため、市町村及び学校における研修の機会を確保します。
- 障がいのある子どもや日本語能力に応じた支援が必要な子どもなど、多様な教育的ニーズのある子どもたちへの読書機会を確保するため、バリアフリー資料の充実や多文化サービスなどについての職員の理解促進を図ります。

名称	子ども読書活動推進事業（学校司書等配置）		所属	学校教育課
目的	対象	児童生徒、教職員（学校司書等を含む）、保護者	目指す 状態	学校図書館の充実と活性化を図ることによる、豊かな心（感性・情緒）、思考力・判断力・表現力等を身に付けた子どもの育成を図る。
成果	・学校司書等の全校配置が継続され、各学校で学校司書等の配置時間を増やしたことで、「人がいる図書館」の有効性が認知されている。 ・学校図書館の環境が整備され、読書活動の充実がなされることで、「読書センター」として有効に機能している。また、「学習センター」や「情報センター」としての学校図書館活用の意識が高まってきている。			
課題	・「読書センター」としての機能を生かし、子どもたちの読書活動をより一層推進する必要がある。 ・学校図書館を「学習センター」、「情報センター」として効果的に活用できるよう、ＩＣＴ活用も含めて全ての教職員の意識を高めていく必要がある。 ・小・中学校では、学びのサポーター（学校司書）配置による成果が大きい一方で、配置時間が足りない、人材が見つからないといった声があがっている。			
方向性	・市町村と連携し、学校図書館を活用した教育の推進が図られるよう、未来の創り手育成事業の「学校図書館活用教育研究事業」で得た成果を県内に普及していく。 ・児童生徒一人ひとりに寄り添った学習支援を行う学校図書館となるよう、未来の創り手育成事業の「学びのサポート事業」並びに「県立高校図書館活用教育推進事業」において学校司書等の配置と研修を継続していく。			

名称	特別支援学校図書館教育推進事業		所属	特別支援教育課
目的	対象	特別支援学校の幼児、児童、生徒	目指す 状態	特別支援学校の図書館機能を充実し、幼児、児童、生徒の学習活動や読書活動の充実を図ることで、豊かな感性や情緒を育む。
成果	・計画的な蔵書整備により蔵書数が増加した。 ・一人一台端末と書籍のベストミックスな読書環境を整備した。 ・教員と学校司書との連携により、学校図書館を活用した教育活動や授業実践が充実した。			
課題	・蔵書数は増加しているが、電子書籍等、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた蔵書とする必要がある。 ・児童生徒の図書館活用への意識醸成が必要である。 ・特別支援教育における学校図書館を活用した教育の充実が必要である。			
方向性	・授業内容や幼児児童生徒の実態に応じた蔵書の整備を図る。 ・研修により、学校司書と司書教諭等の専門性を向上させ、その連携により授業実践の充実を図る。 ・特別支援学校での学校図書館教育の専門性を向上させる継続的な取組の充実を図る。 ・学校図書館担当者を対象とした研修会において、幼児児童生徒への貸出数が減少傾向にある現状と、読書活動充実につながる取組事例について共有する。			

名称	子ども読書活動推進事業		所属	社会教育課
目的	対象	未就学児、児童生徒	目指す状態	子ども読書活動を推進することにより、子どもたちが言葉を学び、感性や表現力、想像力など豊かな心を持ち、人生をより深く生きる力を身につける。
成果	・「島根県子ども読書活動推進会議」を開催し、「第5次子ども読書活動推進計画」の進捗管理を行った。 ・発達段階に応じた選書についての研修会を実施することで、推進計画基本目標（①子どもと本をつなぐ活動の充実を図る②子どもの読書を支える人を育てる③全ての子どもに読書を保障する環境を整える）の推進につなげた。			
課題	・家庭や図書館で全く読書をしない児童生徒が一定の割合で存在し、その割合は増える傾向にある。 ・子ども読書活動推進計画が未策定の市町村がある。			
方向性	・「親子読書」勉強会を開催し、親子読書の意識啓発を図る。 ・子ども読書活動推進計画が未策定の市町の状況を把握し、策定の働きかけを行う。 ・市町村の取組状況についてのヒアリングにより状況や課題を把握すると共に、好事例を拡げていく取組を通して県内の子ども読書活動を推進していく。			

(7) 国際理解教育の推進

- 外国語指導助手（A L T）や国際交流員の活用、地域に住む外国人との交流等により、子どもたちが国際的な視野をもつことができる学習を推進します。
- 高校において、短期を含めた国外からの生徒の留学や、帰国・外国人生徒の受入体制の充実を図るとともに、海外先進校への教員の短期派遣や国内の先駆的な事例研究を通して、海外大学等への進学促進を見据えた教員の指導力向上を図ります。
- 教科学習や「総合的な学習の時間」等において、子どもたちが持続可能な社会づくりに関わる課題を見出し、その解決に向けた環境、経済、社会、文化等の各側面から総合的に取り組む活動を推進します。
- 我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての意識を深め、国際的な視野に立って課題を解決しようとする意欲を育成します。
- 知事部局や関係機関と連携しながら、教科学習や学級活動等における竹島に関する学習の充実を図り、本県の課題を主権者として考え、解決を図る力を育む教育を推進します。

名称	外国語指導助手招致事業		所属	学校教育課
目的	対象	県立学校	目指す状態	県立学校へ外国語指導助手を派遣し、国際理解教育に資するとともに、英語教育の改善・充実を図る。
成果	・外国語指導助手（A L T）18名を招致し、すべての県立学校において外国人指導助手を活用した授業を行い、英語でコミュニケーションを取る機会を提供した。 ・外国語指導助手の指導力等向上研修を行うことで、外国語教育についての理解を一層深め、指導技術の向上につながった。			
課題	・現在の招致人数では、島根県の地理的条件から外国語指導助手が配属校から訪問校へ移動する距離が長く、また1人で多くの学校を掛け持ちしている状況があり、外国語指導助手への負担となっている。 ・教員欠員がある中で、A L T担当教員等の業務負担が増している。			
方向性	・英語のコミュニケーション能力を育てるための、外国語指導助手と英語科教員が協働した効果的な指導技術を向上させる。 ・外国語指導助手の活用を一層進めることで英語教育の改善を進めるとともに、児童生徒が様々な文化を尊重しようとする態度の育成を継続する。 ・外国語指導助手配置の在り方を含め、教職員の業務負担軽減策を検討する。			

名称	英語コミュニケーション推進事業		所属	学校教育課
目的	対象	英語科教員	目指す状態	学習指導要領が目指す英語力を児童生徒に付けさせるために必要な指導力を、教員が身に付ける。
成果	・同一地域内の小学校、中学校、高等学校で指定した研究協力校3校で公開授業及び研修会を実施した。3校種の連続性と系統性を持った学習指導のあり方について研究・検証を行い、成果を公開することで、指導の指針や課題について、校種を超えて共有することができ、指導力向上を図ることができた。			
課題	・教員が、児童生徒の英語力向上に向けた指導の質を高めていくことが必要である。 ・小学校、中学校、高等学校の連携が見られる地域もあるが、全県的にはまだ十分ではない。			
方向性	・学習指導要領で求められる英語力を身に付けるため、研修や公開授業などにより授業改善に引き続き努める。 ・英語教育における小学校、中学校、高等学校の連続性と系統性が高められるよう、CANDOリストの作成等・情報交換等、カリキュラムの連携を強めるための取組に力を入れる。			

(8) キャリア教育の推進

- 就学前から高校までの発達の段階に応じ、各学校等において、教育活動全体を通じた系統的なキャリア教育を推進します。
- 教科学習と地域資源を活用した探究的な学びなどを結び付け、地域づくりに参画する学習等を通じて、子どもたちが自分らしい在り方や生き方を考える教育を推進します。
- 学校全体でキャリア教育の質の向上に取り組むことができるよう、教員の経験年数に応じた研修において、キャリア教育について学ぶ機会を設けるとともに、好事例の展開を図ります。

名称	キャリア教育の推進		所属	学校教育課
目的	対象	幼児児童生徒、教職員等	目指す状態	就学前から高等学校までの各段階において、一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度が育まれる。
成果	・教職経験年数に応じた研修（オンデマンド研修）を通して、児童生徒が自らの学びを振り返り、将来を見通しながらライフプランを考えることの重要性や、「キャリア・パスポート」の効果的な活用についての理解が広がり、各学校のキャリア教育の推進に資することができた。 ・職場体験、インターンシップ、地域課題解決型学習等の取組の活発化により、多くの生徒が地域や社会と関わる機会が増え、自身のライフプランについて多面的に考える意識が高まった。 ・全ての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等で「キャリア・パスポート」が実施され、児童生徒が自らの変容や成長を振り返り、将来や生き方を考える機会となった。			
課題	・校種間の接続を意識した目標の共有や指導の連携が十分ではなく、系統的なキャリア教育の推進に課題がある。 ・「キャリア・パスポート」について、学校で作成や記録は行われているが、校種間での引継ぎや対話的な活用、次の学びや行動に繋げる工夫は十分とは言えない。 ・キャリア教育が児童生徒の資質・能力や意識の変容にどのような効果をもたらしているかについて、検証を進める必要がある。			
方向性	・研修において「キャリア教育ハンドブック」を活用し、「キャリア・パスポート」の効果的な活用を通してキャリア教育の充実を図る。 ・各教科等の学びと社会とのつながりを実感できるよう、教科等との学習との関連付けや事前・事後学習の充実を図り、「学ぶことと生きていくこと」のつながりについて考えを深める学習活動を推進する。 ・地域資源を活用した小学校、中学校等における「ふるさと教育」等と、高等学校における「探究的な学び」等の目標を踏まえ、校種間の接続を意識した取組を強化することで、キャリア教育の系統性を高める。			

(9) 望ましい生活習慣の確立、心身の健康づくりと体力の向上

- 学校、家庭、地域が一体となって、子どもたちに健康に関する知識や健康的な生活を実践していく力を育成するとともに、「学校保健計画策定の手引～しまねっ子元気プラン～」(令和7年3月改訂)に基づき、各学校の学校保健計画の策定や学校保健活動の取組を支援します。
- スマートフォンやタブレット等、メディアとの接触による健康への被害や睡眠の重要性について、学校だよりなどで啓発するとともに、保護者も参加する行事やメディア教室等を通じて、子どもや保護者の理解を深める取組を推進します。
- 「食の学習ノート」の活用などにより、子どもたちに食に関する正しい知識や食習慣を身に付けさせるとともに、地場産物を活用した給食を教材とするなど、栄養教諭を中心とした食育を推進します。
- 体力・運動能力の向上は、健全な体の発達だけでなく心の発達や学びの意欲の向上にもつながることから、幼児期の遊びや学校における運動・競技などを通じて、発達の段階に応じた体力づくりを推進します。

名称	健康教育推進事業		所属	保健体育課
目的	対象	公立学校の教職員	目指す 状態	児童生徒の心や体調の変化の早期発見、 早期支援の推進
成果	令和7年度から令和11年度を期間とする「学校保健計画策定の手引～しまねっ子元気プラン～」において、心の健康問題へ対応する校内委員会（組織）会議を定例化（例：月1回等）して開催している学校の割合を新規目標として設定し、各学校への周知により、早い段階から組織的に対応できる体制づくりの促進を図った。			
課題	心の健康問題へ対応する校内委員会（組織）会議の定例（例：月1回等）開催率が、中学校では9割近いものの、それ以外の校種では5～6割程度となっている。			
方向性	- 手引において、「心の健康問題への対応」に掲げている今後の方針や目標を、養護教諭研修や健康教育実践講座などの様々な機会の説明し、周知・啓発を図る。 「健康相談事業（電話・面談）」、「専門家・専門医による指導事業（健康課題解決）」の活用を促し、教職員の心の健康問題に関する意識の向上を図る。			

名称	児童生徒の健康管理実施事業		所属	保健体育課
目的	対象	県立学校の児童生徒	目指す 状態	病気の予防、早期発見、早期治療ができる体制整備
成果	- 心電図検査の二次検診の受診率がR6の91.9%からR7の92.5%に向上した。 - 心電図検査実施後、各校から提出される報告書をもとに、各校へ複数回受診状況を確認することで受診率の向上につなげている。			
課題	- 心電図検査での有所見の児童生徒の二次検査受診率が100%になっていない。 - 麻しんは感染力が極めて強く、学校における危機管理の観点から、教職員が感染源となるリスクを回避するため、教職員の抗体検査を継続して実施しているが、未実施の教職員がいる。			
方向性	- 養護教諭研修等を通し、学校全体で健康管理の重要性について認識を共有し、組織的に事後指導にあたるよう周知徹底を図る。さらに、健康診断の前に児童生徒、保護者に対し、健康診断の意義や目的、有所見時の望ましい保健行動について理解が得られるよう、学校から丁寧な説明をするよう周知徹底を図る。 - 有所見の場合の精密検査を医療機関で受診しない理由を各学校に聞き取り、受診につなげるように働きかける。 - 麻しんの危険性や抗体検査の必要性について、引き続き、養護教諭研修や校長向けの会議等で周知を図るとともに、未受検者の抗体値検査を管理職等を通じて働きかける。			

名称	子どもの健康づくり事業		所属	保健体育課
目的	対象	幼児、児童、生徒、保護者、地域住民	目指す状態	・適度な運動、十分な睡眠、バランスのよい食事などの望ましい生活習慣を身に付ける。 ・医師や専門家による指導、講演事業等を通し、子どもの健康課題の解決をする体制を構築する。
成果	・令和7年度は、専門家・専門医による指導事業【メディア】を通じて、延べ73件の専門家・専門医の派遣を実施した。内訳としては、小学校へは36件、幼保へは20件、中学校へは15件、小中学校合同研修へは2件の派遣を行い、特に小学校においては多くの学校でメディア接触に関する児童の健康課題への意識啓発と、学校全体での取組定着に向けた基盤が築かれた。			
課題	・子どもたちのメディア接触時間は長時間となっており、小学校の低学年においても接触時間が増加傾向にある。長時間化に伴う睡眠時間や学習時間の減少、またそれに起因する生活習慣の乱れが課題として継続している。 ・平日の学習時間以外のスクリーンタイムが長時間となる傾向にあり、これが睡眠時間をはじめとした休養の質の低下や生活リズムの形成に影響を及ぼしている。			
方向性	・メディア接触と健康については、家庭でのルールづくりやメディアとの上手な付き合い方についての啓発をより一層進めていく。 ・睡眠とメディアに関する指導を発達段階に応じて行うことで、「適正な睡眠時間の確保」を目指す。 ・専門家や専門医などの外部指導者の活用により、望ましい生活習慣の確立とインターネットの適切な使用に関する具体的なルールづくりの必要性を啓発する。 ・文部科学省委託事業「いいけん 島根県 早寝早起き朝ごはん」フォーラム2026を開催し、主に乳幼児から小学校低学年の保護者、教育関係者等を対象とした望ましい生活習慣の確立に向けた普及啓発活動を強化する。			

名称	食育推進事業		所属	保健体育課
目的	対象	児童生徒、教職員、市町村教育委員会、調理員	目指す状態	・食に関する知識と食を選択する力を習得し、心身の健康を考えた食生活を実践できるようにする。 ・栄養教諭、学校栄養職員の資質向上を図る。 ・衛生管理、栄養管理、地場産物活用に対する知識を高め、安全、安心な給食を提供する。
成果	・栄養教諭、学校栄養職員対象の研修会において、食の学習ノート活用推進について意識を高めるため、啓発を行った。 ・「高校生『みそ汁コンテスト』」の参加人数が増え、高校生の食への興味関心を高める機会となった。			
課題	・栄養教諭の配置状況により、食に関する指導の取組に差がある。 ・組織としての体制づくりや役割が明確でない調理場がある。			
方向性	・学校保健計画策定の手引をもとに、県内の児童生徒の抱える健康課題のひとつに挙げられている朝食欠食について、指導の充実を図るよう周知する。 ・調理場運営について、市町村教育委員会に体制整備を求める。 ・高校生の朝食摂取率の改善や高等学校における食育の推進を目的とした「高校生『みそ汁コンテスト』」を引き続き開催していく。			

名称	子どもの体力向上支援事業		所属	保健体育課
目的	対象	幼児・児童・生徒	目指す状態	・運動の楽しさを体験し、運動が好きになる。 ・基礎的な体力・運動能力の向上を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付ける。
成果	・指導主事による学校訪問、大学教員等派遣事業、「しまねっ子！元気アップレポート」（報告書）の活用、未就学児の体力向上推進事業などを通して、体育授業の充実や体力向上のための取組が着実に定着してきている。 ・幼稚園・保育所の教員や保育士を対象とした合同の実技研修会の実施により、幼児期に必要なとされる運動の基礎的感覚・基本動作を定着させることの必要性について、幼保の担当者が共通理解を図ることができ、今後の系統性を持った指導の基礎づくりの一助となった。 ・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果より、本県は体力合計点が5年連続で全国平均値より高値を示している。小学男子及び中学女子ではやや回復傾向が見られ、特に男子ではコロナ禍前の水準に戻った。また、50m走は小男5位、中男2位、中女4位、ソフトボール投げは小男3位という全国上位の結果となった。			
課題	・体力数値のピークであったS61年の記録に及ばない状況が続いている。（社会環境・生活環境の変化が影響） ・特に小学校における運動離れや小学校と高校の女子における運動習慣の二極化による体力や運動能力の低下が進んでいる。 ・体育の授業力向上や運動遊びを学ぶための教員の研修機会が減少してきている。 ・運動が得意な子どもでも、幼少期に様々な遊び、動きを経験していないため、特定の動作や運動が身に付いていない。（特に、筋力・筋持久力・柔軟性に課題あり）			
方向性	・県全体の体力向上のため、授業等における直接的な取組に加えて、学校教育活動全体で運動への親しみが育つ取組を紹介したり、共生の視点を踏まえた体育学習の在り方について指導助言したりするなど、運動に対する肯定的な意識を高める多様な働きかけを行う。 ・教員の指導力を向上させるための研修の内容充実を図る。 ・12年間を通して系統的な指導や取組を行うことができるように、各校種で身に付けさせたい力を明確にして、実態に応じて重点課題を設けて継続した取組を行うことができるように助言や支援を行う。 ・PDCAサイクルに基づいた体力向上の取組の工夫改善を図るよう学校全体の共通理解を促していく。 ・幼児期から、多様な運動経験を重ねていくことの重要性を研修会等で継続して伝える。 ・学校と家庭が連携し、家族でできる易しい運動を紹介する等の働きかけをする。			

名称	体育・競技スポーツ大会支援事業		所属	保健体育課
目的	対象	中学生・高校生	目指す状態	中学校体育連盟・高等学校体育連盟が主催する事業を支援することで円滑な運営を図り、中学生・高校生の大会への参加、活躍を促進する。
成果	・島根県中学校体育連盟・島根県高等学校体育連盟が主催する県総合体育大会や、県内で行われる中国大会について、運営費の補助を行うことにより、大会の円滑な運営を支援した。			
課題	・県高校総体への参加選手は増加しているが、県中学校総体への参加選手が減少している。			
方向性	・中学校体育連盟及び高等学校体育連盟が主催する、県総合体育大会や本県で開催される中国大会への参加を促すとともに、円滑な大会運営のために、引き続き運営費支援を継続していく。			

名称	令和7年度全国高等学校総合体育大会開催事業		所属	保健体育課
目的	対象	高校生	目指す状態	令和7年度に中国ブロックで開催される全国高校総体にむけて、高校生の競技力向上を支援し、高校生の大会での活躍を促進する。
成果	- 年間を通じた定期的なサポートを受けることが可能となり、競技力向上につながる様々な要因（トレーニング方法、食事、コンディショニング等）に対する選手の意識の高まりがみられた。 - 入賞した競技数が前年度の8競技から10競技に増加し、特に、地元開催の6競技では3競技（カヌー、フェンシング、なぎなた）で入賞することができた。			
課題	- 入賞数が32種目から26種目に減少した。 - 個人種目に比べて団体種目の入賞数は少ない。			
方向性	本事業は、R7年度の地元開催をもって終了するが、このレガシーを生かし、国スポ強化事業等も活用しながら、今後も引き続き競技力向上に向けて、未普及競技の競技者確保など高校生の活躍を促進していく。			

名称	学校体育指導力向上事業		所属	保健体育課
目的	対象	小中高教員	目指す状態	子どもが「楽しい」と感じられる体育授業の実践・普及のため、大学教授等の専門性の高い講師を派遣する研修により教員の指導力向上を図る。
成果	- 実技研修に参加した教員から、実技演習等を通して教材に対する理解を深め、自分の授業に生かせる指導法を学んだなどの評価を多く得た。 - 体育授業におけるICTの活用や運動が苦手な児童生徒への支援について等、学習指導要領の改訂の要点とされている確認事項について、学校現場に伝え続けていることで、指導改善が図られつつある。 - 体育の授業が楽しいと感じている中学生の割合は、R6年度の88.7%からR7年度の90.7%へ増加しており、どのような時に体育の授業を「楽しい」と感じるのかの分析を行い、子どもが多様な楽しさを感じられる授業づくりを推進した効果が現れつつある。			
課題	- 意識調査によると、授業を「楽しい」「やや楽しい」と感じている子どもの割合は、中学校男女は全国平均より高くなっているが、特に小学校女子では、1ポイント以上低くなっている。また、「楽しい」と感じている子どもだけで比較すると、小学校男女は全国平均よりも低くなっている。 - 学習指導要領の改訂の趣旨及び要点について、教員への周知がいまだ十分とはいえない。			
方向性	「楽しい」と感じる体育授業が運動への楽しさに繋がることから、そうした授業づくりの支援となる教員研修に努める。 - 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の充実をさらに推進していく必要がある。R7年度から実施している県内の全小中学校の学校訪問を引き続き行い、体育科の指導の充実や体力向上の取組の改善を図る。高等学校については昨年度に引き続き、授業改善研修を行い周知を図っていく。			

(10) 人権教育の推進

- 自己的人権とともに他者の人権を守るための行動力の育成をめざして、研修や学校訪問等を通じて教職員の理解を深めるとともに、自他の人権を尊重するロールモデルとしての教職員の姿を子どもたちに示すことなどにより、日常的に高い人権意識が浸透した教育環境づくりを推進します。
- すべての教育活動において、こども基本法の理念を踏まえた具体的な実践を積み重ねることで、子どもたち一人ひとりに権利の主体としての自覚を促すとともに、自他の生命と尊厳を守る積極的な態度や行動力を育む人権教育を推進します。
- 身近なことから、歴史的・国際的な人権侵害、デジタル社会における新たな形の差別に至るまで、様々な人権課題とその解決について、子どもたちが学び、考え、日常生活に活用することで、幸福な共生社会をつくりだすための行動につながる人権教育と人権学習を推進します。

名称	人権教育行政推進事業		所属	人権同和教育課
目的	対象	県、市町村、団体、学校関係機関	目指す状態	関係行政機関との意見交換を通じて県の方針等が十分に周知され、市町村における人権教育の取組が進められている。
成果	各種研修会や説明会等において、各教育事務所、市町村教育委員会の担当者に対し、県の方針や事業について説明するとともに人権教育指導資料やリーフレットなどの具体的な活用事例を紹介したことにより、「実際に教職員へ周知を図る際の参考にできた」という意見が寄せられ指導資料等の活用促進につながった。			
課題	「学校・福祉連携の手引～気づく・つなぐ・支える～」(令和6年3月発行)については、学校現場での活用が約50%にとどまり、学校と福祉との連携の必要性に対する理解やスクールソーシャルワーカーの活用が十分に進んでいない状況がうかがえた。			
方向性	- 関係行政機関との意見交換や各種研修会・説明会等を通じて、県の方針や人権教育指導資料等の活用方法について継続的な周知を図り、市町村における人権教育の推進につなげていく。 「学校・福祉連携の手引」の活用や実践事例の共有を進めることで、スクールソーシャルワーカー(S S W)の役割や活用方法について理解を深め、学校と福祉との連携体制の充実や、学校現場におけるS S Wの効果的な活用につなげていく。			

名称	人権教育研究事業		所属	人権同和教育課
目的	対象	教職員等、幼児児童生徒	目指す状態	人権教育に関する実践的な研究成果が広く共有・活用され、各学校における人権教育の実践や指導方法の改善・充実につながっている。
成果	人権教育に関わる研究指定校やモデル園に対して、研究推進における相談や助言を継続的に行うことで、相談しやすい関係性を構築することができた。そのことにより訪問指導の依頼が増加し、実践的な研究の充実や指導方法の改善につながった。			
課題	研究指定校や実践モデル校、モデル園の研究成果や実践事例について、他の学校や幼児教育施設への普及(横展開)が十分に進んでいない。			
方向性	- 各学校の教職員が都合に合わせて視聴・活用できるよう、研究指定校、実践モデル校及びモデル園の研究実践(研究発表会等)をオンデマンド動画として配信する。 - 各学校における人権教育推進の中心的役割を担う人権教育主任等を対象とした研修において研究指定校の実践発表を実施する。 - 管理職研修において研究指定校、実践モデル校及びモデル園の研究成果や実践事例を紹介し、自校(園)における人権教育の推進に活かすよう促す。			

名称	人権教育推進事業		所属	人権同和教育課
目的	対象	教職員、教育関係者、行政機関職員、地域住民	目指す状態	人権についての理解と認識が深まり、子どもが安心して学ぶことができる学校・学級づくりや、地域ぐるみの人権教育が推進されている。
成果	- 県同和教育推進協議会連合会各支部担当者と意見交換しながら研修会を企画したことで、各ブロックの実態やニーズを反映した研修内容とすることができた。 - 出前講座・要請訪問では、各学校のニーズに応じて様々な人権課題を取り上げるなど内容を工夫したことで、参加者から高い評価を得るとともに、人権についての理解と認識を深める機会の充実につながった。			
課題	社会人権教育において、参加者の固定化が見られ、「人権」に関する研修への参加者数に減少傾向が見られる。			
方向性	関係者との意見交換会を通して把握した地域の実態やニーズに応じて研修会や要請訪問を実施する。また、社会人権教育における参加者の固定化や参加者数の減少に対応するため、研修内容(テーマ、参加型など)や実施方法(時期、時間、オンラインなど)を工夫する。			

(11) 道徳教育の推進

- 小学校、中学校での「特別の教科 道徳」の計画的、発展的な実施や、高等学校における道徳教育推進教師を中心とした学校教育全体を通じた道徳教育を推進します。
- よりよい社会の形成に主体的に参画する意識が高まるよう、家庭や地域との連携によるボランティア活動や、自然体験などの体験活動を通して「しまねのふるまい」の推進に取り組みます。
- ふるまいの定着に向け、「ふるまい推進員」の派遣により幼児教育施設・小学校における幼児児童、保護者や保育者等への研修を支援します。

名称	「特別の教科 道徳」の授業力向上		所属	学校教育課
目的	対象	小学校、中学校教員	目指す状態	県内全ての小学校、中学校で道徳科における「考え議論する道徳」が展開される。
成果	・研修を通して、小中学校の担当教員に授業づくりの講義と演習を実施し、道徳科における「考え議論する道徳」のポイントについて伝えることができた。			
課題	・学習指導要領をもとにした道徳的諸価値についての理解を深める必要がある。 ・今後は、道徳の授業力向上を目的に行ってきた研修を、学校の教育活動全体での道徳教育の質の向上にもつながるよう推進していく必要がある。			
方向性	・引き続き授業力向上に向けた教員研修を実施していくとともに、道徳教育に係る校内研修の質の向上や、学校の教育活動全体での道徳教育の推進について、学校訪問等の機会を通じて研修内容を充実させていく。			

名称	「しまねのふるまい」の向上・定着		所属	学校教育課
目的	対象	乳幼児・児童（１・２年生）、その保護者及び乳幼児・児童（１・２年生）に関わる地域住民	目指す状態	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、とりわけ島根県が大切にしてきた「ふるまい」につながる「健康な心と体」「自立心」「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」等の育成に努める。
成果	・ふるまい推進員の派遣を通じて、保育所、幼稚園、認定こども園及び小学校の保護者並びに地域の方々に対し、子どもたちの「ふるまい」の定着に向けたアドバイス及び相談への対応を行うことができた。			
課題	・幼児期から小学校低学年の時期は、基本的な生活習慣やルール等の定着のために非常に重要な時期であるため、その保護者や子どもたちに関わる地域の人に対し、引き続き「しまねのふるまい」を啓発していく必要がある。			
方向性	・ふるまい定着の基盤となる幼児期から小学校低学年時に重点的に取り組む。 ・小学校中学年以上、中学校及び高等学校教育においてもふるまい定着を意識した教育活動が展開されるよう、研修を活用するなどして引き続き啓発していく。			

2 教育上の配慮が必要な子どもの学びへの支援

(1) インクルーシブ教育システムの推進

- 特別な支援が必要な子どもたちが、「多様な学びの場」で適切な指導と必要な支援を受けて、その個性と能力を最大限に伸ばし、自立し社会参加できるよう、市町村や関係機関と連携した教育を推進します。
- すべての教職員等が、特別支援教育に対する理解を深めることができるよう、専門的、体系的な研修を実施するとともに、各学校における特別支援教育コーディネーターを中心として校内体制の充実を図ります。
- 特別支援教育のセンター的機能を担う特別支援学校の担当教員や教育事務所の特別支援教育支援専任教員により、幼児教育施設や小中学校、高校への巡回相談など、必要な助言・指導を行います。
- 小中学校の通常の学級における学びにくさのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びを実現するため、市町村教育委員会や各学校のLD（学習障がい）のある児童生徒への指導・支援に関する研修や助言指導を実施します。
- 子どもたち一人ひとりの教育的ニーズ、障がいの状態や特性に応じた適切な指導を行うため、非常勤講師の配置等により支援体制の充実を図ります。
- 早期からの支援をより充実させるため、市町村、医療、保健、福祉などの関係機関が連携した相談支援体制づくりを地域の実情に応じて進めるとともに、保護者や支援者に対して相談窓口の周知を図ります。
- 子どもの成長記録や指導内容等に関する情報を、関係機関が共有し、支援を引き継ぐことができるよう、個別の教育支援計画の更なる活用を図ります。
- 特別支援学校において、体験的な学習や遠隔授業などにICTを活用し、障がいの状態や特性に応じた効果的な学習を推進します。
- 特別支援学校高等部において、合同学習等により生徒の就業に向けた意欲や職業スキルの向上を図るとともに、企業等との連携により生徒の希望や適性に応じた進路先の確保や就職後の定着のための支援を行います。
- 特別支援学校と地域の学校等との交流や、特別支援学校の子どもたちの地域活動やスポーツ文化活動などへの参加を通して、障がいのない子どもたちや地域に対し、障がいや障がい児・者への理解促進を図ります。
- 令和12年に開催を予定している全国障害者スポーツ大会が、特別支援学校の子どもたちのスポーツに対する興味・関心の高まりや、スポーツを通じた地域とのつながり、社会への参加・貢献意欲につながるよう、スポーツに親しむ機会を確保します。

名称	特別な支援のための非常勤講師配置事業（にこにこサポート事業）		所属	学校企画課
目的	対象	・小学校及び義務教育学校の前期課程の通常の学級に在籍する自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等発達障がいのある児童 ・小中学校の多人数の特別支援学級	目指す状態	一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を克服し安心して学校生活を送れるようにする。
成果	・ティーム・ティーチングによる学習では、該当児童に合った声かけや助言を行うことで学習への意欲が向上した。また、児童に合った教材を活用することで、わからない課題にも取り組むことができた。該当児童だけでなく、同じ学級の中にいるわからなくて困っている児童に支援することで、「わからない」ということが言いやすくなり、学級全体の学習意欲が高まった。 ・非常勤講師が、実態に応じて指導の形態を工夫することで、学習内容の理解が促されたり、集団での学習に自信をもって参加したりすることができた。 ・一人ひとりの特性に応じた指導支援について、特別支援教育コーディネーターを中心に複数で検討することで、特別支援教育への理解が進み、個に応じた指導支援についての授業改善が図られ、個々の教育的ニーズに合った支援を行うことができた。			

課題	・特別な支援を必要とする児童生徒への適切な対応が十分にできていない状況がある。 ・校内指導体制を十分に確立できていないところもある。 ・具体の支援策は多種多様であり、非常勤講師には、特別支援教育や教科指導に関する高い専門性が求められている。 ・通常の学級における効果的な指導や教育的配慮、合理的配慮の実施など授業担当の資質向上が必要である。
方向性	・ヒアリング等を通して各学校の状況や実態を十分に把握し、県全体のバランスを考慮しながら、より効果的な非常勤講師の配置を行う。 ・指導計画に担任との連携を図るための方策を具体的に記し、計画的に実施できるようにする。 ・管理職や特別支援教育コーディネーター、非常勤講師に対して、事業趣旨の理解や専門性を高めるような研修を実施する。 ・上記の方向性で取り組んでいくために、学校企画課、特別支援教育課及び県教育センター等が情報共有等を図る。

名称	インクルーシブ教育システム構築事業		所属	特別支援教育課
目的	対象	特別な支援を必要とする幼児児童生徒	目指す状態	・一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導と支援を受けられる学びの場があること ・在学中から卒業後も地域の中で力強く自分らしく生きていく力を育てる。
成果	・特別支援学校センター的機能による小中学校等への巡回相談や研修を、3,387件実施した。 ・高校での通級による指導において、23校71名に実施した。 ・特別支援学校の医療的ケアが必要な児童生徒のための非常勤学校看護師を配置し、安全・安心な教育環境を整備した。 ・特別支援学校と地域との連携・協働した取組が推進され、各校が特色ある取組を実施した。 ・LDのある子どもの多様な学び推進事業において、指定自治体のニーズに応じた「LD（学習障がい）」（疑いを含む）への支援体制づくりの推進のために助言・協力した。			
課題	・通常の学級に在籍する「LD（学習障がい）」（疑いを含む）のある児童生徒への実態把握及び個に応じた指導・支援が十分ではない。 ・多様性の包摂や障がいの社会モデルの考え方の理解が十分ではなく、授業改善への意欲が乏しい。 ・高等学校において、特別な支援の必要な生徒への適切な指導、必要な支援が十分でない状況がある。 ・地域との活動が、限定的・固定的であったり、発展性に乏しかったりした場合に、十分に生徒の力が育っていない。			
方向性	・小中学校等で「LD（学習障がい）」（疑いを含む）のある児童生徒を支援する教員や、特別支援学校センター的機能担当者の専門性向上に向けた取組を推進する。（研修内容の充実、相談機能充実及び人材育成に係る教材的経費の増額） ・市町村の主体的・持続的取組を促進するための伴走支援や、市町村同士や大学などをつなぐ仕組みづくりを充実させる。 ・合理的配慮アドバイザーの学校訪問や、圏域別特別支援教育コーディネーター会での個別の教育支援計画の作成と活用に関する研修会を実施する。 ・地域と連携・協働した取組が充実するよう、各校の取組の成果と課題を共有する担当者会の開催や、学習の成果を他校の生徒と深め合える発表の場の設定を継続して行う。			

名称	特別支援学校職業教育・就業支援事業		所属	特別支援教育課
目的	対象	就労を希望する高等部（専攻科を含む）の生徒	目指す状態	生徒の障がいの実態や希望に応じた一般就労の実現を図る。
成果	・生徒の職業教育の充実のため実施した「ワク探フェスタ(企業ガイダンス)」では、特別支援学校生徒・教員151名が参加した。 ・また、各応援企業・団体向けに、現場実習等の様子がわかる進路だよりを発行した。 ・特別支援学校の職業教育の充実と、雇用企業や協力企業の増加に資することを目的とし、島根県立特別支援学校の職業教育や就業に対して、顕著な協力、貢献が見られる企業の知事表彰を実施し、県内に事業所を置く7社を表彰した。 ・知的障がい特別支援学校の「企業による学校見学会」を実施した。各事業所より、137名の参加があった。 ・高等部卒業生の一般就労率は、引き続き30%以上を維持できており、昨年度は33%であった。			
課題	・生徒の実態にも変化があり、職業についての興味・関心が十分に引き出せておらず、就労に向けた意欲の高まりが十分でない。 ・「特別支援学校応援企業・団体」登録事業では、応援登録企業と各特別支援学校との連携が十分ではない。 ・「島根県立特別支援学校応援協力企業知事表彰」では、表彰対象企業を県で統一した基準により選定しているため、各特別支援学校の意向が反映しにくい場合もある。			
方向性	・「ワクWork!フェスティバル」では、職業体験ができるコーナーを設けるなどの工夫をする。 ・高等部生徒に対して、「スキルアップ研修」を実施することにより、就労意識の向上を図る。 ・応援協力企業との連携を促すために、応援企業向けにアンケート調査を行い、ニーズに応じた支援を検討する。 ・職業能力開発員から応援協力企業への働きかけを十分に行う。 ・障がい者雇用を考えている企業に対して、障がい者の働き方や仕事内容の具体的な提案を行うと同時に、農業分野など、新しい職種の開拓を進める。 ・「島根県立特別支援学校応援協力企業知事表彰」における規定について見直しを検討する。			

名称	特別支援学校普通教室 I C T 環境整備事業		所属	特別支援教育課
目的	対象	特別支援学校の幼児児童生徒	目指す状態	I C T 環境を整備し、I C T 活用を推進することで、授業の質の向上と幼児児童生徒の理解を深め、主体的な学びを実現する。
成果	・高等部一人一台端末を前年に引き続き年度当初の4月に導入、高等部は3学年とも一人一台端末が配備できている。 ・I C T 担当者会で I C T 活用研修と先進的な活用の実践紹介を実施した。 ・各校2回ずつ各校の課題やニーズに沿った外部講師による巡回型研修を実施した。			
課題	・小学部・中学部・高等部の児童生徒と教職員に一人一台端末が配備されており、授業での活用が徐々に進んできているが、教職員全員が授業への活用ができる状況になっていない。			
方向性	・I C T 活用能力を高めるための担当者研修、各校巡回型研修を実施する。 ・特別支援学校の I C T 活用事例の収集と共有を図る。 ・産官学での連携協定による遠隔授業の実施等を通して、教員の I C T 活用の専門性の向上を図る。			

(2) 不登校児童生徒等への支援

- 専門家の効果的な活用などによる組織的な支援体制の充実を図るとともに、相談しやすい環境を充実させることにより、子どもや家庭の状況に応じたきめ細かな支援につなげます。
- 生徒指導や教育相談担当の教職員に対して、子どもたちの不登校の背景に人間関係の悩みが隠れている可能性があるなどの視点をもつことの大切さを伝えるため、県教育委員会や各学校が実施する研修の充実を図ります。
- 学校の空き教室や図書室などを活用した不登校児童生徒の校内での居場所の提供や支援員の配置に取り組む市町村を支援します。
- 不登校児童生徒の社会的自立への支援を行う公的機関である教育支援センターについて、設置する市町村に対する支援を行うとともに、設置が難しい市町村の独自の取組に対する支援を行います。
- 子どもたちの多様な学びの場の選択肢のひとつであるフリースクールなど、民間機関との連携により、多様な学習活動の実情を把握するなど、学校や児童生徒への情報提供を行います。
- 中学校在学中に長期にわたって欠席した生徒等を対象に、一般入学者選抜及び第2次募集において、個人調査報告書を選抜の資料として用いない選抜方式を全日制・定時制課程のすべての学科において導入します。
- 高校において、安定して登校することが難しい生徒の学びの保障のため、宍道高校を拠点として、各学校が行う通信教育の支援を行います。

名称	不登校対策推進事業		所属	学校教育課
目的	対象	公立小・中・高校及び県立学校の不登校（不登校傾向）児童生徒	目指す状態	対人関係に安心感を持て、集団生活に慣れ、学校復帰を含め社会的自立を目指す。
成果	・教育支援センター運営事業連絡会を開催したり、各センターを訪問したりする中で、通所者に対する自立支援に向けた取組の中で成果をあげている事例や、直面している課題について情報交換を行った。この情報共有が互いの連携や運営の改善に反映され、通所者への支援が進んだ。			
課題	・いわゆる「教育機会確保法」の主旨の浸透などにより、学校を欠席することへの抵抗感が低下していることもあり、不登校児童生徒数は増加傾向にある。 ・不登校児童生徒のうち、学校内・外で専門的な支援を受けていない割合が増加傾向にある。 ・不登校の要因や背景が多様化・複雑化しているため、各学校や教育支援センターにおいて個々の状況に応じたきめ細かな支援が必要である。			
方向性	・分かる授業、居場所づくり・絆づくりを意識した日々の学校生活の充実により、魅力ある学校づくりを推進していく。 ・発達支持的生徒指導の推進を図るため、「生徒指導の4つの視点から考える子どもの自己実現支援講座」を開催する。 ・教育支援センターにおいて、通所者への支援が進むよう、好事例の紹介や助言といった運営面での支援をさらに充実させる。 ・不登校児童生徒個々に応じた多様な支援につなげられるよう、市町村教育委員会やフリースクール等をはじめとした民間団体との意見交換を行い、連携を図っていく。			

名称	生徒指導体制充実強化事業		所属	学校教育課
目的	対象	県内公立学校児童生徒	目指す状態	生徒指導上の諸課題への積極的な取組を行うことで、問題行動の発生を防止する。
成果	・県教育委員会が主催する研修や各校での校内研修の積極的な実施を通して、いじめの積極的な認知の必要性について周知を行った結果、学校においていじめの認知が進み、組織的ないじめの未然防止・早期発見・早期対応の取組につながっている。 ・公立小・中学校では、アンケートQ Uの実施により学級集団の客観的な状況把握ができ、教員の指導・支援の改善につながっている。			

課題	・問題行動の内容が多様化している。（性事案の増加） ・高校では、いじめの問題や問題行動等の背景、不登校や中途退学の背景が多様化しており、生徒指導に苦慮している学校が多い。
方向性	・教員の負担を減らし、児童生徒にきめ細かな対応を行うために、心理や福祉などの専門家の活用などを一層進めていく。 ・発達支持的生徒指導、課題予防的生徒指導を進めるために、生徒指導に関する研修等に外部の専門家を講師に招くなどし、教職員の人材育成を図ると同時に外部との連携を図り、多様な問題行動にも対応できる組織的な支援につなげる。 ・「しまね子ども絆づくりサミット」を開催し、いじめ防止への児童生徒による主体的な取組を県内の学校へ周知・啓発していく。 ・情報モラルと情報リテラシーの向上を図るため、教育連携推進課及び島根県教育センターと連携し、教職員・児童生徒を対象とした研修等の教材や、講師等の情報を周知していく。

名称	悩みの相談事業		所属	学校教育課
目的	対象	児童生徒、保護者及び教員	目指す状態	悩み、心配事等の心の問題の負担を軽減する。
成果	・県内全ての公立学校へスクールカウンセラーを配置し、教育相談体制の充実を図っている。スクールカウンセラーの活用は定着化してきており、特に教員へのコンサルテーションが増加し、効果的な活用につながっている。 ・スクールカウンセラーとの相談を希望している児童生徒やその保護者に対して、時間外や長期休業中、休日等でも相談ができるよう、相談センターを設置する市町村を支援した。 ・直接カウンセラーと会って相談することに抵抗がある保護者や、学校に出向く時間がつくりにくい保護者を対象として、学校に行きづらい子どもたちの保護者向けカウンセリングダイヤル「親“そっと”ダイヤル」を開設した。 ・SNS相談窓口の設置により、相談窓口の選択肢が広がり、相談者の多様なニーズへの対応につながっている。			
課題	・スクールカウンセラーについては、配置や時間設定に対する学校のニーズに十分に添えていないケースがある。 ・不登校児童生徒で、学校内・外の機関等での専門的な相談・支援につながっていない者が存在する。			
方向性	・島根大学や職能団体と連携して、スクールカウンセラーの人材確保に取り組む。 ・スクールカウンセラーの活動記録について、デジタルデータ化して蓄積・分析を行う。その結果を連絡協議会等で共有することによって、より効果的な活用を推進する。 ・休日等に学校外でスクールカウンセラーに相談できる相談窓口や、電話・SNSなど複数の相談窓口を設け、相談体制の充実を図る。			

名称	「こころ・発達」教育相談事業		所属	学校教育課
目的	対象	児童生徒及び保護者、教職員（コンサルテーション）	目指す状態	児童生徒及び保護者が、臨床心理士による教育相談や医療機関と連携した支援を通して心の負担を軽減し、諸課題の解決をめざす。
成果	・県立こころの医療センターと定期的な情報交換や研修等の連携を図っており、定期的に来所相談する保護者も多い。			
課題	・島根県内の不登校児童生徒数は年々増加しており、教育相談において不登校に関する内容が多くを占めていることから相談の需要はあると考えられるが、「こころ・発達教育相談室」の相談件数は昨年度に比べて減少した。 ・コンサルテーション（教職員との相談）の件数が少なく、学校との連携が不十分である。			

方向性	・市町村が運営する相談窓口、島根県教育センター等を通じた教育相談窓口の周知を行う。また、教育相談についての理解を広げるために、学校対象の説明会や研修を通して、学校、保護者への周知を図る。 ・児童生徒や保護者の相談ニーズに応じられるよう、市町村教育委員会や出雲市周辺のエデュケーションセンター、学校との連携を強化する。 ・「こころ・発達教育相談室」と島根県教育センター・島根県教育センター浜田教育センター、双方の強みを生かした相談の連携を含めた在り方について検討する。
-----	---

名称	学びの場を支える非常勤講師配置事業（学びいきいきサポート事業）		所属	学校企画課
目的	対象	自学教室等での個別指導の充実を図ることが必要な中学校及び義務教育学校の後期課程	目指す状態	自学教室の運営の充実を図ることや校内の生徒指導体制の充実を図ることによって不登校の未然防止や解消を目指す。
成果	・学級に入りにくい生徒を中心に対応する体制を構築し、多目的室等で自主学習するだけでなく、個別の学習支援を行った。生徒はできる・わかるを実感することで自信につながり、それが欠席の減少につながるケースもあった。 ・学習支援だけでなく、心理的な支えを築くことにつながっており、生徒が安定した学校生活を過ごすための重要な存在となっている。 ・生徒との会話や気になる言動について毎日支援記録を記入することで、関係する教職員間での情報共有に役立てることができた。 ・継続してこの事業に配置される非常勤講師が多く、切れ目のない指導が行われるとともに情報共有もより密に行われている。			
課題	・非常勤講師は勤務時間の関係で、生徒指導に関わるケース会議や学級担任との情報交換会議等に参加しにくい状況がある。そのため、それらの会議時に非常勤講師の保有する情報が効果的に提供されないこともある。			
方向性	・学校訪問指導等の機会を捉え、各校に対して本事業の非常勤講師の役割を踏まえた生徒指導体制の構築や具体的な実践について指導を行う。			

(3) 学校と福祉の連携の推進

- 島根県社会福祉士会等との連携による教職員研修や学校への巡回訪問により、教職員の社会福祉に対する理解を深めるとともに、学校と社会福祉の関係機関をつなぐスクールソーシャルワーカーの更なる活用を図ります。
- 教職員の気づきが早期の連携につながり、効果的な支援が速やかに実現できるよう、「学校・福祉連携のための手引」（令和6年3月策定）などを活用するとともに、「気づく・つなぐ・支える」ためのスクールソーシャルワーカーや学校・福祉連携推進教員を含めた校内の組織体制の充実を図ります。
- 教職員が子どもたちの困難さに速やかに気づくことができるよう、また、子どもたちが自らの困難さを大人に相談したり助けを求めたりできるよう、日常的に子どもが意見を表す権利を尊重し、子どもの最善の利益を保障する教育環境を実現するために、研修等を通じて子ども基本法の理解と実践を推進します。
- 地域における子どもの居場所の選択肢を増やすため、教育と社会福祉の両面から支援が必要な子どもたちを対象に学習支援を行う市町村の取組を支援します。

名称	高等学校奨学事業		所属	学校企画課
目的	対象	高等学校等に在籍する生徒	目指す状態	奨学金を貸与することにより、修学の機会均等を図る。
成果	・貸与基準を満たした申請者全員に対して奨学金を貸与し、生徒の修学支援に寄与した。			
課題	・返還金の滞納が発生している。			
方向性	・生活困窮者に対して、個々の経済状況に応じて、計画的な返還を促す ・専門的知見を有する債権回収会社等への委託や法的手段による対応等を継続的に実施する。			

名称	高等学校修学奨励費（定時制・通信制）		所属	学校企画課
目的	対象	県立高等学校の定時制課程及び通信制課程に在学する勤労青少年	目指す状態	経済的負担を軽減することにより修学を促進し教育の機会均等を保障する。
成果	・有職生徒の経済的負担を軽減することで、青少年の修学の促進に成果があった。			
課題	・事業は適正に実施できており、支障となっている点はない。			
方向性	・定時制課程及び通信制課程に在学する有職生徒の修学を促進し、教育の機会均等を保障するため、引き続き事業を実施していく。			

名称	特別支援教育就学奨励事業費		所属	特別支援教育課
目的	対象	特別支援学校に在籍する幼児、児童及び生徒の保護者等	目指す状態	教育の機会均等の趣旨に則り、障がいのある幼児、児童及び生徒の保護者等の経済負担を軽減する。
成果	・就学奨励費の支給により、特別支援学校の幼児、児童及び生徒の保護者等の経済的負担を軽減した。			
課題	・特別支援学校において、就学奨励費の支給に係る事務処理が膨大かつ煩雑であるため、職員の負担となっている。			
方向性	・学校や保護者等の手続きの簡略化・効率化の観点から、支給管理方法の見直しや定額的な支給について国や他都道府県の動向を注視しながら検討していく。 ・事務担当者の負担軽減のために専用のソフトウェアを導入し、事務の適正実施を図る。			

名称	進路保障推進事業		所属	人権同和教育課
目的	対象	幼児児童生徒、教職員、教育関係者、行政機関職員	目指す状態	様々な支援を必要とする児童生徒の実態を把握し、児童生徒や保護者の願いをもとに、課題に対する具体的な取組を進めることで安心して過ごせる環境の充実につなげる。
成果	・県立学校でのスクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）巡回訪問等により生徒が抱える課題の解決や状況の改善につながった割合が向上した。			
課題	・ＳＳＷの役割や活用方法に関する理解が一部の教職員にとどまり、ＳＳＷの活用が十分でない学校が見られる。 ・「学習支援事業（子どもの居場所創出等支援事業）」の活用が一部の市町村に限られており、様々な支援を必要とする児童生徒への支援の充実に向けて、事業の活用促進を図る必要がある。			
方向性	・県立学校におけるＳＳＷの活用を一層促進するため、ＳＳＷの初回学校訪問に学校・福祉連携推進教員が同行し、ＳＳＷの役割と活用方法について説明を行う。あわせて、管理職や窓口となる担当教員等に対して各種説明会等を通じて周知を図る。 ・「学習支援事業（子どもの居場所創出等支援事業）」については、活用している市町村の取組や成果を共有するとともに、市町村のニーズを踏まえた活用しやすい実施方法を検討し、事業の活用促進を図る。			

(4) 日本語指導が必要な児童生徒等への支援

- 日本語指導が必要な児童生徒に対する教育の充実を図るため、日本語指導員等の配置や初期集中指導教室の設置等、市町村が行う日本語指導や体制整備等を支援します。
- 幼児期については、支援事例などを情報収集、展開することなどにより、子どもたち一人ひとりに応じた支援を行います。
- 小学校、中学校における日本語指導の一層の充実のため、子どもたち一人ひとりの状況に応じた「特別的教育課程」を編成する市町村を支援します。
- 県立学校において、高校入学者選抜における特別措置を実施するとともに、日本語でのコミュニケーションが困難な保護者に対し文書翻訳や通訳等により支援します。
- 宍道高校において、日本語指導を担当する教員等の配置により、日本語指導が必要な生徒への教育と、卒業後の進路実現に向けた支援の充実を図ります。

名称	帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業		所属	学校教育課
目的	対象	帰国・外国人児童生徒等（日本国籍であっても日本語指導を必要とする児童生徒を含む）	目指す状態	対象の児童生徒等が日本の社会で自立できるよう、公立学校への受入れから卒業後の進路まで一貫した指導・支援体制が十分に整備された状態
成果	- 県内には帰国・外国人児童生徒等が多く在籍しており、出雲市は特に多い。そこで、国の「帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業」を活用し、H28から出雲市等に補助をしている。出雲市においては、初期集中指導教室や拠点校を設置し、継続的に外国人児童生徒が日本の社会で自立できるよう支援をしている。 - 日本語指導が必要な児童生徒への指導技術の向上等を目的とした研修会を年2回実施した。 - 日本語指導が必要な高等学校進学希望者に対し、公立高等学校入学者選抜制度において特別措置を行った。			
課題	該当児童生徒が多く在籍する自治体については、受入れ体制等が構築されているが、該当児童生徒が点在する自治体については、受入れ体制等が十分に整っていない。			
方向性	- 上記の国補助事業の国庫補助金について、文部科学省に対して、継続して増額の要望を行う。 - 県で実施する研修において、在籍校担当者のみならず、受入れ自治体の教育委員会担当者を対象とし、受入れ体制等の構築を図る。			

(5) 学び直しの体制の充実

- 生徒の興味・関心や能力、適性など、一人ひとりの成長の過程に寄り添うとともに、多様な学習形態へのニーズに対応したきめ細かな学びを推進し、社会での自立に必要な一般的教養や専門的な知識及び技能を身に付けた、地域や社会の担い手を育成します。
- 宍道高校において、学び直しに寄与する基礎的な科目の一層の充実や、学びに向かう意欲を喚起する魅力ある教育内容、日々の教育相談や将来を見通した進路指導など、多様な教育機会を提供します。
- 宍道高校定時制課程午前部において、少人数指導や日本語指導など、きめ細かな指導や支援を行うために必要な体制や環境を整備します。

名称	高等学校の定時制・通信制課程等における学び直し		所属	学校企画課 学校教育課
目的	対象	既卒者、不登校生徒	目指す状態	学びをあきらめず、学びに向かう生徒等の受入の充実と指導・支援体制が整備された状態
成果	- 定時制・通信制課程を設置している高等学校において、学び直しを目的とした生徒を受け入れている。 - 義務教育段階の学習内容の定着や、学び直し等を図るための学校設定科目（「国語入門」「数学入門」「英語入門」など）や、生徒の興味や関心または必要性を踏まえた学校設定教科「総合」及びその学校設定科目（「社会生活基礎」「カウンセリング心理学」「ものづくり」など）を開講している。 - 少人数指導やICT端末の活用等により、個別最適な学びを目指した授業を工夫している。			
課題	- 卒業までの支援（カリキュラム編成や単位修得など）が十分にできていない。 - 生徒数の増加により、多様な教育的ニーズを持った生徒個々への指導・支援が十分に行き届かない。			
方向性	- 学校設定科目をはじめ、教育内容の見直しを図るとともに、ICT端末等の活用を通して、生徒個々の教育的ニーズに寄り添う個別最適な支援の提供に努める。 - 生徒の多様な教育的ニーズに寄り添った、合理的な配慮の在り方を模索するとともに、個別の教育相談の充実を図る。			

3 地域との協働による学びの充実

(1) 地域との連携・協働の推進

- 学校運営協議会で議論された、目指す子どもの姿や地域の姿が地域学校協働活動で具現化されるよう、地域総がかりで子どもの成長を支える活動を支援します。
- 学校と地域をつなぐコーディネート機能の充実を図るため、コーディネーター等の更なる人材育成に向けた研修などを市町村等と連携して実施します。
- 高校魅力化コンソーシアムの活動が、各高校や地域の特色を活かした生徒の学びの充実や地域の活性化につながるよう、伴走等を通じて支援するとともに、高校生と教職員を対象とした高校魅力化アンケートの有効活用により、学校運営の基本方針であるグランドデザインの実現を図ります。

名称	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業			所属	社会教育課
目的	対象	学校、地域住民	目指す状態	学校・家庭・地域の連携・協力を推進する各事業が有機的に連携する仕組みを作ることにより、地域全体で子どもを育む機運のより一層の醸成を図る。	
成果	・各市町村において、多くの地域住民の参画を得て、地域学校協働活動が継続的に実施されている。 ・地域学校協働活動を円滑かつ効果的なものとするため、地域学校協働活動推進員等のコーディネーター役を担う人材を対象とする研修を、東部・西部の社会教育研修センターとも連携して実施し、コーディネーターとして大切にしたいことや、実践について学ぶ機会を設定した。				
課題	・本事業に関わる地域住民が固定化・高齢化しており、取組が広がりにくい状況がある。 ・リーフレットの配布を通して、本事業の広報に努めているが、市町村によっては、地域と学校が連携・協働する仕組みづくりや、事業間の一体的推進が十分でない地域がある。				
方向性	・多様な地域住民が参画するための仕組みづくりについて、好事例を情報提供したり、本事業の積極的な広報を行うなど、多くの地域住民が本事業に参画できるように、市町村に情報提供を行う。 ・各市町村の担当者に対して、担当者研修等の場において、事業の目的や他の市町村の好事例を知る機会を設ける。 ・学校・家庭・地域に関わる方をはじめ、行政の関係者や一般県民などにリーフレットを配布し、県全体への周知を行う。				

名称	教育魅力化人づくり推進事業	所属	教育連携推進課
P 23に記載のとおり			

名称	教育魅力化人づくり推進事業（探究学習）	所属	学校教育課
P 23に記載のとおり			

(2) 地域を担う人づくり

- 「しまね社会教育師認証制度」「しまね社会教育サポーター登録制度」（令和6年11月創設）によるネットワークの構築や学びの場の創出などにより地域のリーダーとなる人づくりを推進します。
- 公民館等が実施する、子どもや若者が主体的に地域活動に参画し、地域とつながり続けることができる取組を支援します。
- 人づくりの拠点となる公民館等の機能強化や活動の充実を支援します。
- ふるさと教育等を通して、地域に対する愛着や誇り、貢献意欲を育むとともに、教科等の学びを深め、子どもたちの実行力を育成します。
- 高校では、大学や企業と連携した探究的な学びや、将来を見据えたキャリア教育を行うことにより、地域や産業界を支える人材育成を推進します。特に、専門高校（専門科系総合学科高校を含む）においては、地域のニーズに応じた即戦力となる人材の育成にも取り組みます。

名称	教育魅力化人づくり推進事業	所属	教育連携推進課
P 23に記載のとおり			

名称	教育魅力化人づくり推進事業（探究学習）	所属	学校教育課
P 23に記載のとおり			

名称	社会教育士養成・育成事業		所属	社会教育課
目的	対象	・教員 ・県市町村職員 ・社会教育関係者 ・地域づくり関係者	目指す状態	社会教育に関わる知見やスキルを有している社会教育主事（士）を養成・育成し、資質向上を図る。
成果	・島根大学での社会教育主事講習では、大学と連携し、様々な地域・職域から希望者が受講できる体制を整えた。 ・県及び市町村職員、社会教育施設職員、コーディネーター、民間事業者等、多様な分野において社会教育士をはじめとする人材の育成が進んだ。 ・社会教育主事・士を対象とした研修会を開催し、資質・能力を向上することができた。 ・「しまねの人づくり大交流会」では、県内全体の社会教育人材が一堂に会し、講演や事例発表等を通じて、学びと交流を深めた。			
課題	・社会教育主事講習は、一般の受講希望者は増加しているが、教員籍の希望者は減少している。 ・研修機会や「しまね社会教育認証・登録制度」を活用して、社会教育人材を中心としたネットワーク化は進んできているが、有資格者が中心で、多様な分野の人材への広がりには限定的である。			
方向性	・学校・家庭・地域の連携・協働を推進する上での社会教育主事・士の有用性を施策説明会等の機会に周知する。 ・社会教育主事・士等のネットワークや各種研修の機会を活用し、受講者の掘り起こしに努める。 ・多様な社会教育人材等のネットワーク化の取組として、「しまねの人づくり大交流会」を、継続開催するとともに、各種研修の場を活用して「しまね社会教育人材認証・登録制度」を積極的に広報する。			

(3) 社会教育における学びの充実

- 社会教育士の活動内容や成果についての理解促進を図るため、高等教育機関等と連携した情報発信を行うとともに、社会教育士の知識・技術の向上に努め、地域課題解決に取り組む社会教育士等の養成・育成を図ります。
- 「しまね社会教育師認証制度」「しまね社会教育サポーター登録制度」（令和6年11月創設）により、社会教育人材の育成を推進するとともに、ネットワークの充実を図ります。
- 社会教育研修センター等において、地域における住民の学びや実践活動を支援する指導者を育成するとともに、社会教育の振興や生涯学習の推進を図る市町村等への支援や、情報提供や相談対応等の取組を推進します。

- 地域づくりを担う人づくりの基盤となる市町村等の社会教育基盤強化を図るため、社会教育に関わる人材のスキルアップに取り組む市町村等を支援するとともに、取組の成果等を展開します。
- 様々な人権課題に対して、関係機関と連携しながら、幅広い年代に対する学習機会の充実を図ります。
- 児童生徒の文化・芸術活動に対する顕彰制度等により、青少年の文化活動の推進を図るとともに、文化庁や文化団体と連携して、児童生徒に多様かつ優れた文化芸術に親しむ機会を提供します。

名称	社会教育総合推進事業		所属	社会教育課
目的	対象	・ 県、市町村 ・ 県民（被表彰者）	目指す状態	・ 生涯学習社会の構築をめざし、社会教育行政及び生涯学習振興行政を推進するための体制を構築する。 ・ 表彰により、意欲を高めるとともに、活動の裾野を広げる。
成果	・ 社会教育委員の会議の年2回開催を継続し、今日的な課題をとらえたテーマを設定して充実した意見交換につなげた。 ・ 優良少年団体の被表彰団体数は、前年と同数であった。			
課題	・ 県社会教育委員の会での意見や協議内容を、市町村や市町村社会教育委員に十分に共有できていない。 ・ 優良少年団体表彰の被推薦団体数が伸び悩んでいる。			
方向性	・ 県社会教育委員の会での意見や協議内容を、県社会教育委員連絡協議会において情報提供するとともに、各市町村に伝えていく。 ・ 本表彰の意義を推薦団体へ向けて、定期的に周知することで、被推薦団体の掘り起しを図る。また、各市町村の派遣社会教育主事等と連携し、県内各地の少年団体の活動状況把握に努める。			

名称	社会教育士養成・育成事業	所属	社会教育課
P 43に記載のとおり			

名称	社会教育研修センター事業		所属	社会教育課
目的	対象	社会教育関係者（担当者・指導者等）	目指す状態	・ 地域課題解決や学校・家庭・地域の連携・協働の推進に向けた専門的スキルを習得させる。 ・ 知識や技術の深化及び資質、実践力による社会教育の推進
成果	・ 各研修・講座のアンケート結果の分析と検証を実施するとともに、「生涯学習推進施設運営委員会」における意見を参考に、研修内容の見直しや関係者への情報提供の迅速化に引き続き取り組んだ。 ・ また、各研修・講座の受講生が集い、それぞれの実践を紹介し合うことを通して、社会教育人材の更なるスキルアップ、ネットワーク構築を進めていくため、交流の場（受講生同窓会）を設定した。 ・ その他、オンラインを活用した離島対応や市町村の実態に応じた支援を行った。			
課題	・ 市町村ごとの研修参加状況に、ばらつきがある。 ・ より短時間、短期間で効率よく学びたいというニーズが高まっており、シリーズ講座を敬遠する傾向もある。			
方向性	・ 市町村に対して、引き続き研修や社会教育関係者間の交流の重要性を訴えていく。また、次年度の研修計画をできるだけ早く市町村を通じて広く周知し、それぞれの所属の次年度研修計画へ計画的に位置づけてもらえるよう、積極的な働きかけを行う。 ・ 各研修・講座のアンケート結果の分析と検証をもとに、研修内容の見直しや実施形態等について検討する。また、オンラインを活用した学びの場の提供も引き続き実施していく。			

(4) 家庭教育支援の推進

- 幼児教育施設、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校やＰＴＡ等と連携した「親学プログラム」、「親学プログラム２」の活用により、子育てに関する学習機会の場としてだけでなく、保護者の学びの場やつながりづくりの場の充実を図ります。
- 市町村や社会教育施設と連携しながら、親子での参加型行事やボランティア活動、体験活動等のプログラムを展開します。
- 「親学プログラム」を進行する親学ファシリテーターや、保護者に関わる活動に参加してきた地域住民が「親学プログラム」にとどまらず、新たな家庭教育支援の取組に向かうことができるよう、市町村の取組に対して支援するとともに好事例を展開します。

名称	家庭教育の支援体制整備事業		所属	社会教育課
目的	対象	県民（ＰＴＡ会員等）	目指す状態	ＰＴＡ連合会同士の情報共有や合同研修を通して、学校・家庭・地域社会が一体となって「地域の子どもを地域で育てる」機運の一層の醸成を図り、家庭教育の支援体制を構築する。
成果	・連絡協議会において、各ＰＴＡ連合会の活動状況や課題などについて、意見交換を行うことで連携強化に努めた。 ・合同研修会について、前年度の連絡協議会や会員等からの意見を参考に、ニーズに合った講師やテーマを選定して実施した。 ・合同研修会では、新たに参加者同士でＰＴＡ活動の工夫や想いについて情報交換する場を設定することで、新たな視点や実践のヒントを得る機会となった。			
課題	・合同研修会の参加者の多くが各学校のＰＴＡ役員の参加に留まっており、一般会員の保護者の参加者が少ない傾向にある。 ・一般会員が参加したくなる研修テーマの設定や講師の選定が十分に行えていない。			
方向性	・連絡協議会での意見交換や参加者アンケートをもとに、一般会員にも興味をもってもらえるようなテーマの設定を行うとともに、各ＰＴＡ連合会と連携して、研修会の周知や広報を強化していく。			

(5) 体験活動の充実

- 県立青少年の家や県立少年自然の家において、幼児期から発達の段階に応じた多様な自然体験活動や集団宿泊体験の充実を図り、実施方法や周知を工夫するとともに、国立三瓶青少年交流の家の利用を促進し、すべての子どもたちが体験活動を経験する機会を確保します。
- 子どもたちにとって身近な場所で体験活動ができるよう、公民館や関係団体等に対し、活動の場の創出や好事例の横展開への支援、体験プログラム作成等に関する指導助言等を行います。

名称	青少年の家事業		所属	社会教育課
目的	対象	県民（施設利用者）	目指す	青少年の心身の健全な育成と県民の教 状態 養と文化の向上を図る。
成果	- 改修工事のため、秋のサンレイクフェスティバルを艇庫周辺で実施するなど工夫し、おおむね目標どおりの利用者数となった。 - 改修工事期間に実施したアウトリーチ型支援事業では、当初の予想を大きく上回る1,828名の利用があった。			
課題	利用者数は減少傾向であり、目標達成のために、今後は学校行事以外の利用者を増やしていく必要がある。			
方向性	- 学校の宿泊研修に加え、企業や、スポーツ、音楽、文化活動等を行う団体を積極的に受け入れる。 - 指定管理者とも連携し、研修受け入れに必要なスタッフの確保を進める。 - 令和7年度のアウトリーチ型「出前講座」の利用者を、青少年の家での施設利用に繋げていく。 - 既存の「地域の体験活動支援事業」については、「みんなでチャレンジ！しまねを創る人づくり支援事業」（体験活動型）と連動させ、更なる活用団体増に向けて積極的な広報を行っていく。 - 研修を通じた体験活動における支援の質の向上、新プログラムの活用と更なる充実を図るとともに、丁寧な対応を心がけ、利用促進につなげる。 - HPやSNS（LINE）を活用して、プログラムや主催事業等の案内を積極的に発信する。			

名称	少年自然の家事業		所属	社会教育課
目的	対象	県民（施設利用者）	目指す	青少年の心身の健全な育成と県民の教 状態 養と文化の向上を図る。
成果	- 利用団体の代表者とねらいの共有を行い、それぞれの団体の実態に応じた指導・支援を行うよう努めた。また、ねらい達成のための研修計画の検討、日程の再調整や研修内容の変更等、丁寧な対応を心がけた。その結果、引率者アンケートでは、「研修におけるねらいの達成」について、97%の肯定的回答を得た。さらに、職員の対応については、100%が「満足」との回答を得た。 「開所50周年記念オープンデー」を開催し、広く県民に施設開放をした。県政情報番組やラジオ、Instagram、LINEの活用等により、651名の来所があった。また、年10回の開放デー「わくわく外遊びデー」にも多くの来所があり、体験活動の普及及び当所の利用促進に成果があった。 - 利用者数は令和6年度に比べて1,343名増加し、団体数も276団体から284団体と増加した。			
課題	施設の利用者や利用団体が増加する一方で、幼稚園・保育所の入所者数、中学校、個人（家族）の利用者数、利用団体数は減少傾向にある。			
方向性	- 利用団体のねらいが達成できるよう、相談やニーズを捉えた対応を続けるとともに、充実感・達成感を味わえるよう、支援方法や活動内容の改善を図る。 - 幼稚園・保育所等、就学前の子どもたちの体験活動推進に向け、園長会への訪問や市内保育所へのアンケート等を実施してニーズを捉え、プログラムの見直しや充実を図る。 - 他機関とも連携しながら、効果的な広報を続けていく。 - 冬季は季節柄利用者数が比較的小さいため、アウトリーチ型プログラムを積極的に実施し、県内のより多くの子どもたち（未就学児、不登校傾向・障がいのある子どもたちを含む）の体験活動を推進していく。			

名称	青少年文化活動推進事業		所属	社会教育課
目的	対象	児童・生徒	目指す	「豊かな心」を育むとともに、次代の 状態 文化活動の担い手を育成する。
成果	青少年芸術文化表彰及び児童生徒学芸顕彰の被表彰団体（個人）件数は、51件あった。			
課題	青少年芸術文化表彰及び児童生徒学芸顕彰への推薦件数が減少している。			
方向性	より多くの児童・生徒・指導者を表彰・顕彰するために、引き続き推薦に該当する大会や成績・賞位の点検を行い、市町村への情報提供を行う。			

4 教育の基盤となる環境の整備と充実

(1) 学びを支える指導体制の充実

- 高校生を対象に教職の魅力を伝える「教員志望セミナー」の開催や、大学1、2年生を対象とした学校体験・実習の実施、県外の大学との連携、「しまねの先生ナビ」を活用した教員の魅力発信等により、教員志望者の裾野拡大の取組を推進します。
- 教員採用試験の実施時期の早期化や年度途中での特別選考試験の実施等、教員確保に向けた直接的な取組と、働き方改革及び若手教員へのサポート強化等をあわせて推進します。
- 教員が子どもたち一人ひとりの状況を丁寧に把握し、組織的にきめ細かな指導が実現できるよう、少人数学級編制を実施するとともに、非常勤講師やサポート人材を配置します。
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家の効果的な活用により、組織的な支援体制の充実を図ります。

名称	小学校、中学校少人数学級編制		所属	学校企画課
目的	対象	31人以上学級の小学校1年生 33人以上学級の小学校2年生 36人以上学級の中学校1年生 39人以上学級の中学校2・3年生	目指す状態	個に応じたきめ細かな指導により、基礎・基本の確実な定着や、個性を生かす教育の充実を図る。
成果	【少人数学級編制】 対象：小学校1・2年生、中学校1～3年生 ・児童生徒の交友関係が把握しやすくなり、児童同士、生徒同士の人間関係づくりに役立てることができた。 ・学習面で個に応じた支援が行いやすく、基礎・基本の習得も進み学習意欲の向上を図ることができた。 ・日常の声かけの機会や教育相談で一人ひとりと話す時間が増え、児童生徒の話したい気持ちに応えることができ、心の安定を図ることができた。 ・保護者への対応や連携がとりやすく、配慮を要する児童生徒に必要な支援をすることができた。 【少人数学級編制代替支援事業】（常勤・非常勤講師配置） 対象：小学校1・2年生、中学校1年生 ・児童生徒一人ひとりの動きに目が行き届きやすく、積極的な生徒指導を進めることにより児童生徒間のトラブルの深刻化を防ぐことができた。 ・児童生徒一人ひとりの理解の程度や習熟の度合いに応じた繰り返しの指導により、基礎・基本となる学力の定着を図ることができた。			
課題	・きめ細かな指導を行うためには事前の準備が必要不可欠であり、その準備のために時間を要することが課題である。 ・一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導において、少人数だからこそできている細かな見取りや指導について、多人数であってもできるようにポイントを絞って検証する必要がある。			
方向性	・少人数学級編制基準の見直し実施に伴い、令和3年度よりスクールサポート事業は廃止し、後継的事业として、小学校1・2年生及び中学校1年生において少人数学級編制を実施しない場合に常勤又は非常勤講師を配置する少人数学級編制代替支援事業を実施した。令和4年度に中学校2年生の生徒人数基準の見直しを行っている。令和8年度より、中学1年生から学年進行で35人学級が実施される。令和8年度は、中学校1年生に係る少人数学級編制は行わないこととする。 ・今後、学校現場の実情に応じて柔軟な教員配置が行えたか効果検証を行うとともに、課題解決対応のための教員加配の効果的な配置を行い、事業改善につなげる。			

名称	「しまね教育の日」推進事務		所属	教育庁総務課
目的	対象	県民	目指す状態	本県教育の諸課題解決に向け、県民一体で取り組む機運醸成が図られた状態
成果	・市町村等に対して、「しまねの教育の日」にちなんだ活動促進の働きかけを行ったことにより、参加者数は、前年度並みの参加者を確保した。			
課題	・市町村、各教育関係機関等の「しまね教育の日」にちなんだ活動への意識に濃淡がある。			

方向性	・市町村、各教育関係機関等が「しまね教育の日」にちなんだ活動の趣旨を理解し、活動を積極的に進めてもらうように働きかけを行う。
-----	--

名称	中学校クラスサポート事業		所属	学校企画課
目的	対象	大規模中学校1年生	目指す状態	環境が大きく変化する中学校第1学年での生活・学習面をきめ細かく支援し、中学校1年生が充実した学校生活を送れるようにする。
成果	・クラスサポートティーチャー（CST）が学習の遅れがちな生徒へ個別の支援、指導を行うことができ、生徒の学習意欲が高まることで基礎・基本の定着につながった。 ・CSTと学級担任との情報交換を通じて、いじめや問題行動、学校への不適応を未然に防ぐことができた。 ・生徒間の問題を早期に発見し、素早い支援に結び付けることができた。 ・支援方法や内容、教科等について学年部等と事前に打ち合わせを行い、余裕をもって支援にあたることのできる体制ができた。			
課題	・CSTの見立てや支援の状況について学年部等で共通理解を図ろうと努めているが、じっくり話す時間や相談する時間を十分に確保できていない状況がある。 ・時間割の都合上、支援が必要な学級が重なることがあり、継続した学習支援を行うことが難しい場面があった。			
方向性	・CSTの勤務時間が限られているため、学年部等と対話をしながら支援の方向性を考えていく時間が十分に確保できていない学校もあることから、情報共有や指導の方向性の共通理解の時間を確保するよう働きかける。また、各学校においてCSTが学校組織の中に位置づけられ組織的な支援体制が構築されているかを、学校訪問等をととして引き続き確認、指導を行う。			

名称	進路希望実現のための講師配置事業		所属	学校企画課
目的	対象	・専門高校及び就職者の多い普通科高校の合計22校 ・進学者の多い普通科高校14校	目指す状態	・進路指導担当者の授業時間数を軽減し、進路指導、特に就職指導の充実・強化を図る。 ・生徒へのきめ細かい指導、教員の授業力の向上を図り、生徒の進路希望実現に向けた支援の強化を図る。
成果	・進路指導代替講師を配置し進路指導主事等の授業時数が軽減されたことで、事業所と面談を行うための時間を確保することができ、進路指導主事等の企業訪問回数が前年と比較して1校当たりの平均で約5回増加した。また、企業との接触が増えたことにより就職希望生徒と企業とのミスマッチの未然防止が図られるなど、就職希望者への指導の充実が図られた。 ・教科指導充実講師が配置され、少人数指導や習熟度別指導等個々の生徒の学力の向上に資するきめ細かい指導とともに、大学入試に対応するための個々の生徒指導の充実が図られた。			
課題	・きめ細かい進路指導を行うために必要な、教職員が生徒一人ひとりに対応する時間は未だに不足している。 ・生徒がよりよい進路選択・進路実現を行うために必要な事業所等の情報共有や、大学入試改革に対応した進路指導の研究はまだ十分進められていない。			
方向性	・必要な時間分の非常勤講師を人員や時数など柔軟に対応して配置する。 ・県西部の学校に適切な非常勤講師の配置を行う。			

(2) 教職員の人材育成

- 全ての教職員に対し、「島根県公立学校教育職員人材育成基本方針」（令和6年4月改定）や「島根県公立小・中・義務教育学校事務職員人材育成基本方針」（令和6年2月改定）の周知を図るとともに、キャリアステージごとに育成すべき姿を示した育成指標をもとに、採用段階から系統的かつ一貫性のある人材育成を推進します。
- 教職員が探究心をもって学び続け、子どもたちの主体的な学びを支援する指導力や様々な教育課題に対応できる専門性を高めることができるよう、教職員研修の内容や研修方法の工夫・改善を図ります。
- 採用時からミドルリーダー、主幹教諭、副校長・教頭、校長まで、教職員に段階的に実施する学校マネジメント研修の一層の充実を図ります。
- 「学校管理職等育成プログラム」（令和6年3月改定）を踏まえた、学校マネジメントを中心とした研修の実施により、管理職等の育成を推進します。

名称	専門的知識習得事業		所属	学校企画課
目的	対象	教育職員	目指す状態	より高い専門的な知識を身につけることにより、資質及び指導力の向上を図る。
成果	・大学院派遣については、オリエンテーション実施による本事業の目的の周知を行った。 ・大学院派遣を通じた専門的知識の習得が、ミドルリーダーの育成につながった。また、院生による成果報告会や情報交換会等を通して、県教委と大学が情報交換を行い、現職教員の継続的な派遣につながった。 ・現職教員派遣を通じた専門的知識の習得が、管理職等の育成につながった。また、指導主事による研修講座参観後の振り返りや情報交換会を通して、県教委と大学が成果等を共有することで、主幹教諭の継続的な派遣につながった。 ・認定講習については、定員数を大幅に増やして応募しやすい環境づくりに努めた結果、講者数は微増した。			
課題	・大学院派遣及び現職教員派遣について、地域・校種によっては研修希望が出にくい傾向がある。 ・認定講習については、講習科目によって受講割合にかなりの開きが見られ、全体としては伸び悩んでいる。			
方向性	・大学院派遣及び現職教員派遣について、大学と連携して研究主題の明確化やプログラム等の充実、日程の工夫を行う。また、今後、派遣する年齢や時期について検討する。 ・認定講習については、指導大学である島根大学や特別支援教育課、各講師などと受講割合を引き上げられるような開設科目や定員数、開催日程の検討（夏季休暇期間や土日の開催）及び調整を進めていく。			

名称	教職員研修事業		所属	学校教育課
目的	対象	公立小・中・義務教育学校及び県立学校の教職員	目指す状態	・教職員が主体的に研修を受講する意欲をもつとともに、教職員としての資質能力が向上する。 ・校内研修やOJTが活性化する。
成果	・令和7年度に大幅な見直しを行った6年目研修について、受講者や学校の負担が減り、6年目選択研修で主体的に研修を選んで受講する機会となったと、概ね肯定的な反応が得られた。 ・小中義務教育学校の学校訪問について、日程調整をしながら、希望する学校訪問のほとんどすべてを実施できている。			
課題	・学校現場の教職員の多忙感から、学校を空けることに抵抗があり、研修に出かける意識・意欲が高まらない。 ・出前講座は、学校が希望する期日が一定の時期に集中しがちであり、学校の希望の日程に実施できないこともある。			
方向性	・学校現場における問題の解消や、学校・教職員のニーズに応じた研修を企画・実施する。 ・集合、オンライン、オンデマンド、ハイブリット等、状況に応じた研修形態となるよう創意工夫を行う。 ・出前講座の2次募集を実施し、下期において学校の希望にあわせて出前講座ができるよう調整を図る。			

	・研修内容に対する方法の適正化を図る。知識伝達を中心とした研修はオンデマンド、対話を中心とした研修は集合等、研修内容に即した実施方法を検討する。 ・市町村や学校の管理職に対して、研修受講奨励の働きかけを行う。
--	---

名称	教育センター調査研究事業		所属	学校教育課
目的	対象	公立小・中学校及び義務教育学校、県立学校の教職員	目指す状態	本県教育の課題や実態に即応する開発的かつ実証的・実践的な調査・研究を行うことにより、その成果が学校教育の場で生かされるようにするとともに、指導主事等の力量形成を図る。
成果	・令和7年度教育研究発表会を島根県教育センター、島根県教育センター浜田教育センター共催でライブ・アーカイブ配信により実施した。 ・目標値350回を超え、512回の開催ができた。			
課題	・学校現場にいる教職員に教育研究発表会への参加（視聴）に係る情報提供や、申込期間の配慮等が十分でない可能性がある。			
方向性	・令和8年度教育研究発表会を、引き続き、島根県教育センター、島根県教育センター浜田教育センター共催のライブ・アーカイブ配信形式で実施する。 ・中心的な視聴者となる教職員が視聴の機会を確保できるよう、申込期間や配信期間を延長する。 ・各種研修会において宣伝等の案内チラシ配布以外に効果的な周知を行う。			

(3) 働き方改革の推進

- 個々の学校の実態をきめ細かに把握するとともに、教員にしかできない業務、教員でなくともできる業務の精査など、学校が担う業務の適正化や平準化の取組を推進することにより、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保します。
- 県立高校においては、入学者選抜におけるインターネットを活用した出願システムの導入やデジタル採点システムの活用などにより、教職員の負担軽減を図ります。
- 部活動における地域人材や、教頭マネジメント支援員など、外部サポート人材の更なる活用に取り組むとともに、年次有給休暇や男性の育児休業等の取得促進など多様な働き方を検討・推進します。
- 学校及び教員が担う業務の3分類、「基本的には学校以外が担うべき業務」「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」や「共同メッセージ」の内容を広く県民に広報、啓発することで、保護者や地域に理解と協力を求めています。

名称	地域人材を活用した指導力等向上事業		所属	学校企画課
目的	対象	公立小・中・義務教育学校及び県立学校の教職員	目指す状態	教員が担う業務のうち、事務作業等を行う会計年度任用職員等を配置することにより、教職員の負担軽減を図るとともに、より児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備し教育の質の向上を図る。
成果	・各市町村に対してスクール・サポート・スタッフの配置を働きかけたことにより、令和5年度11市町村、令和6年度17市町村、令和7年度からは18市町村で配置された。 ・各市町村に対して教頭マネジメント支援員の配置を働きかけ、令和6年度2市町村2校、令和7年度からは2市町村3校で配置されている。また、県立学校では令和7年度から4校に配置している。 ・業務改善に係るワークショップ形式の研修について、令和5年度20校、令和6年度7校、令和7年度は13校での実施に加え、新たに管理職研修等で4回開催し、対象を拡大した。			
課題	・スクール・サポート・スタッフの任用に際し、一部の学校で採用不調（任用条件や人材不足等）となる事例や、補助対象外経費（社会保険料や交通費等）について、市町村負担が必要となることから、希望する学校へ配置できない事例がある。 ・教頭マネジメント支援員の任用に際し、管理職経験者に限定した募集条件や、非常勤講師等の任用との競合等により、配置が進みにくい状況にある。			
方向性	・スクール・サポート・スタッフの任用に際して、1人を複数校へ配置することや拠点校方式など他県の好事例を紹介するほか、外部委託とスクール・サポート・スタッフの役割分担を促すことで必要な学校へ必要な時間数を配置できるよう取り組む。 ・教頭マネジメント支援員の任用に際しては、任用対象者に対して、支援員業務が管理職経験を生かせるものであること、その効果や改善事例といった業務の重要性を周知し、配置の促進につなげる。			

(4) 学校危機管理体制の充実

- 様々な危機管理事案が発生することを想定して「学校危機管理の手引」の点検や見直しを行うとともに、学校においては、外部の専門家を招いての实地訓練の実施、警察や消防、医療機関などの関係機関と連携することによる危機管理体制の充実を図ります。
- 子どもたちや保護者が安全点検に参加することなどにより、身近な生活における安全行動の能力の向上に向けた取組を推進します。
- 通学路等における、学校・警察・地域等との連携による危険箇所の把握や、交通安全の取組を推進します。
- 校内における相談体制の充実を図るとともに、必要に応じてスクールカウンセラー等の専門家と連携しながら児童生徒や教職員の心のケアに努めます。

名称	学校危機管理対策		所属	教育庁総務課
目的	対象	学校、教育機関等	目指す 状態	事案発生時の実動力を確保する。
成果	・島根原発30km圏内の全ての学校が作成した原子力災害発生時の対応を定めたマニュアル（以下「原子力災害対応マニュアル」という。）の実効性を高めるため、各県立学校及び関係4市教育委員会と情報伝達訓練を行った。			
課題	・各学校が作成した原子力災害対応マニュアルに沿った手順で対応できるよう、実態に合わせ見直しを促す必要がある。			
方向性	・今後も原子力災害対応マニュアルの実効性を担保するため同様の訓練を実施するとともに、地域防災計画の変更等がある場合には原子力災害対応マニュアルの改訂作業の支援を行う。			

名称	学校安全確保推進事業		所属	学校教育課
目的	対象	県内の公立学校児童生徒	目指す 状態	学校（登・下校を含む）での安全を確保する。
成果	・毎年開催する災害安全研修におけるアンケート評価の結果から学校安全についての理解は進みつつあり、研修による学校安全に対する理解の深まりは目標達成の水準にある。			
課題	・研修参加者が、研修で得た学びを自校にどう還元し、学校組織としての情報共有や体制の見直しなどをどう進めていくか検討する必要がある。多くの学校で訓練や危機管理マニュアルの点検・見直しが行われているが、一部の学校においては点検に至っておらず、取組状況に差がみられる。 ・登校時の交通事故や、学校生活で救急搬送を伴う事故等も発生している。			
方向性	・学校安全担当者への研修について、児童生徒自身の安全に対する意識の向上に向けた指導方法など、内容を充実させる。 ・学校へ児童生徒の安全確保について、通知等により注意喚起を行う。 ・児童生徒が安全確保の方法について理解し、自ら安全行動がとれるよう、各学校における安全教育の取組を推進する。			

(5) 学校施設の環境改善の推進

- 小中学校において、耐震化などの防災対策や特別教室等へのエアコン設置などの必要な整備が推進されるよう、補助要件の緩和等の財政支援の充実について、国への要望を行うなど市町村の取組を支援します。
- 県立学校において、老朽化した施設の改修に加え、トイレ洋式化や特別教室へのエアコン設置、照明器具のLED化などの環境改善を、優先度を判断しながら計画的に実施します。
- 浜田養護学校について、校舎の老朽化や狭あい化の解消、実習施設の充実に向けた施設整備を実施します。
- 宍道高校について、教室不足の解消や多様な学びへの対応のための施設整備を実施します。
- 江津地域の県立高校の設置に向け、新設校開校準備委員会における議論等を踏まえた校舎や寄宿舎の施設整備を実施します。

名称	高等学校校舎等整備事業		所属	教育施設課
目的	対象	県立高校の生徒	目指す状態	安全・安心な教育環境の確保
成果	・宍道高等学校のリース校舎建設工事が予定通り完了し、令和8年度から供用開始となることから、教室不足が解消される見込み。			
課題	・宍道高等学校は、日本語指導が必要な生徒や集団になじめないなど、教育上の配慮が必要な生徒の増加により、普通教室の不足や生徒の特性に配慮したスペースの狭あい化が見込まれる。			
方向性	・宍道高等学校の教室不足を解消し、生徒の特性に配慮したスペースの確保も図るため、リース校舎を整備する。なお、今回は生徒の急増対策として整備するものであり、将来には急速な少子化により在籍者数が減少することも想定されるため、10年間のリースで校舎を整備する。			

名称	特別支援学校校舎等整備事業		所属	教育施設課
目的	対象	特別支援学校の児童生徒	目指す状態	安全・安心な教育環境の確保
成果	・浜田養護学校において、新校舎完成までの間に暫定的に使用する仮設校舎を建設して供用開始したことにより、現段階での教室不足、狭あい化が解消した。 ・浜田養護学校の新校舎建設に向けて、敷地の造成工事等を実施した。 ・出雲養護学校雲南分教室において運動場整備が完了し、教育環境の向上を図った。また、調査の結果、周辺施設への工事の影響がないことを確認した。			
課題	・浜田養護学校の児童生徒数の増加については、隣接する浜田ろう学校との教室等の共用、学校内での施設等の転用、小規模改修等で対応しているが、慢性的な教室不足や狭あい化が生じており、今後も児童生徒数の増加による教室不足が見込まれる。また、高等部棟が建設から55年以上経過し老朽化している。			
方向性	・高等部棟の増改築や、既存小中学部棟及び屋内運動場の改修工事等により、特別支援学校設置基準への適合や、教室不足・狭あい化の解消、老朽化への対応を図る。			

名称	教育財産維持管理費		所属	教育施設課
目的	対象	県立学校	目指す状態	児童・生徒等の生活環境の変化等に応じた教育環境の確保
成果	・トイレ洋式化は75%を目標とする整備計画に基づき、計画的に整備を推進している。 ・普通教室のエアコンは令和元年度に100%設置済であり、現在は「県立学校のエアコン設置方針」に基づき、「原則として公費で設置する室」（選択教室、相談室等）に整備を行っている。			
課題	・「県立学校のエアコン設置方針」に基づき、必要性が高い室に順次エアコンを設置してきたが、年度間予算を平準化させるため単年度当たりの設置台数を減らしたことにより、完了見込みを当初目標としていた令和7年度から令和10年度に延期した。			

方向性	・トイレ洋式化、エアコン設置ともそれぞれの整備計画に基づき整備する。 ・トイレ洋式化第3期整備計画（令和5年度から9年度、目標整備率75%）において計画的に整備する。 ・エアコン設置計画（計180室程度設置）の全体事業費を増額し、年度間予算の平準化を図るため、完了年度を令和7年度から10年度に見直した上で、優先度の高い部屋から整備する。		
-----	---	--	--

名称	産業教育設備整備事業		所属	教育施設課
目的	対象	専門高校	目指す状態	産業に関する高度な知識・技能の習得のための環境整備
成果	・産業教育設備のうち、特別装置（CADシステムなど）については、機能要件の検証等を行いながら計画どおり更新している。 ・近代化設備（旋盤などの単体設備）については、限られた予算の中で、優先順位をつけながら整備している。			
課題	・現有設備の更新や、変化する社会に求められる人材を育成するための新たな設備の導入を図っているが、各学校からの要望に十分応えられていない。			
方向性	・変化する社会に適切に対応した設備整備や、各学校の特色を生かした設備更新が可能となるよう、関係課とも連携しながら優先順位をつけ、工夫して整備・更新を行う。			

名称	普通高校等情報教育機器整備事業		所属	教育施設課
目的	対象	普通高校と特別支援学校	目指す状態	情報化の進展に主体的に対応できる基礎的な能力の習得のための環境整備
成果	・PC教室の教育用コンピュータ機器については、学校の要望等を考慮しながら計画どおり整備してきた。 ・タブレット型やノート型の一人一台端末の導入により、情報教育を普通教室で行うことが可能となり、より柔軟な運用が可能となった。			
課題	・特別支援学校においても、生徒一人一台端末の導入が完了したが、導入されたタブレットPCでは対応できないシステム（点字編集システム・CAD等）がある。			
方向性	・必要に応じて、点字編集システムやCAD等に対応可能なこれまでリースしてきたPCを買い取り、情報教育環境を維持する。			

名称	理科教育設備整備事業		所属	教育施設課
目的	対象	県立学校	目指す状態	観察・実験機器の整備による理科教育環境の充実
成果	・老朽化備品の更新等により、現有備品の一定の充実が図られた。			
課題	・学校によって備品の充足率に差がある。 ・予算に限りがあり、各学校からの要望に十分応えられていない。			
方向性	・夏季休業中など、教職員が備品の状況を把握しやすい時期に要望調査を実施する。 ・関係課と連携しながら、限られた予算の中で学校の特色を考慮しつつ、必要性や優先度を踏まえた整備を行う。			

(6) 部活動の地域連携・地域移行

- 将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するとともに、部活動における教員の負担を軽減するために地域人材の活用を進め、「部活動指導員」、「地域連携指導員」、「地域指導者」を県立校へ配置するとともに、公立中学校に配置する市町村を支援します。
- 島根県公立中学校における部活動の地域連携・地域展開に係る方針」（令和7年3月策定、令和8年1月改訂）に基づいて、具体的な検討や取組を実施する市町村を支援します。

名称	部活動改革支援事業		所属	保健体育課
目的	対象	市町村立中学校・県立学校の生徒	目指す状態	教員の業務負担軽減を図り教育の質の向上を図るとともに、生徒が、将来にわたり継続してスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境を整える。
成果	・将来にわたり地域の中で子どもたちの豊かなスポーツ・文化芸術活動の環境を整えていくことを目的として、部活動地域移行検討委員会を立ち上げ、令和7年3月に「島根県公立中学校における部活動の地域連携・地域展開に係る方針」を策定（令和8年1月改訂）。 ・適切な練習時間や休養日の設定など部活動の適正化を進めている市町村を対象に、部活動指導員や地域指導者の配置に係る経費の一部を補助。また、県立学校においても、同様に部活動指導員等の配置を行い教員の負担軽減を図った。 ・将来的に部活動指導員への移行を想定する地域連携指導員を令和6年度より新設し、配置人数も増えてきている。 ・部活動指導員等の総数は年々増えており、教員の負担軽減に繋がっている。			
課題	・学校現場では、部活動指導員等の更なる配置を希望しているが、部活動の指導が可能な地域人材が不足している。 ・今後も、学校からの要望（配置人数及び指導時間）が増えていくことが予想される中で予算の確保が求められる。			
方向性	・令和6年度から、単独で指導や引率ができる地域連携指導員（将来的に部活動指導員への移行を想定する）の区分を設けたところであり、この積極的な活用を促すことで、教員に代わって指導ができる人材の養成を図る。 ・部活動指導員等を十分に確保するための財政措置について、高等学校を含めて補助対象の拡充を行うよう、国に対し要望を行う。 ・学校現場において、制度を効果的に活用することができるよう、市町村担当者会議や市町村が開催する検討委員会等において、制度説明や意見交換を行い地域での浸透を図る。			

(7) 図書館サービスの充実

- 市町村立図書館等と連携し、多様化する県民ニーズに対応した情報提供により、地域や住民が抱える様々な課題を解決するための支援の充実や、知的財産の拠点として調査・研究を支援します。
- 身近な場所で多くの図書に触れることができるよう、市町村立図書館等の図書の貸出支援や、図書館職員の人材育成支援などによる読書環境の整備を推進します。
- 読書ボランティアと連携した乳幼児期から本に親しむ環境づくりや、バリアフリー資料の整備等により、県民の読書機会の充実を図ります。

名称	図書館事業		所属	社会教育課
目的	対象	県民（利用者）	目指す状態	県民の高度化・多様化する学習ニーズに応え、資料提供やレファレンス等の情報提供に努めながら、いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができる環境の整備を図る。
成果	・来館や電話以外にWebを活用したレファレンスサービス等に取り組んだが、レファレンスの受付件数、相互貸借冊数ともに令和6年度に比べ減少した。 ・ホームページ以外に様々なメディアを活用し、図書リストや書評など子どもの本に関する情報提供を行ったが、児童書の貸出冊数は令和6年度に比べ減少した。			

	・一方、遠隔地利用者図書貸出サービスの利用件数が年々増加するなど非来館によるサービスの利用は、新たに開始したサービスを含め増加した。
課題	・従来、図書館は来館者に重点を置いたサービスを行ってきたが、Webを用いた情報収集が一般化し、図書館でのレファレンスや紙の資料の閲覧、貸出が伸び悩んでいる。 ・幼稚園や保育所入所等児童数の減少に伴い、1施設あたりの貸出冊数が減っているため、トータルの貸出冊数が減少している。 ・デジタイズ図書ダウンロードサービスのような新規サービスなど、多様な読書ニーズに十分対応できていない。
方向性	・県民が利用できる様々な図書館サービスについて、サービス対象に適した方法、媒体で周知する。特に、当館への来館だけではなく、相互貸借など市町村の図書館等を通じて図書館サービスを受けられることを周知する。 ・児童書の選書に役立つよう幼児教育施設に直接推薦図書リストを配布して本の情報を届けたり、「読み聞かせ」や「わらべうた」といった子どもの読書に関わるテーマの研修を実施したりすることで、児童サービスに関わる人の質的向上や、多様なニーズに応えられるよう児童書を整備し、貸出の利用促進を図る。 ・様々な読書のニーズに応えるため、デジタイズ図書ダウンロードサービスによる資料の提供や、自館でのテキストデジタイズの作成など、障がい者サービスへの知識と理解を深めるよう職員を育成し体制を充実させる。

(8) 文化財の保存・継承と活用

- 歴史・文化への興味・関心や学びに向かう意欲が高まるよう、体系的な調査研究を進め、その成果を展覧会や県内外での講演会開催・オンライン配信などにより発信します。
- 文化財の指定等により保護を図り、所有者等による保存修理や伝統文化の継承活動を支援するとともに、地域の文化財の価値を分かりやすく伝えることにより、学校での学びや地域住民による利活用を促進します。
- 令和9年に発見500年・世界遺産登録20周年を迎える石見銀山について、大田市等と連携した魅力化や持続化の取組を推進します。

名称	指定文化財等保護事務		所属	文化財課
目的	対象	県民、文化財所有者・保持団体	目指す状態	県民が郷土への愛着や誇りを持ち、文化財を将来にわたって確実に継承し、活用できるように地域総がかりで取り組む環境を整備する。
成果	・県にとって重要な文化財が、国登録文化財に1件、県指定文化財に1件、それぞれ新規に指定された。 ・市町村や無形民俗文化財の保持団体等に対し、文化庁の補助事業を周知し、2件の活用実績があった。			
課題	・近代遺跡など、文化財の相対的な評価が定まらない等の理由により、指定の可否が判断できないものがある。 ・神楽等の無形民俗文化財の保持団体等の中には、技術やノウハウ等の継承が困難な団体がある。 ・市町村によっては、文化財の調査研究、保存・継承、活用が難しい状況にある。			
方向性	・文化財の基礎的な調査を引き続き実施し、全体把握に努める。 ・市町村や無形民俗文化財の保持団体等に対し、引き続き文化庁の補助事業（衣装等修理、後継者養成など）を周知し、活用を促す。 ・国や県文化財保護審議会委員等の専門家による意見を踏まえ、市町村の文化財管理を支援する。 ・大綱の基本的な考え方を市町村と共有し、文化財保存活用地域計画を策定する市町村からの求めに応じ必要な助言、協力を行う。			

名称	歴史遺産保存整備事業		所属	文化財課
目的	対象	県民、文化財所有者・保持団体	目指す 状態	文化財の損壊や滅失を防ぎ、将来へ確 実に継承していく。
成果	・指定文化財を維持継承していくため、所有者や市町村と連携し、保存修理事業を計画的に進めている。 ・保存修理後は、建造物を一般向けに公開するなど、地域資源としても活用されている。令和7年度で完了した事業 ・重文旧大社駅本屋保存修理事業 ・重文雲樹寺四脚門保存修理事業 ・県指定須佐神社本殿保存修理事業 ・県指定明々庵保存修理事業 ・県指定旧大社駅鉄道施設旧鉄道敷地保存修理事業 - 継続して実施している事業 ・重文八幡宮保存修理事業 ・重文木幡家住宅主屋ほか10棟保存修理事業			
課題	・指定文化財の保存修理や耐震対策等を行う場合、所有者に多額の自己負担が生じる。 ・保存修理を要する文化財（建造物）が多数ある。			
方向性	・文化財の傷みが進行すると保存修理費用がさらに増大するため、随時、市町村や所有者、専門家で保存状態を情報共有し、適切な時期に修理が行われるよう、また、修理実施時に事業が円滑に進むよう市町村と連携して支援する。 ・事業スケジュールや内容について、市町村及び所有者と綿密な協議を行い、概ね5年後までの中長期的な事業計画を把握した上で、適切に事業実施ができるよう支援する。			

名称	八雲立つ風土記の丘事業		所属	文化財課
目的	対象	県民及び県外からの利用者	目指す 状態	風土記の丘地内の史跡や文化財を通して県内の文化財への興味・関心を高め、文化財を身近なものと感じてもらう。
成果	・5月に開催した「こどもまつり」では地元絵本作家による紙芝居や体験コーナーの実施、関連施設による出展、キッチンカーの出店により、来館者増に繋がった。（対前年比7%増） ・夏季企画展はスマートフォンを使用したデジタルクイズラリーを初めて実施した。 ・11月は特別展の開催、団体受け入れ等により、過去10年間の同月で最も多い入館者数となった。（1,741人）			
課題	・周辺の史跡や文化財の魅力が県民に伝えられていない。			
方向性	・ホームページやSNSでの情報発信等により、八雲立つ風土記の丘が、地内のガイドンス機能を持つ拠点施設であることを引き続き周知し、来館者により一層、史跡に親しんでもらえるよう、取組を行う。 ・近隣市町と連携したイベントを実施し、入館者の増加を図る。			

名称	古墳の丘古曾志公園事業		所属	文化財課
目的	対象	県民及び県外からの利用者	目指す 状態	公園内の古墳に触れることで、島根の古代の歴史文化に親しみを持ってもらえる。
成果	・野外ステージドアや浄化槽の修繕を行い、環境整備を行った。			
課題	・建築物や構造物の発錆劣化等、全般的に老朽化が進行している。			
方向性	・定期的な園内の見回りや施設の保守点検により、利用者の安全確保を図る。 ・老朽化した個別施設の安全性や費用対効果を踏まえ、今後の対応を検討する。			

名称	古代出雲歴史博物館管理運営事業		所属	文化財課
目的	対象	古代出雲歴史博物館の利用者及び県内外の人々	目指す状態	島根の歴史文化に関する研究成果の発信、学習・交流機会の提供により、県内外の方々に島根の歴史文化の魅力を発信し、理解してもらう。
成果	・県内外施設でのPRイベント、出雲市内の幼保園・児童クラブでのワークショップを実施し、リニューアルオープン後の来館につなげていく取組を行った。 ・幅広い世代に、歴史文化への関心を深めてもらうため、学芸員による連続講座（9回、779人聴講）、石見西部の親子をターゲットにした「れきはく体験バスツアー」等を実施した。また、出前講座や講師派遣（17回）、学校団体の受入（30校、1,034名）を継続して行い、学習・交流の機会を提供することができた。 ・展示が年代順に並んでいないことにより、児童生徒の社会科学学習では利用しづらかったため、教科書の内容に沿った通史方式の展示構成に改修を行った。また、鷲舞等の展示品を取り入れ、出雲・石見・隠岐の3地域を網羅した展示内容となるように改善を図った。 ・荒神谷博物館（出雲市）と連携し、休館中に観覧できない青銅器等の展示をすることにより、当館の認知度向上を図った。			
課題	・出雲大社入込客数はコロナ禍前（H30）より大きく回復しているが、当館の入館者数は令和6年度においてもコロナ禍前（H30）の8割程度である。引き続き、出雲大社の入込客をどのように取り込むかが課題である。 ・コロナ禍後は、団体の来館者の減少が大きく、個人（有料）の来館者は平成30年度の122,028人に対し、令和6年度の136,897人であり、1割弱上回っているため、客層の変化に応じた誘客対策が課題である。			
方向性	・出雲大社を訪れる個人客に対し、SNSによる情報発信を強化する。 ・マイカー客の割合が高くなったことから、道の駅、主要SA・PA等交通拠点での誘客、出雲大社入込客を取り込むための誘客を積極的に実施する。 ・県内外の観光業者に向け、リニューアルオープンとその後の企画展の広報を行い、入館者数の増につなげる。			

名称	埋蔵文化財保護事務		所属	文化財課
目的	対象	県民及び開発事業者	目指す状態	開発に際し貴重な文化財が破壊あるいは消失しないよう、計画段階で必要な協議を行い、適切な対応が取られるようにする。
成果	・遺跡台帳における遺跡情報について、市町村と連携することで、更新の作業効率を上げた。 ・遺跡台帳確認の年次計画を作成し、埋蔵文化財センター職員が文化財課のGISフォルダにアクセスできるように改善し、情報共有を進めた。 ・開発事業に係る最初の窓口である市町村に対して、担当者会議等の場を活用して、改めて開発事業者への周知徹底を依頼し、開発事業と文化財保護の調整を進めた。			
課題	・遺跡リストの基となる遺跡台帳の確認と、県統合型GISへの反映作業が滞っている。			
方向性	・遺跡台帳確認の年次計画を作成し、関係機関と連携して着実に更新作業を進める。 ・埋蔵文化財調査センターの統合型GISの操作担当者を増やす。			

名称	文化財活用事業		所属	文化財課
目的	対象	県民	目指す状態	島根の歴史文化を学習する機会を積極的に提供し、ふるさとを誇りに思う心を醸成することで、児童生徒を含む県民の心の豊かさの向上に寄与する。
成果	・史跡指定されている古墳の紹介パンフレットを新規に2種作成した。 ・夏休み子ども・子育て世代を対象とした古代体験イベント「いにしえ倶楽部夏スペシャル 邪馬台国の女王・卑弥呼の鏡を作ろう」を開催し、親子で地域の文化財を学ぶ機会とした。			
課題	・県民が自ら文化財を学び、利活用する事例が少ない。 ・体験活動や出前授業について、学校現場のニーズを十分に把握できていない。			

方向性	・引き続き、県民に対して歴史文化を学習できる機会を提供する。 ・歴史文化の情報に触れやすくするため、解説板の整備等を順次実施し、デジタル化を進める。 ・令和5年度に作成した『文化財活用のススメ』の利活用促進のため、市町村や公民館に対して再周知及び増補改訂等の希望聴取を行う。 ・アンケート内容を踏まえ、学校や児童生徒のニーズに即した学習内容・教材を提供する。 ・学校と事前の打合せを行い、学校側の意向に則した計画を作成する。		
-----	--	--	--

名称	埋蔵文化財調査センター事業			所属	文化財課
目的	対象	県民・公共事業者	目指す状態	開発事業地内の埋蔵文化財発掘調査を行い、その価値を明らかにし、調査で得た情報を県民に還元することで地域の埋蔵文化財への理解と興味関心を高める。	
成果	・発掘調査の成果について、現地公開やパンフレットの作成・配布を行い、広く情報発信した。 ① 発掘調査を実施した松江市内の5遺跡で現地公開を行い、約187名の参加を得た。 ② 「ドキ土器まいぶん（Web版）No.5」を埋蔵文化財調査センターHP上で公開し、発掘調査成果を広く周知した。 ③ 「シリーズしまねの遺跡発掘調査パンフレット15 松江市近郊・大橋川周辺の弥生墓制」を公民館等に配布した。 ④ 松江市内で講演会を開催し、朝酌矢田Ⅱ遺跡や東百塚山20号墓の発掘調査成果について発信した。				
課題	・現地公開に対して事業者の理解を得るのに苦慮しており、また、日程調整に時間を要している。				
方向性	・引き続き、国や県など関係機関と現地公開の重要性について情報共有し、緊密な連携を図る。 ・現地公開が開催不可の場合は、公民館等での速報展や広報チラシを配布するなどの代替措置をとる。				

名称	古代文化の郷「出雲」整備事業			所属	文化財課
目的	対象	県内外の人々	目指す状態	八雲立つ風土記の丘地内の史跡等の魅力向上を図るとともに、出雲部に存在する多様な文化遺産をネットワーク化し、歴史探訪ルートを設定して、野外博物館として活用してもらう。	
成果	・風土記の丘地内に所在する古墳の理解を図るために、史跡岡田山古墳、御崎山古墳のパンフレットを作成し配布した。 ・史跡出雲国府跡のパンフレットを最新の内容に更新し、増刷して現地と地内の各施設に設置した。				
課題	・展示学習館などの施設から周辺の史跡への周遊につながる、電動アシスト自転車の利用実績が伸び悩んでいる。 ・八雲立つ風土記の丘地内の解説板の情報が最新ではないことや、多言語対応が不十分である。 ・八雲立つ風土記の丘地内の史跡の周知が不十分である。				
方向性	・八雲立つ風土記の丘地内の展示施設から史跡への来訪に便利な周遊マップを、県文化財課・風土記の丘ホームページで周知し、来訪者の史跡周遊の増加を図る。 ・八雲立つ風土記の丘との連携を強化し、電動アシスト自転車の利用について積極的な案内を行うとともに、共同で史跡を活用したイベントを開催する。 ・引き続き、八雲立つ風土記の丘地内の解説板を最新に更新するとともに多言語化を図る。				

名称	未来に引き継ぐ石見銀山保全事業		所属	文化財課
目的	対象	県内外の人々	目指す状態	世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の価値を高め、その価値や魅力についての情報発信による認知度の向上や、適切な保存整備を図ることで、確実に未来へ継承する。
成果	・調査研究の実施により、石見銀山の銀生産の実態を明らかにする上で必要な情報の蓄積が進んだ。 ・史跡地内（5カ所）、伝統的建造物群保存地区内（8カ所）の保存整備や安全対策が進んだ。 ・大阪・関西万博にちなみ、技術に焦点を当てた内容の講演会を大阪で開催し、多くの人の関心を集めた。			
課題	・基礎的調査研究は専門的であるため、その成果は一般向けには分かりにくい情報となっている。 ・保存整備を行う必要のある個所が残っている。			
方向性	・学術的な調査研究を推進しつつ、その成果について、引き続き幅広い世代の関心を引くような親しみやすい情報発信に努める。 ・史跡等の保存整備について、引き続き今後の計画を共有するなど所有者や関係機関等との連携を進め、支援を継続していく。 ・令和9年の石見銀山発見500年に向けて、石見銀山の「魅力化」や「持続化」の取組を大田市等と連携して進める。			

名称	古代文化研究事業		所属	文化財課
目的	対象	県内外の人々	目指す状態	しまねの特色ある歴史・文化について、新たな視点から調査研究を行い、学術的基盤を構築する。研究成果を広く公開して、歴史・文化の魅力を向上させることを通じ、人々の交流を促す。
成果	・令和7年度刊行の『古代文化研究』34号では、考古学3本、古代史（風土記の書誌学的研究を含む）2本、中世史2本、近世史1本、近代史2本、民俗学1本、美術史学1本と、多分野にわたる計12本の論文を掲載している。 ・島根県HPに加えてポータルサイト上でも「古代文化研究」バックナンバーのWeb公開を開始し、利用者の閲覧に供している。 ・堀部1号墳および東百塚山20号墓の現地説明会の開催や、出雲国風土記のPR動画である「E P I S O D E 1 仁多郡－恋山編－」の公開など、調査研究の成果をわかりやすく伝える取組を行っている。			
課題	・「古代文化研究」バックナンバーの閲覧回数の目標値は達成したが、新設したポータルサイトでの閲覧は伸び悩んでいる。			
方向性	・「古代文化研究」バックナンバーを閲覧可能な3つのWebページ（島根県HP：2、ポータルサイト：1）の公開内容を整理し、しまねの歴史・文化に興味関心をもつ方がアクセスすることの多いポータルサイト上で、各種情報が充足するよう改善を行う。 ・一般向けの刊行物（ガイドブックなど）や講演会・オンライン配信（ポータルサイト）などを通じて、引き続き研究成果の公開を進める。			

名称	島根の歴史文化活用推進事業		所属	文化財課
目的	対象	県内外の人々	目指す状態	しまねの豊かな歴史・文化の魅力を広く伝え、県民の郷土への愛着を養う。県外の方々には、しまねの歴史・文化に関心をもってもらうことで、人々の交流を促進する。
成果	- 講座やシンポジウムについてはYouTubeチャンネル「しまこだチャンネル」で動画配信し、会場参加の60倍近くに当たる23,000名以上がオンラインで視聴した。 「石見国巡回講座」「隠岐国巡回講座」を継続開催したほか、「しまねの古代文化連続講座」では中世石見の山城に関するオンライン講座を公開し、出雲だけでなく石見・隠岐を含む島根県全域の歴史・文化の魅力を県内外に発信した。 - 首都圏在住者を対象としたバスツアーでは、古墳編に加えて山城編を新設することで、青銅器や古墳、風土記や神話、神社といった興味関心が集中するテーマ以外にも魅力的な歴史・文化があることを発信し、合計37名が参加した。			
課題	しまねの特色ある歴史・文化として従来からよく知られている青銅器や出雲神話などに比して、民俗文化財や雪舟庭園など、しまねの多様な歴史・文化は広く認知されていない。			
方向性	- 近年の研究成果を反映したガイドブックなどを作成し、一般の方が手に取りやすいかたちで成果の公表を行う。 - 講座やシンポジウムにも最新の調査研究成果を反映し、特定のテーマに偏らない多様な歴史・文化に対する興味関心の高まりにつなげる。 「しまこだチャンネル」における講座・シンポジウムのオンライン配信についても継続的に行うことで、しまねの豊かな歴史・文化の魅力を県内外へ広く発信する。			

(9) 私立学校への支援

- 私立学校に対して、子どもたちに対する教育環境・教育水準の維持向上などのための経常費助成などを支援します。
- 私立高等学校や専修学校の経営健全化を確保するために、学校自らが行う魅力的な教育環境の整備や生徒確保の取組に対して支援します。
- 私立高等学校等に在籍する生徒の保護者負担を軽減するための取組に対して支援します。

名称	私立学校経営健全性確保事業		所属	総務部総務課
目的	対象	私立学校、学校法人	目指す状態	私立学校の教育条件の維持向上と経営状態の健全性を高める。
成果	・私立高等学校生、専修学校生の県内就職率を高めるため、補助メニューの見直しを行っている。			
課題	・県内からの入学生が減少傾向にあり、授業料収入が減少することで、経営の健全性が悪化している。 ・県内からの入学生の減少に対処するため、県外からの入学生の受け入れに注力しているが、受け入れ環境整備などの経費が増加している。			
方向性	・経営健全性を確保するためには、私立高等学校・専修学校自らが魅力的な教育環境の整備に取り組むなど生徒確保を進めていく必要があり、県はこうした取組を引き続き支援していく。 ・私立高等学校・専修学校生の県内就職促進のために、必要な支援を行っていく。			

名称	私立学校就学支援事業		所属	総務部総務課
目的	対象	私立高等学校等に在籍する生徒 ・私立専修学校	目指す状態	・保護者等の教育費負担を軽減するために高等学校等就学支援金を交付する。 ・低所得者であっても社会で自立し、活躍できる人材を育成する大学等において修学できるよう高等教育の修学に係る経済的負担の軽減を図る。
成果	・私立学校に対する制度周知により、交付率を100%にすることができた。			
課題	・特になし			
方向性	・引き続き交付漏れがないよう、私立学校に対して制度周知を徹底する。			

【資料】各事業に係るK P I（重要業績評価指数）の状況

1 発達の段階に応じた学力の育成

(1) 基礎学力の育成

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
学力育成推進 事業	1	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思うと回答した中学3年生の割合【当該年度4月時点】	目標値		80.0	80.5	81.0	81.5	82.0	%	単年度 値
			実績値	79.7	73.9						
			達成率	—	92.4	—	—	—	—	%	

(2) 幼小連携・接続の推進

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
幼児教育総合 推進事業	1	保育者としての資質・能力が身についていると答えた保育者の割合【当該年度10月時点】	目標値		70.2	71.4	72.6	73.8	75.0	%	単年度 値
			実績値	67.4	69.2						
			達成率	—	98.6	—	—	—	—	%	
	2	地域の資源（ひと・もの・こと）を効果的に活用する力があると答えた保育者の割合【当該年度10月時点】	目標値		38.0	41.0	44.0	47.0	50.0	%	単年度 値
			実績値	35.7	46.6						
			達成率	—	122.7	—	—	—	—	%	
	3	ねらいに沿って指導を適切に展開し、改善する力を持っていると答えた保育者の割合【当該年度10月時点】	目標値		70.2	71.5	72.7	74.0	75.2	%	単年度 値
			実績値	73.5	76.2						
			達成率	—	108.6	—	—	—	—	%	
	4	円滑な幼小連携・接続のためのカリキュラムを幼児教育施設と協働で作成している小学校の割合【当該年度10月時点】	目標値		60.0	80.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	23.7	32.1						
			達成率	—	53.5	—	—	—	—	%	
新規採用教員 資質向上事業	1	研修を通じて新規採用職員に資質・能力が一定程度身についたと答えた園長の割合【当該年度10月時点】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	92.5	94.5						
			達成率	—	94.5	—	—	—	—	%	
	2	園内研修・園外研修を実施した幼稚園の割合【当該年度10月時点】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	100.0	100.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—	%	

(4) ICTを活用した教育の推進

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
未来の創り手 育成事業（授 業改善・ICT）	1	学習活動や学習内容について生徒同士で話し合っていると回答した高校3年生の割合【当該年度7月時点】	目標値		91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	%	単年度 値
			実績値	89.8	90.4						
			達成率	—	99.4	—	—	—	—	%	
	2	1クラスあたりの学校図書館を活用した授業時間数（小中学校）【当該年度4月～3月】	目標値		26.5	27.0	27.5	28.0	28.5	時	単年度 値
			実績値	26.2	24.5						
			達成率	—	92.5	—	—	—	—	%	
	3	1クラスあたりの学校図書館を活用した授業時間数（高校）【当該年度4月～3月】	目標値		10.0	11.0	12.0	13.0	14.0	時	単年度 値
			実績値	10.8	10.3						
			達成率	—	103.0	—	—	—	—	%	
	4	情報を、勉強したことや知っていることと関連づけて理解していると回答した高校3年生の割合【当該年度7月時点】	目標値		85.0	86.0	87.0	88.5	90.0	%	単年度 値
			実績値	84.0	85.9						
			達成率	—	101.1	—	—	—	—	%	

(5) ふるさと教育や探究的な学びの推進

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
教育魅力化人 づくり推進事業	1	将来、自分の住んでいる地域のために役立ち たいという気持ちがあると回答した高校生の 割合【当該年度7月時点】	目標値		75.1	76.4	77.7	79.0	80.3	%	単年度 値
			実績値	73.8	75.2						
			達成率	—	100.2	—	—	—	—	—	
	2	県内大学と連携・協働して行う、各学部の学 びの理解を深める放課後講座等に参加した 高校生の数【当該年度4月～3月】	目標値		500.0	500.0	500.0	500.0	500.0	人	単年度 値
			実績値	630.0	432.0						
			達成率	—	86.4	—	—	—	—	—	
教育魅力化人 づくり推進事業 （探究学習）	1	地域社会の魅力や課題について考える学習 に対して主体的に取り組んでいると回答した 高校生の割合【当該年度7月時点】	目標値		62.1	63.6	65.1	66.6	68.1	%	単年度 値
			実績値	60.6	62.2						
			達成率	—	100.2	—	—	—	—	—	
ふるさと教育推 進事業	1	【全国学力・学習状況調査】 地域や社会をよくするために何かしてみたい と思うと肯定的回答をした中学3年生の割合 【当該年度7月時点】	目標値		79.0	80.0	81.0	82.0	83.0	%	単年度 値
			実績値	78.2	75.2						
			達成率	—	95.2	—	—	—	—	—	

(6) 読書活動の推進

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
特別支援学校 図書館教育推 進事業	1	幼児児童生徒1人あたりの年間図書貸出数 【当該年度4月～3月】	目標値		22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	冊	単年度 値
			実績値	18.2	16.9						
			達成率	—	75.2	—	—	—	—	%	
子ども読書活 動推進事業	1	市町村子ども読書活動推進計画の策定率 【当該年度4月～3月】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	84.2	89.4						
			達成率	—	89.4	—	—	—	—	%	

(9) 望ましい生活習慣の確立、心身の健康づくりと体力の向上

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
健康教育推進 事業	1	心の健康問題に関する教職員研修を行っている学校の割合【当該年度4月～3月】	目標値		80.0	85.0	90.0	95.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	70.3	55.0						
			達成率	—	68.8	—	—	—	—	%	
児童生徒の健康 管理実施事業	1	県立学校における二次検診の受診率(心電図)【当該年度4月～3月】	目標値		92.0	94.0	96.0	98.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	91.9	92.5						
			達成率	—	100.6	—	—	—	—	%	
子どもの健康づ くり事業	1	平日学習以外で1日2時間以上TVやDVD、ゲーム機、スマホ、PCを見る小・中学生の割合【当該年度12月時点】	目標値		61.0	60.0	59.0	58.0	57.0	%	単年度 値
			実績値	68.0	68.8						
			達成率	—	88.7	—	—	—	—	%	
食育推進事業	1	朝食を毎日とる小学生の割合【当該年度7月時点】	目標値		96.0	97.0	98.0	99.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	93.0	93.0						
			達成率	—	96.9	—	—	—	—	%	
子どもの体力 向上支援事業	1	中学生の体力数値ピーク時と現在との体力比較(昭和61年を100とした場合)【当該年度7月時点】	目標値		94.0	94.2	94.4	94.6	94.8	指数	単年度 値
			実績値	93.2	92.3						
			達成率	—	98.2	—	—	—	—	%	
体育・競技ス ポーツ大会支 援事業	1	県中学校総体、県高等学校総体への参加生徒の割合【当該年度4月～3月】	目標値		30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	%	単年度 値
			実績値	26.6	27.8						
			達成率	—	92.7	—	—	—	—	%	
令和7年度全国高 等学校総合体育大 会開催事業	1	全国高等学校総合体育大会において入賞した種目数【当該年度9月時点】	目標値		37.0	38.0	39.0	40.0	41.0	種目	単年度 値
			実績値	32.0	26.0						
			達成率	—	73.0	—	—	—	—	%	
学校体育指導 力向上事業	1	体育の授業が「楽しい」と感じている中学生の割合【当該年度7月時点】	目標値		88.0	88.5	89.0	89.5	90.0	%	単年度 値
			実績値	88.7	90.7						
			達成率	—	103.1	—	—	—	—	%	

(10) 人権教育の推進

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
人権教育行政 推進事業	1	会議(連絡調整会議等)または訪問を実施した回数【当該年度4月～3月】	目標値		30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	回	単年度 値
			実績値	25.0	25.0						
			達成率	—	83.4	—	—	—	—		
人権教育研究 事業	1	学校・園(指定校・園)に対する訪問指導及び出前講座研修の実施回数【当該年度4月～3月】	目標値		50.0	53.0	56.0	59.0	62.0	回	単年度 値
			実績値	50.0	45.0						
			達成率	—	90.0	—	—	—	—		
人権教育推進 事業	1	県及び各種団体が実施した研修会の参加者数【当該年度4月～3月】	目標値		2,700.0	2,700.0	2,700.0	2,700.0	2,700.0	人	単年度 値
			実績値	2,356.0	2,286.0						
			達成率	—	84.7	—	—	—	—		

2 教育上の配慮が必要な子どもの学びへの支援

(1) インクルーシブ教育システムの推進

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
特別な支援のための非常勤講師配置事業	1	にこにこサポート事業(小学校等通常の学級)による支援が必要な児童数のうち、TT指導による個別支援や、別室で学習指導を行った児童数の割合【当該年度4月～3月】	目標値		70.0	71.0	72.0	73.0	74.0	%	単年度 値
			実績値	—	97.0						
			達成率	—	138.6	—	—	—	—	%	
インクルーシブ教育システム構築事業	1	特別支援学校高等部において、探究的な学びを通して地域への関心・関わる意欲が高まったと回答した生徒の割合【当該年度2月時点】	目標値		81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	%	単年度 値
			実績値	80.0	81.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—	%	
	2	公立小・中・高校の通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒の個別的教育支援計画の作成率【小中:当該年度5月時点 高:当該年度9月時点】	目標値		60.0	65.0	70.0	75.0	80.0	%	単年度 値
			実績値	—	82.2						
			達成率	—	137.0	—	—	—	—	%	
特別支援学校職業教育・就業支援事業	1	特別支援学校における就労希望生徒の就労割合【当該年度3月時点】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	91.0	84.8						
			達成率	—	84.8	—	—	—	—	%	
	2	特別支援学校における現場実習の受入先を開拓した数(R2年度からの累計)【当該年度4月～3月】	目標値		110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	力所	累計値
			実績値	93.0	99.0						
			達成率	—	90.0	—	—	—	—	%	
特別支援学校CT環境整備事業	1	授業で端末を週2日以上使用した児童生徒の割合(特支)【当該年度2月時点】	目標値		58.0	61.0	64.0	67.0	70.0	%	単年度 値
			実績値	56.8	52.3						
			達成率	—	90.2	—	—	—	—	%	

(2) 不登校児童生徒等への支援

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
不登校対策推進事業	1	公立小・中・高校の不登校児童生徒のうち、学校内・外で専門的な支援を受けている児童生徒の割合【当該年度4月～3月】	目標値		73.1	73.3	73.5	73.7	73.9	%	単年度 値
			実績値	72.6	(R8.10予定)						
			達成率	—	—	—	—	—	—	%	
生徒指導体制充実強化事業	1	生徒指導に関する専門的な校内研修を実施した学校の割合【当該年度4月～3月】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	100.0	(R8.10予定)						
			達成率	—	—	—	—	—	—	%	
	2	学校いじめ防止基本方針の見直しをした学校の割合【当該年度4月～3月】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	100.0	(R8.10予定)						
			達成率	—	—	—	—	—	—	%	
悩みの相談事業	1	公立小・中・高校の不登校児童生徒のうち、学校内・外で専門的な支援を受けている児童生徒の割合【当該年度4月～3月】	目標値		73.1	73.3	73.5	73.7	73.9	%	単年度 値
			実績値	72.6	(R8.10予定)						
			達成率	—	—	—	—	—	—	%	
	2	スクールカウンセラーの総相談件数【当該年度4月～3月】	目標値		17,000.0	17,500.0	18,000.0	18,500.0	19,000.0	件	単年度 値
			実績値	16,623.0	16,124.0						
			達成率	—	94.9	—	—	—	—	%	
「こころ・発達」教育相談事業	1	心の悩みや発達の課題を持つ子どもや保護者が「こころ・発達」教育相談室につながり、相談を行った件数【当該年度4月～3月】	目標値		310.0	330.0	350.0	370.0	390.0	人	単年度 値
			実績値	262.0	195.0						
			達成率	—	63.0	—	—	—	—	%	
学びの場を支える非常勤講師配置事業	1	自学教室等で非常勤講師が指導に関わった生徒数の割合【当該年度4月～3月】	目標値		91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	%	単年度 値
			実績値	90.0	95.0						
			達成率	—	104.4	—	—	—	—	%	

(3) 学校と福祉の連携の推進

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
高等学校奨学 事業	1	適格者に対する貸与率【当該年度4月～3月】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	100.0	100.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		
高等学校修学 奨励費(定時 制・通信制)	1	適格者に対する賞与、給与率【当該年度4月～3月】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	100.0	100.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		
特別支援教育 就学奨励事業 費	1	就学奨励費支給率【当該年度3月時点】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	100.0	100.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		
進路保障推進 事業	1	県立学校におけるスクールソーシャルワーカーへの相談のうち、生徒が抱える課題が解決し、又は状況が好転した割合【当該年度4月～3月】	目標値		26.0	50.0	50.0	50.0	50.0	%	単年度 値
			実績値	24.0	48.1						
			達成率	—	185.0	—	—	—	—		

(4) 日本語指導が必要な児童生徒等への支援

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
帰国・外国人児 童生徒等教育の 推進支援事業	1	日本語指導等特別な指導を受けている児童生徒の割合(居所不明を除く)【当該年度5月時点】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	100.0	100.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		

3 地域との協働による学びの充実

(1) 地域との連携・協働の推進

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
結集！しまね の子育て協働 プロジェクト事業	1	「結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業」を活用して地域学校協働活動に参画する地域住民数(延べ数)【当該年度4月～3月】	目標値		62,000.0	64,000.0	66,000.0	68,000.0	70,000.0	人	単年度 値
			実績値	60,267.0	57,878.0						
			達成率	—	93.4	—	—	—	—		
	2	親としての役割や子どもとの関わり方についての気づきを促す研修の延べ参加者数【当該年度3月時点】	目標値		2,500.0	3,000.0	3,500.0	4,000.0	4,500.0	人	単年度 値
			実績値	2,206.0	1,963.0						
			達成率	—	78.6	—	—	—	—		
教育魅力化人 づくり推進事業 【再掲】	1	将来、自分の住んでいる地域のために役立ちたいという気持ちがあると回答した高校生の割合【当該年度7月時点】	目標値		75.1	76.4	77.7	79.0	80.3	%	単年度 値
			実績値	73.8	75.2						
			達成率	—	100.2	—	—	—	—		
	2	県内大学と連携・協働して行う、各学部の学びの理解を深める放課後講座等に参加した高校生の数【当該年度4月～3月】	目標値		500.0	500.0	500.0	500.0	500.0	人	単年度 値
			実績値	630.0	432.0						
			達成率	—	86.4	—	—	—	—		
教育魅力化人 づくり推進事業 (探究学習) 【再掲】	1	地域社会の魅力や課題について考える学習に対して主体的に取り組んでいると回答した高校生の割合【当該年度7月時点】	目標値		62.1	63.6	65.1	66.6	68.1	%	単年度 値
			実績値	60.6	62.2						
			達成率	—	100.2	—	—	—	—		

(2) 地域を担う人づくり

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
教育魅力化人 づくり推進事業 【再掲】	1	将来、自分の住んでいる地域のために役立ちたいという気持ちがあると回答した高校生の割合【当該年度7月時点】	目標値		75.1	76.4	77.7	79.0	80.3	%	単年度 値
			実績値	73.8	75.2						
			達成率	—	100.2	—	—	—	—		
	2	県内大学と連携・協働して行う、各学部の学びの理解を深める放課後講座等に参加した高校生の数【当該年度4月～3月】	目標値		500.0	500.0	500.0	500.0	500.0	人	単年度 値
			実績値	630.0	432.0						
			達成率	—	86.4	—	—	—	—		
教育魅力化人 づくり推進事業 (探究学習) 【再掲】	1	地域社会の魅力や課題について考える学習に対して主体的に取り組んでいると回答した高校生の割合【当該年度7月時点】	目標値		62.1	63.6	65.1	66.6	68.1	%	単年度 値
			実績値	60.6	62.2						
			達成率	—	100.2	—	—	—	—		
社会教育士養 成・育成事業	1	社会教育士の称号取得者数【当該年度4月～3月】	目標値		60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	人	単年度 値
			実績値	51.0	58.0						
			達成率	—	96.7	—	—	—	—		
	2	しまね社会教育師認証制度及びしまね社会教育サポーター登録制度の認証・登録者数【当該年度4月～3月】	目標値		250.0	350.0	450.0	550.0	650.0	人	累計値
			実績値	114.0	226.0						
			達成率	—	90.4	—	—	—	—		

(3) 社会教育における学びの充実

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
社会教育総合 推進事業	1	社会教育に対する助言等の場の確保【当該年度4月～3月】	目標値		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	回	単年度 値
			実績値	2.0	2.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		
	2	優良少年団体(県教育長表彰)の被表彰団体数【当該年度12月時点】	目標値		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	団体	単年度 値
			実績値	1.0	1.0						
			達成率	—	33.4	—	—	—	—		
社会教育士養 成・育成事業 【再掲】	1	社会教育士の称号取得者数【当該年度4月～3月】	目標値		60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	人	単年度 値
			実績値	51.0	58.0						
			達成率	—	96.7	—	—	—	—		
	2	しまね社会教育師認証制度及びしまね社会教育サポーター登録制度の認証・登録者数【当該年度4月～3月】	目標値		250.0	350.0	450.0	550.0	650.0	人	累計値
			実績値	114.0	226.0						
			達成率	—	90.4	—	—	—	—		
社会教育研修 センター事業	1	社会教育実践者の養成(延べ参加者)人数【当該年度4月～3月】	目標値		850.0	850.0	850.0	850.0	850.0	人	単年度 値
			実績値	636.0	770.0						
			達成率	—	90.6	—	—	—	—		

(4) 家庭教育支援の推進

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
家庭教育の支援体制整備事業	1	県PTA合同研修の参加者数【当該年度4月～3月】	目標値		150.0	150.0	150.0	150.0	150.0	人	単年度 値
			実績値	132.0	110.0						
			達成率	—	73.4	—	—	—	—		%

(5) 体験活動の充実

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
青少年の家事業	1	青少年の家年間利用者数【当該年度4月～3月】	目標値		8,000.0	43,000.0	43,000.0	43,000.0	43,000.0	人	単年度 値
			実績値	27,843.0	7,900.0						
			達成率	—	98.8	—	—	—	—		%
	2	アウトリーチ型プログラムの参加者数(青少年の家)【当該年度4月～3月】	目標値		400.0	350.0	350.0	350.0	350.0	人	単年度 値
			実績値	151.0	1,828.0						
			達成率	—	457.0	—	—	—	—		%
	3	県立青少年社会教育施設及び国立三瓶青少年交流の家年間利用者数【当該年度4月～3月】	目標値		81,000.0	120,000.0	124,000.0	128,000.0	132,000.0	人	単年度 値
			実績値	91,111.0	69,111.0						
			達成率	—	85.4	—	—	—	—		%
少年自然の家事業	1	少年自然の家年間利用者数【当該年度4月～3月】	目標値		19,000.0	19,000.0	19,000.0	19,000.0	19,000.0	人	単年度 値
			実績値	13,590.0	14,663.0						
			達成率	—	77.2	—	—	—	—		%
	2	アウトリーチ型プログラムの参加者数(少年自然の家)【当該年度4月～3月】	目標値		300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	人	単年度 値
			実績値	314.0	270.0						
			達成率	—	90.0	—	—	—	—		%
	3	県立青少年社会教育施設及び国立三瓶青少年交流の家年間利用者数【当該年度4月～3月】	目標値		81,000.0	120,000.0	124,000.0	128,000.0	132,000.0	人	単年度 値
			実績値	91,111.0	69,111.0						
			達成率	—	85.4	—	—	—	—		%
青少年文化活動推進事業	1	青少年芸術文化表彰及び児童生徒学芸顕彰の被表彰団体(個人)件数【当該年度4月～3月】	目標値		70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	件	単年度 値
			実績値	62.0	51.0						
			達成率	—	72.9	—	—	—	—		%

4 教育の基盤となる環境の整備と充実

(1) 学びを支える指導体制の充実

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
「しまね教育の日」推進事業	1	「しまね教育の日」にちなんだ活動への参加者数(延べ数)【当該年度4月～3月】	目標値		425,000.0	425,000.0	425,000.0	425,000.0	425,000.0	人	単年度 値
			実績値	396,533.0	395,778.0						
			達成率	—	93.2	—	—	—	—		
中学校クラスサポート事業	1	非常勤講師(CST)1人あたりの平均不登校生徒数【当該年度4月～3月】	目標値		5.0	4.9	4.8	4.7	4.6	人	単年度 値
			実績値	6.1	6.8						
			達成率	—	73.6	—	—	—	—		
	2	非常勤講師(CST)1人あたりの平均いじめ認知件数【当該年度4月～3月】	目標値		6.0	5.9	5.8	5.7	5.6	件	単年度 値
			実績値	6.9	12.9						
			達成率	—	46.6	—	—	—	—		
進路希望実現のための講師配置事業	1	代替を受けた教員一人あたりが面談した県内実企業数平均【当該年度4月～3月】	目標値		79.0	80.0	81.0	82.0	83.0	社	単年度 値
			実績値	83.2	82.4						
			達成率	—	104.4	—	—	—	—		
	2	「周りの大人は、じっくりと話を聞き、考える手助けをしてくれる」と回答する生徒の割合【当該年度4月～7月】	目標値		86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	%	単年度 値
			実績値	91.2	91.8						
			達成率	—	106.8	—	—	—	—		

(2) 教職員の人材育成

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
専門的知識習得事業	1	資質及び指導力の向上が図られた教員の割合【当該年度4月～3月】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	100.0	100.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		
	2	免許法認定講習の定員に対する受講者の割合【当該年度4月～10月】	目標値		80.0	82.5	85.0	87.5	90.0	%	単年度 値
			実績値	76.7	57.1						
			達成率	—	71.4	—	—	—	—		
教職員研修事業	1	研修後アンケート「ねらいをもって主体的に研修に取り組むことができた。」に対する肯定的回答の割合【当該年度4月～3月】	目標値		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	%	単年度 値
			実績値	—	99.3						
			達成率	—	104.6	—	—	—	—		
	2	教職員の資質能力及び指導力向上を目的とした校内研修に教育センターが出前講座を実施した件数【当該年度4月～3月】	目標値		135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	件	単年度 値
			実績値	115.0	104.0						
			達成率	—	77.1	—	—	—	—		
	3	公立学校において授業でCTを活用した指導ができていると回答した教員の割合【当該年度3月時点】	目標値		80.0	85.0	90.0	95.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	76.8	(R8.11予定)						
			達成率	—	—	—	—	—	—		
教育センター調査研究事業	1	研究成果を発表する教育研究発表会の視聴回数【当該年度4月～3月】	目標値		350.0	350.0	350.0	350.0	350.0	回	単年度 値
			実績値	386.0	512.0						
			達成率	—	146.3	—	—	—	—		

(3) 働き方改革の推進

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
地域人材を活用した指導力等向上事業	1	月45時間を超える時間外労働を行った教職員数(全校種の延べ人数)(対R5年度実績比)【当該年度4月～3月】	目標値		91.0	83.0	75.0	66.0	58.0	%	単年度 値
			実績値	94.3	(R8.9予定)						
			達成率	—	—	—	—	—	—		

(4) 学校危機管理体制の充実

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
学校安全確保 推進事業	1	学校安全計画及び危機管理マニュアルの見直しを行った学校の割合【当該年度4月～3月】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	95.3	94.1						
			達成率	—	94.1	—	—	—	—		

(5) 学校施設の環境改善の推進

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
高等学校校舎 等整備事業	1	教室不足や狭あい化の解消に向けた普通教室の整備数(高等学校)【当該年度3月時点】	目標値		6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	室	累計値
			実績値	—	6.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		
特別支援学校 校舎等整備事業	1	教室不足や狭あい化の解消に向けた普通教室の整備数(特別支援学校)【当該年度3月時点】	目標値		8.0	8.0	8.0	12.0	12.0	室	累計値
			実績値	8.0	8.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		
教育財産維持 管理費	1	校舎トイレの洋式化率75%を達成した学校の割合【当該年度3月時点】	目標値		67.6	83.8	100.0	100.0	100.0	%	累計値
			実績値	36.2	59.6						
			達成率	—	88.2	—	—	—	—		
	2	エアコン新設対象箇所の整備率(R2年度からの累計)【当該年度3月時点】	目標値		83.3	85.5	91.1	100.0	100.0	%	累計値
			実績値	80.6	86.1						
			達成率	—	103.4	—	—	—	—		
産業教育設備 整備事業	1	専門高校における特別装置の設備更新率【当該年度3月時点】	目標値		15.4	38.5	61.5	84.6	100.0	%	累計値
			実績値	100.0	15.4						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		
普通高校等情 報教育機器整 備事業	1	普通科高校・特別支援学校におけるパソコン教室数【当該年度3月時点】	目標値		3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	室	単年度 値
			実績値	100.0	3.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		
理科教育設備 整備事業	1	理科備品等の充足率【当該年度3月時点】	目標値		14.2	14.4	14.7	15.0	15.2	%	累計値
			実績値	14.1	14.3						
			達成率	—	100.8	—	—	—	—		

(6) 部活動の地域連携・地域移行

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
部活動改革支 援事業	1	公立中・高校における部活動の指導に携わった外部指導者の数【当該年度3月時点】	目標値		650.0	700.0	750.0	800.0	850.0	人	単年度 値
			実績値	589.0	649.0						
			達成率	—	99.9	—	—	—	—		

(7) 図書館サービスの充実

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
図書館事業	1	県立図書館のレファレンス年間受付件数【当該年度4月～3月】	目標値		10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	件数	単年度 値
			実績値	6,307.0	5,464.0						
			達成率	—	54.7	—	—	—	—		
	2	県立図書館から幼児教育施設への児童書の貸出冊数【当該年度4月～3月】	目標値		5,600.0	5,700.0	5,800.0	5,900.0	5,900.0	冊	単年度 値
			実績値	5,281.0	4,688.0						
			達成率	—	83.8	—	—	—	—		
	3	県立図書館と市町村立図書館等との間での相互貸借冊数【当該年度4月～3月】	目標値		11,000.0	11,000.0	11,000.0	11,000.0	11,000.0	冊	単年度 値
			実績値	9,530.0	7,652.0						
			達成率	—	69.6	—	—	—	—		

(8) 文化財の保存・継承と活用

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
指定文化財等 保護事務	1	国・県指定等文化財の指定件数【当該年度4月～3月】	目標値		6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	件	単年度 値
			実績値	2.0	2.0						
			達成率	—	33.4	—	—	—	—		
歴史遺産保存 整備事業	1	国・県指定文化財(建造物)の保存修理が完了した件数【当該年度4月～3月】	目標値		12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	件	累計値
			実績値	10.0	15.0						
			達成率	—	125.0	—	—	—	—		
八雲立つ風土 記の丘事業	1	八雲立つ風土記の丘展示学習館、ガイドン ス山代の郷及び山代二子塚土層見学施設 の入館者数【当該年度4月～3月】	目標値		22,600.0	22,900.0	23,200.0	23,500.0	23,800.0	人	単年度 値
			実績値	22,910.0	21,741.0						
			達成率	—	96.2	—	—	—	—		
古墳の丘古曾 志公園事業	1	古墳の丘古曾志公園事故発生件数【当該 年度4月～3月】	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	件	単年度 値
			実績値	0.0	0.0						
			達成率	—	—	—	—	—	—		
古代出雲歴史 博物館管理運 営事業	1	古代出雲歴史博物館入館者数【当該年度4 月～3月】※R7年4月～R8年9月は施設整 備を実施	目標値		0.0	130,000.0	260,000.0	260,000.0	260,000.0	人	単年度 値
			実績値	200,130.0	—						
			達成率	—	—	—	—	—	—		
埋蔵文化財保 護事務	1	県内における遺跡の位置情報の更新割合 【当該年度3月時点】	目標値		53.0	61.0	69.0	77.0	85.0	%	累計値
			実績値	45.0	53.2						
			達成率	—	100.4	—	—	—	—		
文化財活用事 業	1	子ども塾(小中学校の出前講座)でのアン ケートにおいて、文化財への興味・関心が高 まったと感じた児童生徒の割合【当該年度4 月～3月】	目標値		88.0	88.5	89.0	89.5	90.0	%	単年度 値
			実績値	—	67.0						
			達成率	—	76.2	—	—	—	—		
埋蔵文化財調 査センター事 業	1	発掘調査件数に対する現地公開の割合【当 該年度4月～3月】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	100.0	100.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		
古代文化の郷 「出雲」整備事 業	1	文化財活用度(出雲地域の代表的な史跡 等(松江城など8か所)の来訪者数)【当該 年度4月～3月】	目標値		623,000.0	627,000.0	631,000.0	635,000.0	639,000.0	人	単年度 値
			実績値	702,329.0	776,862.0						
			達成率	—	124.7	—	—	—	—		
未来に引き継ぐ 石見銀山保全 事業	1	石見銀山資料館、龍源寺間歩及び石見銀 山世界遺産センターの入込客延べ数【前年 度1月～当該年度12月】	目標値		180,000.0	190,000.0	200,000.0	200,000.0	200,000.0	人	単年度 値
			実績値	178,157.0	182,785.0						
			達成率	—	101.6	—	—	—	—		
	2	講座等での参加者アンケートにおいて石見 銀山遺跡への興味・関心が高まったと感じ た人の割合【当該年度4月～3月】	目標値		96.0	96.5	97.0	97.5	98.0	%	単年度 値
			実績値	88.9	96.6						
			達成率	—	100.7	—	—	—	—		
古代文化研究 事業	1	古代文化研究事業の成果としてHPで公表し た論文の閲覧回数【当該年度4月～3月】	目標値		9,500.0	9,550.0	9,600.0	9,650.0	9,700.0	回	単年度 値
			実績値	9,443.0	10,709.0						
			達成率	—	112.8	—	—	—	—		
島根の歴史文 化活用推進事 業	1	講座等での参加者アンケートにおいて島根の 歴史・文化への興味・関心が高まったと感じ た人の割合【当該年度4月～3月】	目標値		88.0	88.5	89.0	89.5	90.0	%	単年度 値
			実績値	—	98.8						
			達成率	—	112.3	—	—	—	—		

(9) 私立学校への支援

名称		KPIの名称	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上 分類
私立学校経営 健全性確保事 業	1	私立高等学校生の県内就職率【当該年度3 月時点】	目標値		77.0	78.0	79.0	80.0	81.0	%	単年度 値
			実績値	71.8	72.7						
			達成率	—	94.5	—	—	—	—		
	2	私立専修学校生の県内就職率【当該年度3 月時点】	目標値		68.0	70.0	72.0	74.0	76.0	%	単年度 値
			実績値	65.9	64.7						
			達成率	—	95.2	—	—	—	—		
私立学校就学 支援事業	1	私立高等学校等就学支援金の支給対象者 に対する交付率【当該年度4月～3月】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	100.0	100.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		
	2	授業料等減免制度の対象要件を満たす県 内私立専修学校に対する授業料等減免費 用の交付率【当該年度4月～3月】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度 値
			実績値	100.0	100.0						
			達成率	—	100.0	—	—	—	—		

IV 島根県総合教育審議会の主な意見（令和8年8月5日開催）

1 令和7年度県教育委員会の特徴的な動き

① 発達の段階に応じた学力の育成（P 6）

- ・ 全国学力テストの島根県の結果が全国平均を下回る状況が何年も続いているが、学力低下の根本的な原因は、文章を読んで読解する力が不足していることであると考えている。それを改善するためには、子どもたちが文章を読んで、それを理解し、意味を読み取るスキルを磨いていけるよう、文章に親しむ習慣や、そういう空気を学校全体に作っていく必要がある。

③ ICT教育の充実（P 8）

- ・ ICTの活用を得意とする教員が業務効率や教育効果が上がるようなプログラムを作った際に、それを他の教員に共有できるようなプラットフォームがあるとよい。
- ・ システムやパソコンが市町村間で異なることによって、教員が異動した際に、前任校で使用していた教材が異動後には使えなくなることがある。県内でシステム等が統一する計画があれば、それに向けてそれぞれの教員がツールや知識を蓄積できると思う。
- ・ 配信拠点センターを設置して授業を配信していくことは、島根らしい取組であり、大事にしてほしい。

④ 高校魅力化の推進（P 10）

- ・ 魅力ある高校づくり、特色ある高校づくりに取り組み、それを小中学生にも周知してほしい。
- ・ 新たな教育課程では、小中学校でも探究に力を入れていくことになると考えている。高校での探究学習において、島根はとても進んでいるため、小中高の接続をどう深めていくかが、島根が次のステージに進んでいくためのポイントだと思っている。また、探究の質を高めるためには情報をうまく扱っていく必要があることから、ICT教育の充実とも連携していくとよい。

⑥ インクルーシブ教育システムの構築（P 11）

- ・ 特別支援学校における卒業後を見据えた切れ目のない支援は、とても重要であると思う。保護者においては、卒業後の支援や、地域との繋がりに不安を感じることも多いので、今後も関係機関との連携が必要である。
- ・ 特別支援学校の子どもたちにとって、地域活動やスポーツへの参加は、子どもたちの自信や社会参加につながる大切な機会であるため、今後も地域と連携して取り組んでほしい。
- ・ 特別支援学校では医療的ケアを受けている子どもたちもいる。震災等が発生した場合には、垂直避難が必要な場合もあることから、備品等の配備も必要である。
- ・ インクルーシブ教育の推進と言いながら、現行の施策は特別なニーズのある子どもを「分ける」教育になっている。支援の必要な子どもたちが増加すると現場の手が回らなくなるため、教員個人のスキルアップだけに頼るのではなく、組織として支援する方法も必要ではないか。「多様なニーズへの対応」は単一の課題ではなく、教員不足や学級規模、教員養成のあり方なども絡んでいるので、「インクルージョン」という言葉を使って、島根県の教育が進んでいく大きなビジョンを示し、各部署がまとまって取り組んでいけるとよい。

⑦ 悩みの相談対応（P12）

- ・ 不登校の生徒や保護者に対して様々な対策や支援がなされているが、保護者が支援に関する情報を把握しきれていないことがあるため、多くの保護者に情報が届くよう工夫が必要である。
- ・ スクールカウンセラーをすべての公立学校に配置するだけでなく、1人ひとりのスキルアップ、レベルアップも目指さなければ、生徒やその家族の役には立てないと考えている。また、学校によって活用に濃淡があるので、しっかり活用してほしい。
- ・ 不登校が長期化している子どもたちについては、学校との繋がりが弱くなっているため、スクールソーシャルワーカーを活用しながら、組織的に対応していく必要がある。

2 点検・評価

(1) 発達の段階に応じた学力の育成

③ 理数教育の充実（P20）

- ・ 理科や数学・算数が好き、面白いといった、肯定的な感想を持つ児童生徒が増えるとうい。また、理系の教育について、小中学校から高校、そして大学への連携にしっかり力を入れてほしい。
- ・ 小学校では、教員が全教科を教える中で、理科の授業、特に高学年の理科の授業では実験の準備とか片付けをしながら指導しなければならなかったが、理科の専科加配によって負担が軽減されている。

(2) 教育上の配慮が必要な子どもの学びへの支援

① インクルーシブ教育システムの推進（P34）

- ・ 特別支援学校のセンター的機能を担う特別支援学校による小中学校に対する巡回相談は有効である。

(4) 教育の基盤となる環境の整備と充実

② 教職員の人材育成（P49）

- ・ 子どもたちの勉強する意欲が下がることがないよう、教員の質を確保してほしい。

3 各事業に係るKPI（重要業績評価指数）の状況（P63）

- ・ KPIについて、特に特徴的に上がり下がりしたものについては、こういった支障があつてこうだったとか、次はこのような取り組んで目標値に近づけるといったレビューを付記された方がよい。

4 その他

- ・ AIの活用において、いかにして子どもたちの思考力が上がるような活用ができるのかが課題である。AIを使用することで、「浅いわかった感」を得ることができるが、それとは違う、本当に物事がわかったという「深いわかった感」をどうやって持たせるのかということに焦点を置いて議論していく必要がある。
- ・ 子どもを取り巻く状況が多様化・複雑化しているという表現を使うことが多いが、多様化・複雑化については、その具体的な事象をしっかりとっておさえ、対策につなげていかなければならない。

議決第 13 号
学校企画課

令和 9 年度島根県公立学校教育職員人事異動方針等について

1 議決事項

令和 9 年度島根県公立学校教育職員人事異動方針及び令和 9 年度島根県市町村立学校事務職員人事異動方針について

2 理由

令和 9 年度島根県公立学校教育職員及び市町村立学校事務職員の定期人事異動を行うに当たり、該当教職員の人事異動方針を定める必要がある。

令和9年度島根県公立学校教育職員人事異動方針

島根県教育委員会

令和9年度島根県公立学校教育職員の人事異動は、学校の教育活動を一層清新活発にし、本県教育の進展に資するため、関係機関との緊密な連携の下に、次の各号により厳正に行う。

- 1 全県的視野に立ち、適材を適所に配置するとともに、学校の教員組織が適正なものとなるよう配慮する。
- 2 へき地教育については、その振興を図るため、優先的に人材を配置する。
- 3 特別支援教育については、その振興を図るため、適任者を配置する。
- 4 管理職教育職員の登用にあっては、勤務実績を十分考慮する。その際、勤務評価を参考資料として活用する。
- 5 主幹教諭の登用にあっては、勤務実績を十分考慮する。
- 6 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の連携により一貫した教育を推進し、教員の資質の向上を図る各校種間の人事交流については、指導力・担当教科等を考慮して適正に行う。
- 7 同一学校及び同一地域における永年勤続者については交流を図る。
- 8 新規採用は、資質良好で、かつ教育者としての識見と熱意を有する者について、将来の教員組織の適正化を考慮して計画的に行う。
- 9 上記の方針に基づき、「令和9年度島根県立学校教育職員人事異動方針細則」及び「令和9年度島根県市町村立学校教育職員人事異動方針細則」を定め、運用する。

令和9年度島根県市町村立学校事務職員人事異動方針

島根県教育委員会

令和9年度島根県市町村立学校事務職員の人事異動は、学校の教育活動を一層清新活発にし、本県教育の進展に資するために、関係機関との緊密な連携の下に、次の各号により厳正に行う。

- 1 全県的視野に立ち、適材を適所に配置する。
- 2 同一学校及び同一地域における永年勤続者については交流を図る。
- 3 新規採用は、資質良好で、かつ事務職員としての識見と熱意を有する者から行う。
- 4 上記の方針に基づき、「令和9年度島根県市町村立学校事務職員人事異動方針細則」を定め、運用する。

令和8年度9月補正予算案（9月9日上程分）の概要について
（教育委員会）

令和8年度島根県一般会計補正予算（第4号）

1 補正予算の概要

（単位：千円）

課 名	補正前の額		補正額		補正後の額	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
総務課	74,084,671	60,056,643	△ 1,203,509	△ 958,685	72,881,162	59,097,958
給与費	73,833,364	59,805,336	△ 1,226,377	△ 981,553	72,606,987	58,823,783
給与費以外	251,307	251,307	22,868	22,868	274,175	274,175
教育施設課	1,717,834	1,412,149	61,058	11,658	1,778,892	1,423,807
学校企画課	6,797,354	4,618,293	1,106,564	1,106,564	7,903,918	5,724,857
学校教育課	7,439,335	872,031			7,439,335	872,031
教育連携推進課	4,394,397	893,885			4,394,397	893,885
特別支援教育課	1,611,357	1,351,916			1,611,357	1,351,916
保健体育課	2,235,696	1,306,339			2,235,696	1,306,339
社会教育課	516,361	473,416			516,361	473,416
人権同和教育課	88,468	71,293			88,468	71,293
文化財課	1,383,854	771,672			1,383,854	771,672
福利課	260,168	214,607			260,168	214,607
合計	100,529,495	72,042,244	△ 35,887	159,537	100,493,608	72,201,781

※給与費は全額総務課で計上

2 課別事業別一覧

(単位：千円)

課名 事業名	補正前の額	補正額	補正後の額	補正額の財源内訳及び概要					
				国庫	使・手	寄・分	県債	その他	一般財源
総務課	74,084,671	△ 1,203,509	72,881,162	△ 244,824	0	0	0	0	△ 958,685
1 職員給与費	73,833,364	△ 1,226,377	72,606,987	一般職 8,192人 → 7,962人 (△230人)					
2 教育委員会人事管理費	18,227	22,868	41,095	教育委員会事務局の指導主事等の欠員状況に対応するため、会計年度任用職員を配置					
教育施設課	1,717,834	61,058	1,778,892	0	0	0	49,400	0	11,658
1 学校施設バリアフリー化事業費	0	43,671	43,671	合理的配慮が必要な生徒の在籍に伴い、県立高校にエレベーターを整備					
2 特別支援学校校舎等整備事業費	272,406	17,387	289,793	松江養護学校川津校舎の児童生徒数の増加を踏まえ、必要な教育環境を確保するため教室等の整備、プライバシーを確保するためトイレ扉の改修					
学校企画課	6,797,354	1,106,564	7,903,918	0	0	0	0	0	1,106,564
1 教職員総務費（小学校）	377,948	512,709	890,657	教員の欠員状況に対応するため、教員の負担軽減を図る非常勤講師を配置					
2 教職員総務費（中学校）	276,034	209,993	486,027						
3 地域人材を活用した指導力等向上事業費	1,031,895	368,946	1,400,841	教員の欠員状況に対応するため、教員の負担軽減を図るスクール・サポート・スタッフを配置					
4 教職員人事管理事務事業費	4,369	14,916	19,285	【別紙】 こども性暴力防止法の施行に伴い、学校等で子どもと接する業務に従事する職員等の犯罪事実確認に必要な情報を一括して管理するシステムを導入					

3 債務負担行為

〔追加分〕

(単位：千円)

No.	事 項	期 間	限 度 額	課 名
1	学校施設バリアフリー化事業費	令和9年度	65,507	教育施設課

こども性暴力防止法施行に伴う管理システムの構築

1 概要

- ・ 教育・保育などのこどもに接する場での、こどもへの性暴力を防ぎ、こどもの心と身体を守るため「学校設置者等及び民間教育事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和6年法律第69号）」（通称：こども性暴力防止法）が令和6年6月に成立
- ・ 法律で定められている取組は、令和8年12月25日に施行予定
- ・ 制度対象は、事業者が行う各事業・業務が、児童等との関係で、①支配性、②継続性、③閉鎖性を有するか否かの観点から、対象事業・業務を規定
- ・ 対象事業者は、法律で定める措置を必ず実施しなければならない「学校設置者等」と、認定事業者（認定は任意）の対象となる「民間教育保育事業者」
- ・ 法施行後は、事業者は、子どもと接する業務の従事者について、雇入れや配置転換の際、過去の性犯罪歴（特定性犯罪前科）の確認が必要となる。

2 事業内容（法施行対応に向けて）

- ・ 犯罪事実確認の実施については、県立、市町村立学校（義務）の教員などは必ず行わなければならない。現職者（非常勤講師含む）の情報管理については、人事システムやエクセルなど様々な手法で管理している
- ・ 法施行後、煩雑な業務を確実に対応するためには、対象者の漏れを防ぎ、人事異動や期限等を適切に管理する必要がある。そのためには、現在エクセル等で管理している情報と一元的な管理ができるシステムが必要

(1) 犯罪事実確認の期限

①法施行後に新規採用・異動により新たに対象業務に従事する場合

従事を開始するまでに

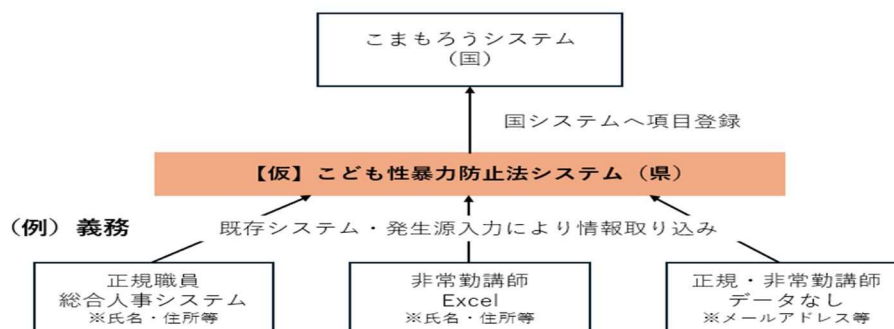
②施行時点で義務対象業務に従事・内定している場合

施行から3年以内（ただし、申請者が非常に多く見込まれるため、27分割（R9.4～R11.6）で1か月ごとに国へ申請。）また、申請月を学校と本人に通知が必要

③犯罪事実確認後も対象業務に継続して従事している場合は5年ごと

(2) システムイメージ

こども性暴力防止法システムイメージ（システム導入）



県立学校の教育職員及び市町村立学校の教職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について

1 提案理由

人事院規則の改正を踏まえ、災害応急業務等に従事する県立学校の教育職員及び市町村立学校の教職員の特殊勤務手当の額について、国家公務員の取扱いに準じて所要の改正を行う必要がある。

2 条例の概要

災害応急業務等従事手当の額の改定

区 分	改 正 前	改 正 後
(1) 異常な自然現象により重大な災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、災害対策基本法の規定に基づき災害対策本部が設置された地方公共団体の区域に派遣されて行う被災した児童若しくは生徒に対する学習指導その他の学校教育活動の支援に係る業務で心身に著しい負担を与えると教育委員会が認めるものに従事したとき。	1 日 1,080円 を超えない範囲内において、それぞれの業務等に応じて教育委員会規則で定める額	1 日 1,440円 を超えない範囲内において、それぞれの業務等に応じて教育委員会規則で定める額
(2) (1)の業務に準ずるものと教育委員会が認める作業に従事したとき。		

3 施行期日等

公布の日から施行し、令和8年4月1日から適用する。

県立学校の教育職員及び市町村立学校の教職員の特殊勤務手当に関する条例新旧対照表

改正後	改正前
県立学校の教育職員及び市町村立学校の教職員の特殊勤務手当に関する条例 （昭和47年3月28日） （島根県条例第10号） 第1条～第17条　〔略〕 （災害応急業務等従事手当） 第18条　〔略〕 2　前項の手当の額は、1日につき、<u>1,440円</u>を超えない	（趣旨） 第1条　この条例は、県立学校の教育職員の給与に関する条例（昭和29年島根県条例第6号）第21条第2項及び市町村立学校の教職員の給与等に関する条例（昭和29年島根県条例第7号。以下「市町村立学校給与条例」という。）第19条第2項の規定に基づき、特殊勤務手当の種類、支給される県立学校の教育職員及び市町村立学校の教職員の範囲、支給額その他特殊勤務手当の支給に関し必要な事項を定めるものとする。 （特殊勤務手当の種類） 第2条　特殊勤務手当の種類は、次のとおりとする。 （1）～（12）　〔略〕 （13）　災害応急業務等従事手当 （14）・（15）　〔略〕 第3条～第17条　〔略〕 （災害応急業務等従事手当） 第18条　災害応急業務等従事手当は、次に掲げる場合に支給する。 （1）　県立学校の教育職員又は市町村立学校の教職員が異常な自然現象により重大な災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第23条第1項又は第23条の2第1項の規定に基づき災害対策本部が設置された地方公共団体の区域に派遣されて行く被災した児童若しくは生徒に対する学習指導その他の学校教育活動の支援に係る業務で心身に著しい負担を与えると教育委員会が認めるものに従事したとき。 （2）　県立学校の教育職員又は市町村立学校の教職員が前号に掲げる業務に準ずるものと教育委員会が認める作業に従事したとき。 2　前項の手当の額は、1日につき、<u>1,080円</u>を超えない

範囲内において、それぞれの業務等に応じて教育委員会規則で定める額とする。 3 〔略〕 第19条～第21条 〔略〕 附 則 〔略〕	範囲内において、それぞれの業務等に応じて教育委員会規則で定める額とする。 3 〔略〕 第19条～第21条 〔略〕 附 則 〔略〕
--	--

こども性暴力防止法施行への対応について

1 概要

(1) こども性暴力防止法の施行

- ・ 教育・保育などのこどもに接する場での、こどもへの性暴力を防ぎ、こどもの心と身体を守るため「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和 6 年法律第 69 号）」（通称：こども性暴力防止法）が令和 6 年 6 月に成立
- ・ 法律で定められている取組は、令和 8 年 12 月 25 日に施行
- ・ 制度趣旨は、児童等に教育・保育等を提供する事業者に対し、従事者による児童対象性暴力等を防止する措置を講じること等を義務付けること
- ・ 制度対象は、事業者が行う各事業・業務が、児童等との関係で、①支配性、②継続性、③閉鎖性を有するか否かの観点から、対象事業・業務を規定
- ・ 対象事業者は、法律で定める措置を必ず実施しなければならない「学校設置者等」と、認定事業者（認定は任意）の対象となる「民間教育保育等事業者」

(2) 法施行による対応

① 安全確保措置（犯罪事実確認）

- ・ 事業者は、子どもと接する業務の従事者について、雇入れや配置転換の際、過去の性犯罪歴（特定性犯罪前科）の確認が必要

② 安全確保措置（犯罪事実確認以外）

ア 日ごろから講ずべき措置、性暴力等を把握するための措置

- ・ 服務規律等のルール作り、保護者・児童等への周知・啓発
- ・ 従事者への研修の実施
- ・ 児童等が相談を行いやすくするための措置（相談体制等） 等

イ 被害が疑われる場合の対応

- ・ 従事者による性暴力が疑われるときは、その事実の有無と内容について調査の実施
- ・ 従事者による性暴力が行われたと認めるときは、被害児童生徒の保護・支援

ウ 防止措置

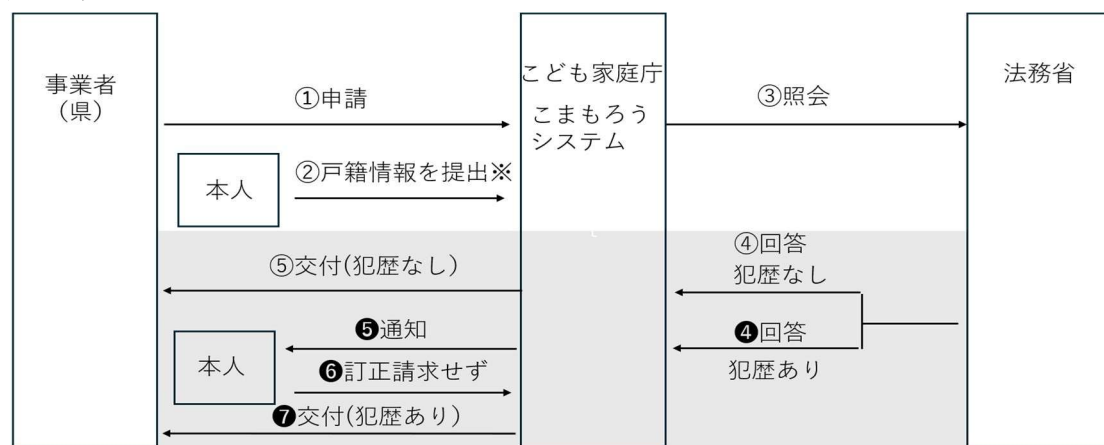
- ・ 特定性犯罪前科がある場合や、性暴力等が行われるおそれがあると認められる場合、防止措置（教育業務に従事させないなど）を講じることが必要

2 犯罪事実確認の実施

(1) 対象となる職種

- ① 義務対象（法律で定める措置を必ず実施しなければならない事業者）
 - ・ 職種全体が対象になるもの：教員、スクールカウンセラー、部活動指導員、実習船員など
 - ・ 一部が対象になり得るもの：事務職員、スクールソーシャルワーカー、支援員など
- ② 認定対象（国に申請し、認定を受けて法律で定める措置を実施する事業者）
 - ・ 職種全体が対象になるもの：指導員・講師（学習塾・社会教育施設等）など
 - ・ 一部が対象になり得るもの：受付業務員、警備員、公民館主事、司書など

(2) 犯罪事実確認の手続



※マイナンバーカードをスマホにかざして登録（マイナンバーカードがない場合は戸籍の取得が必要）

(3) 犯罪事実確認の期限

- ① 新規採用・配置転換：内定・内示等から従事開始までに確認
- ② 義務対象事業の現職者（施行時現職者）：法施行から3年以内に確認
 - ・ R 9. 4～R 11. 6月（27 か月）の間で、分割して1 か月ごとに割当し、国に申請
 - ※施行日の前日（12月24日）までに内定・内示等を受けて対象業務に従事させることを決定している者を含む（R 9. 4. 1 採用の教員等）
- ③ 認定対象事業の現職者：認定から1年以内に確認
- ④ 一度確認を受けた者：5年ごとに再確認

3 法施行までのスケジュール

- ・ 令和8年9～10月 制度開始についての県立学校等関係機関への周知
- ・ 令和8年10月 施行時現職者の分散申請の方法の決定、人数を国へ報告
- ・ 令和8年11月 県民向け普及広報の実施
- ・ 令和8年12月 国システム（こまもろうシステム）稼働に向けた準備
- ・ 令和8年12月25日 国システム（こまもろうシステム）稼働

※順次、2(3)の犯罪事実確認の期限までに犯罪事実確認を実施

令和 9 年度島根県公立高等学校入学者選抜について

1 各学校の選抜実施方法等

(1) 特色入学者選抜

① 総合入学者選抜、スポーツ推進指定校入学者選抜

別表 1 のとおり

② 中高一貫校（連携型）に係る入学者選抜

学校名	学科等	募集人員	選抜方法
飯南	普通科	入学定員内とし、特に定めない	書類審査、面接、作文
吉賀	普通科	20 名	書類審査、面接、作文

(2) 一般選抜、第 2 次募集

別表 2 のとおり

2 昨年度からの主な変更点

(1) 特色入学者選抜

① 総合入学者選抜について（別表 1 参照）

- 募集人員（入学定員に対する％）に変更がある学校・学科

学校名	学科	変更前	変更後
松江南	普通科	16％程度	10％程度
大田	全学科	20％程度	40％程度
益田	全学科	10％程度	40％程度
隠岐	商業科	20％程度	40％程度
隠岐島前	全学科（くくり募集）	35％程度	40％程度

- 選抜方法に変更がある学校

学校名	学科等	変更前	変更後
大社	普通科〔学業型〕 〔部活動等型〕	書類審査、 <u>作文</u> 、学力検査	書類審査、 <u>面接</u> 、学力検査
	〔特別活動型〕	書類審査、 <u>面接</u> 、プレゼンテーション	書類審査、 <u>_____</u> 、プレゼンテーション、 <u>学力検査</u>
浜田水産	全学科	書類審査、面接、 <u>作文</u>	書類審査、面接、 <u>学力検査</u>

② スポーツ推進指定校入学者選抜について（別表 1 参照）

- 追加される競技および学校

競技名	学校名
女子ビーチバレーボール	松江商業
男子・女子レスリング	大東

(2) 一般選抜について（別表 2 参照）

- 選抜方法について昨年度から変更がある学校なし

(3) 第 2 次募集について（別表 2 参照）

- 選抜方法及び配点について昨年度からの変更がある学校なし

3 今後の予定

9 月	選抜の詳細を定めた実施要綱を公表
10 月	インターネット出願説明会（中学校及び高校対象）
11 月	インターネット出願運用テスト
11 月 下旬	各学校の募集要項を公表
1 月 下旬	総合選抜・中高一貫特別選抜・スポーツ特別選抜
1 月 28 日（木）	総合選抜・中高一貫特別選抜・スポーツ特別選抜合格内定通知
3 月 3 日（水）	一般選抜学力検査（国、数、社、英、理）
3 月 4 日（木）	一般選抜面接等
3 月 9 日（火）	追検査
3 月 12 日（金）	一般選抜等合格発表・第 2 次募集実施校公表
3 月 18 日（木）	第 2 次募集作文・面接等
3 月 23 日（火）	第 2 次募集合格発表

(別表1)

令和9年度島根県公立高等学校入学選抜における総合選抜・スポーツ特別選抜での募集人員・選抜方法等について

番号	学校名	入学定員	学科名	総合選抜			スポーツ特別選抜		
				実施学科	募集人員 (入学定員に 対する%)	選抜方法	指定競技	募集 人員	選抜方法
1	安来高等学校	* 160	普通科	普通科	40%	[学業型] [部活動型] 書類審査、面接、学力検査 [やすぎ追求型] 書類審査、面接、プレゼンテーション、 学力検査	男女バレーボール 男女フencing	12	書類審査、面接、プレゼンテーション
2	情報科学高等学校	* 120	くくり募集(情報システム科、 情報処理科、マルチメディア科)	全学科	40%	[学業型] [活動型] [専門型] 書類審査、面接、作文	—	—	—
3	松江北高等学校	240	普通科、理数科	普通科	10%	書類審査、面接、小論文	—	—	—
				理数科	10%	書類審査、面接、小論文、プレゼンテーション			
4	松江南高等学校	240	普通科、探究科学科	普通科	10%	書類審査、面接、学力検査	女子ソフトテニス	4	書類審査、面接、学力検査
				探究科学科	40%				
5	松江東高等学校	200	普通科	普通科	40%	[学力重視型] [部活動重視型] [チャレンジ型] 書類審査、面接、学力検査	男子バスケボール 男女アーチェリー 男女ローイング(ボート)	12	書類審査、面接、作文
6	松江工業高等学校	200	機械科、電子機械科、電気電子工学科、 情報クリエイター学科、建築都市工学科	機械科 電子機械科 電気電子工学科 情報クリエイター学科 建築都市工学科	40%	[学業型] [特技型] 書類審査、面接、作文 [学業型] [特技型] 書類審査、面接、プレゼンテーション	男子バレーボール 男子レスリング 男子ソフトテニス	12	機械科、電子機械科、電気電子工学科： 書類審査、面接、作文 情報クリエイター学科、建築都市工学科： 書類審査、面接、プレゼンテーション
7	松江商業高等学校	200	くくり募集(商業科、 国際ビジネス科、情報処理科)	全学科	40%	[学力型] 書類審査、面接、学力検査 [部活動型] [特別活動型] [デジタル人材型] 書類審査、面接、作文	女子サッカー 女子バスケボール 女子バドミントン 女子ビーチバレーボール	12	書類審査、面接、作文
8	松江農林高等学校	160	生物生産科、環境土木科、総合学科	生物生産科 環境土木科 総合学科	40%	[専門型] [部活動型] 書類審査、面接、プレゼンテーション [専門型] [部活動型] 書類審査、面接、学力検査	—	—	—
9	大東高等学校	* 90	普通科	普通科	40%	[学業型] [部活動等型] [データサイエンス系型] 書類審査、面接、学力検査	男子ビーチバレーボール 男女レスリング	12	書類審査、面接、実技
10	横田高等学校	* 90	普通科	普通科	40%	[学習型] 書類審査、面接、学力検査 [部活動等型] [地域貢献活動型] 書類審査、面接、 プレゼンテーション	男女ホッケー	8	書類審査、面接、実技
11	三刀屋高等学校	* 160	総合学科	総合学科	40%	書類審査、面接(プレゼン含む)、学力検査	男女ソフトボール	8	書類審査、面接、実技
12	三刀屋高校・掛合分校	40	普通科	普通科	15%	書類審査、面接、ワークブック	—	—	—
13	飯南高等学校	* 80	普通科	普通科	30%	書類審査、面接、学力検査	—	—	—
14	平田高等学校	160	普通科	普通科	40%	[学業型] [部活動等型] 書類審査、面接、学力検査	男女柔道	8	書類審査、面接、学力検査
15	出雲高等学校	280	普通科、理数科	全学科	40%	書類審査、面接、学力検査	男女弓道	8	書類審査、面接、学力検査
16	出雲工業高等学校	160	機械科、電気科、電子機械科、建築科	全学科	40%	[学業型] [部活動等型] 書類審査、面接、学力検査	男女自転車 男女アーチェリー	12	書類審査、面接、学力検査
17	出雲商業高等学校	160	商業科、情報処理科	全学科	40%	[学業型] 書類審査、面接、学力検査 [部活動等型] 書類審査、面接、作文 [島根創生人材型] 書類審査、面接、プレゼンテーション	—	—	—
18	出雲農林高等学校	160	植物科学科、環境科学科、 食品科学科、動物科学科	全学科	40%	[学業型] [部活動等型] 書類審査、面接、学力検査	男女フットサル 男女カヌー	12	書類審査、面接、学力検査
19	大社高等学校	240	普通科、体育科	普通科	25%	[学業型] [部活動等型] 書類審査、面接、学力検査 [特別活動型] 書類審査、プレゼンテーション、学力検査	男子サッカー 男女剣道 男女体操 男女陸上競技	12	書類審査、面接、実技
				体育科	60%	書類審査、面接、実技			
20	大田高等学校	* 160	普通科、理数科	全学科	40%	[学業型] [部活動型] 書類審査、面接、学力検査	—	—	—
21	遼摩高等学校	* 120	総合学科	総合学科	40%	書類審査、面接、作文	—	—	—
22	島根中央高等学校	* 105	普通科	普通科	40%	[学び重視型] [部活動重視型] [特別活動重視型] 書類審査、面接、学力検査	男女カヌー	8	書類審査、面接、実技
23	矢上高等学校	* 108	普通科、産業技術科	全学科	40%	[学業型] [部活動等型] [探究活動・特別活動等型] 書類審査、面接、学力検査	—	—	—
24	江津高等学校	* 80	普通科	普通科	40%	書類審査、面接、学力検査	男子水球 男女ハンドボール	12	書類審査、面接、作文、実技
25	江津工業高等学校	* 80	機械・ロボット科、建築・電気科	全学科	40%	[学業型] [DX等型] [部活動等型] 書類審査、面接、作文	男子ローイング(ボート)	4	書類審査、面接、実技
26	浜田高等学校	* 200	普通科、理数科	全学科	40%	書類審査、面接、学力検査	男女体操	8	書類審査、面接、実技
27	浜田商業高等学校	* 80	くくり募集(商業科、情報処理科)	全学科	40%	[学力型] [部活動型] [特別活動型] 書類審査、面接、プレゼンテーション	—	—	—
28	浜田水産高等学校	* 80	海洋技術科、食品流通科	全学科	40%	書類審査、面接、学力検査	—	—	—
29	益田高等学校	* 160	普通科、理数科	全学科	40%	書類審査、面接、学力検査	—	—	—
30	益田翔陽高等学校	* 160	電子機械科、電気科、 生物環境工学科、総合学科	全学科	40%	[学習型] [部活動型] [地域創生型] 書類審査、面接、学力検査 地域創生型は生物環境工学科のみ	—	—	—
31	吉賀高等学校	* 40	普通科	普通科	40%	書類審査、面接、作文	—	—	—
32	津和野高等学校	* 80	未来共創科	未来共創科	40%	[学業型] [部活動等型] [主体的活動または情報活用型] 書類審査、面接、作文	—	—	—
33	隠岐高等学校	* 90	普通科、商業科	全学科	40%	書類審査、面接、学力検査	—	—	—
34	隠岐島前高等学校	* 80	くくり募集(普通科、地域共創科)	全学科	40%	書類審査、面接、学力検査	男女レスリング	8	書類審査、面接、学力検査、実技
35	隠岐水産高等学校	* 80	海洋システム科、海洋生産科	全学科	40%	書類審査、面接、学力検査	男女ヨット 男子相撲	12	書類審査、面接、学力検査、実技
36	松江市立皆美が丘 女子高等学校	90	普通科	普通科	40%	書類審査、面接、学力検査	—	—	—
37	松江工業高校・定時制	120	機械科、電気科、建築科	—	—	—	—	—	—
38	宍道高校・定時制	160	普通科	—	—	—	—	—	—
39	浜田高校・定時制	80	普通科	—	—	—	—	—	—

* 印は身元引受人による県外受検生の合格者数を入学定員内において4名を超えて決定することができる高等学校(22校)

(別表2)

令和9年度島根県公立高等学校入学者選抜における一般選抜での個人調査報告書と学力検査の比率等及び第2次募集について

番号	学校名	入学 定員	学科名	一般選抜					第2次募集							
				実施 学科	個人調査報告書と学 力検査の比率	傾斜 配点	学力検査後の 面接等		実施 学科 (注)	選抜方法及び配点						
								評点化		書類 (個人調査 報告書等)	一般選抜 学力検査 の結果	基礎学力 をみるた めの検査	面接	作文	実技	合計
1	安来高等学校	＊160	普通科	普通科	50：50	－	－		普通科	50	50	－	－	－	－	100
2	情報科学高等学校	＊120	くくり募集（情報システム科， 情報処理科，マルチメディア科）	全学科	60：40	－	－		全学科	60	40	－	10	－	－	110
3	松江北高等学校	240	普通科，理数科	全学科	40：60	－	－		全学科	40	60	－	－	－	－	100
4	松江南高等学校	240	普通科，探究科学科	全学科	40：60	－	－		全学科	40	60	－	－	－	－	100
5	松江東高等学校	200	普通科	普通科	50：50	－	－		普通科	50	50	－	－	－	－	100
6	松江工業高等学校	200	機械科，電子機械科，電気電子工学科， 情報クリエイター学科，建築都市工学科	全学科	60：40	－	面接	10点	全学科	60	40	－	10	－	－	110
7	松江商業高等学校	200	くくり募集（商業科，国際ビジネス科， 情報処理科）	全学科	60：40	－	－		全学科	60	40	－	10	－	－	110
8	松江農林高等学校	160	生物生産科，環境土木科，総合学科	全学科	60：40	－	面接	10点	全学科	60	40	－	10	－	－	110
9	大東高等学校	＊90	普通科	普通科	50：50	－	－		普通科	50	50	－	－	－	－	100
10	横田高等学校	＊90	普通科	普通科	50：50	－	－		普通科	50	50	－	－	－	－	100
11	三刀屋高等学校	＊160	総合学科	総合学科	50：50	－	－		総合学科	40	50	－	10	－	－	100
12	三刀屋高校・掛合分校	40	普通科	普通科	60：40	－	面接	10点	普通科	60	40	－	10	－	－	110
13	飯南高等学校	＊80	普通科	普通科	60：40	－	面接	10点	普通科	60	40	－	10	－	－	110
14	平田高等学校	160	普通科	普通科	50：50	－	－		普通科	40	50	－	10	－	－	100
15	出雲高等学校	280	普通科，理数科	全学科	40：60	－	－		全学科	40	60	－	－	－	－	100
16	出雲工業高等学校	160	機械科，電気科，電子機械科，建築科	全学科	60：40	－	面接	10点	全学科	60	40	－	10	－	－	110
17	出雲商業高等学校	160	商業科，情報処理科	全学科	60：40	－	－		全学科	60	40	－	5	－	－	105
18	出雲農林高等学校	160	植物科学科，環境科学科， 食品科学科，動物科学科	全学科	60：40	－	面接	10点	全学科	60	40	－	10	－	－	110
19	大社高等学校	240	普通科，体育科	全学科	普通科 50：50	－			普通科	50	50	－	10	－	－	110
					体育科 70：30		体育科のみ 実技	10点	体育科	70	30	－	10	－	40	150
20	大田高等学校	＊160	普通科，理数科	全学科	40：60	－	－		全学科	40	60	－	－	－	－	100
21	邇摩高等学校	＊120	総合学科	総合学科	60：40	－	面接	10点	総合学科	60	40	－	10	－	－	110
22	島根中央高等学校	＊105	普通科	普通科	50：50	－	面接	10点	普通科	50	50	－	10	－	－	110
23	矢上高等学校	＊108	普通科，産業技術科	全学科	50：50	－	面接	10点	全学科	50	50	－	10	－	－	110
24	江津高等学校	＊80	普通科	普通科	40：60	－	－		普通科	40	60	－	10	－	－	110
25	江津工業高等学校	＊80	機械・ロボット科，建築・電気科	全学科	60：40	－	面接	10点	全学科	60	40	－	10	－	－	110
26	浜田高等学校	＊200	普通科，理数科	全学科	40：60	－	－		全学科	40	60	－	－	－	－	100
27	浜田商業高等学校	＊80	くくり募集（商業科，情報処理科）	全学科	60：40	－	面接	10点	全学科	60	40	－	10	－	－	110
28	浜田水産高等学校	＊80	海洋技術科，食品流通科	全学科	50：50	－	面接	5点	全学科	50	50	－	5	－	－	105
29	益田高等学校	＊160	普通科，理数科	全学科	40：60	－	－		全学科	40	60	－	－	－	－	100
30	益田翔陽高等学校	＊160	電子機械科，電気科， 生物環境工学科，総合学科	全学科	60：40	－	面接	10点	全学科	60	40	－	10	－	－	110
31	吉賀高等学校	＊40	普通科	普通科	50：50	－	面接	10点	普通科	50	50	－	10	－	－	110
32	津和野高等学校	＊80	未来共創科	未来共創科	50：50	－	面接	10点	未来共創科	50	50	－	10	－	－	110
33	隠岐高等学校	＊90	普通科，商業科	全学科	50：50	－	－		全学科	50	50	－	10	－	－	110
34	隠岐島前高等学校	＊80	くくり募集（普通科，地域共創科）	全学科	50：50	－	－		全学科	50	20	－	30	－	－	100
35	隠岐水産高等学校	＊80	海洋システム科，海洋生産科	全学科	50：50	－	－		全学科	50	50	－	10	－	－	110
36	松江市立皆美が丘 女子高等学校	90	普通科	普通科	60：40	－	－		普通科	60	40	－	－	－	－	100
37	松江工業高校・定時制	120	機械科，電気科，建築科	全学科	60：40	－	面接	10点	全学科	60	40	－	10	－	－	110
38	宍道高校・定時制	160	普通科	普通科	50：50	－	面接	10点	普通科	40	40	－	10	10	－	100
39	浜田高校・定時制	80	普通科	普通科	60：40	－	面接	10点	普通科	30	20	－	30	20	－	100

* 印は身元引受人による県外受験生の合格者数を入学定員内において4名を超えて決定することができる高等学校(22校)

(注) 第2次募集については、令和9年3月12日(金)の公立高等学校入学者選抜の合格発表の時点で、欠員が生じた全日制課程及び定時制課程の学校・学科において行う。

令和 9 年度使用県立高等学校教科用図書の採択結果について

1 概要

教育長に対する事務の委任等に関する規則第 4 条第 1 項の規定に基づき、令和 9 年度使用県立高等学校教科用図書について、令和 8 年 8 月 21 日付け教育長専決にて採択したところであり、同条第 2 項の規定に基づき報告するもの

2 採択の方針〔別紙参考資料〕

令和 8 年 5 月 19 日に議決した「令和 9 年度使用県立高等学校教科用図書の採択の基本方針」に従って採択

3 採択の結果〔別紙〕

採択総数 4 4 7 点

新規採択教科書 1 5 2 点

過年度採択済教科書（注） 2 9 5 点

（注）過年度採択済教科書とは、「高等学校用教科書目録（令和 9 年度使用）」に登載されている教科書で、過去に採択され、改めて採択される教科書

（参 考）

【過去の採択の結果】

使用年度	採択総数	新規採択教科書	過年度採択済教科書
令和 8 年度	450 点	181 点	269 点
令和 7 年度	471 点	31 点	440 点
令和 6 年度	608 点	231 点	377 点

【関係法令】

教育長に対する事務の委任等に関する規則

第 4 条 教育長は、第 2 条各号に掲げる事務で次の各号に掲げるものを専決し、又その定めるところにより事務局の職員及び学校等の職員に専決させることができる。

(1)～(5) 〔略〕

(6) 教科用図書の採択及び教材の取扱いに関すること。ただし、採択に関する基本方針の決定を除く。

(7)～(12) 〔略〕

2 教育長は、前項の規定により専決した事務のうち、次の各号に掲げるものについては、教育委員会の会議において報告をしなければならない。

(1) 前項第 1 号、第 2 号、第 4 号、第 6 号及び第 8 号に掲げるもの

(2) 〔略〕

令和9年度使用県立高等学校用教科用図書の採択の基本方針について

1 採択の基本方針

- (1) 関係法令の定めるところにより、公正かつ適正な採択を行う。
- (2) 採択は、校長の意見を聞いた上で教育委員会が行う。

2 採択基準

採択は、「高等学校用教科書目録（令和9年度使用）」に登載されている教科用図書のうちから行う。

なお、上記教科用図書が発行されていない教科については、教科の主たる教材として教育目標の達成上適切な図書を教育委員会の承認の上、使用する。

3 採択の観点

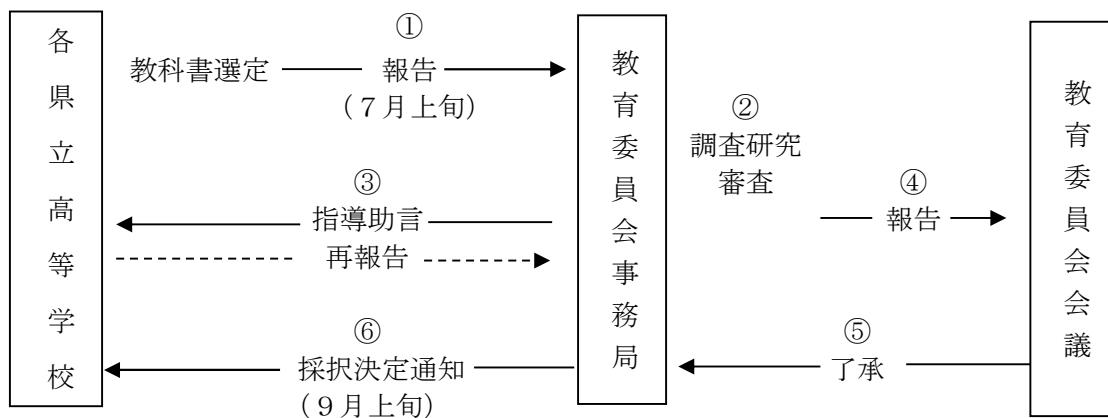
採択は、各学校の特色、生徒の実態及び教育課程に適合したものであるか考慮した上で厳正に行う。

4 採択に係る留意事項

- (1) 生徒の実態等を踏まえ、最も適した教科用図書を採択するために、「採択の基本方針」を基にして、教科書研究の充実に努める。
- (2) 適正かつ公正な採択の確保の観点から、教科用図書発行者等の宣伝行為等外部からの影響に採択結果が左右されることがないように、関係者の意識啓発に努める。加えて、教科用図書発行者等と健全かつ適切な関係を保つよう、すべての学校・教員等に対して指導を徹底する。

5 採択の手続き

- ① 校長は採択の基本方針を踏まえ、各学校で設置した教科書選定委員会による十分な検討の上、使用教科用図書を選定し、次年度採択希望を教育委員会事務局へ報告する。
- ② 教育委員会事務局は校長の報告に基づき調査研究し、選定理由・教育課程との適合性等について審査する。
- ③ 必要に応じて、教育委員会事務局は各学校に指導助言し、校長は選定に変更があれば教育委員会事務局へ再報告する。
- ④ 教育委員会事務局は、教育委員会会議に報告する。
- ⑤ 教育委員会会議は報告内容を審査し、適当であると認めた場合はこれを了承する。
- ⑥ 教育委員会会議で了承された後、教育委員会事務局から各学校へ採択決定を通知する。



(参 考)

【関係法令】

(1) 学校教育法

- 第34条 小学校においては、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない。
- 第62条 第30条第2項、第31条、第34条、第37条第4項から第17項まで及び第19項並びに第42条から第44条までの規定は、高等学校に準用する。

(2) 島根県立高等学校規程

- 第13条 教科書は、校長の意見を聞いて、教育委員会が採択する。

【教科書採択の公正性の確保】

(1) 各高等学校内で設置された教科書選定委員会による審議

- 教科書著作・編集活動に協力した教員は、各高等学校における教科書選定作業に関わらない。ただし、教科担当教員が1人しかおらず、教科書著作・編集活動に協力した教員が教科書選定作業に関わらざるを得なかった場合、以下の対応を行う。
 - ・ 校内の教科書選定委員会の審議を通して、校長が選定の公正性の確保について確認。
 - ・ 県教育委員会事務局の指導主事による、校内における選定過程についての調査。
 - ・ 県教育委員会事務局において、調査結果に基づいて慎重な教科書の調査研究を行い、公正性の確保について確認。

(2) 教育委員会事務局による審査・指導助言

- 教科書著作・編集活動に協力した指導主事は、教育委員会事務局における審査・指導助言は行わない。

令和9年度使用県立高等学校教科用図書の新採択結果（内訳）

新規採択教科書			新規採択教科書（続き）		
○普通教育に関する各教科			○専門教育に関する各教科		
国語	論理国語	10	工業		4
	文学国語	5	商業		12
	国語表現	1	家庭(専門)		4
	古典探究	14	情報(専門)		1
地理歴史	地理探究	3	文科省検定済教科書	小計	152
	日本史探究	4			
	世界史探究	4			
	地図	1			
公民	倫理	4			
	政治・経済	5			
数学	数学Ⅱ	10	合 計		152
	数学A	1			
	数学B	6			
	数学C	7			
理科	物理	7	過年度採択済教科書		
	化学基礎	1	文科省検定済教科書	小計	266
	化学	5			
	生物	5			
芸術	音楽Ⅱ	4	文科省著作教科書	小計	29
	美術Ⅱ	2			
	書道Ⅱ	4			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	合 計		295
	英語コミュニケーションⅡ	12			
	英語コミュニケーションⅢ	1			
	論理・表現Ⅱ	9			
	論理・表現Ⅲ	1			
情報	情報Ⅱ	3	採択総数		447

令和９年度用県立高等学校新規採択使用教科書〈目録第１部〉一覧

教科名	科目名	発行者略称	教科書名	選定校数
国語	論理国語	東書	新編論理国語	3
		東書	精選論理国語	3
		三省堂	精選 論理国語 改訂版	1
		大修館	論理国語 改訂版	4
		大修館	新編 論理国語 改訂版	2
		数研	増補新版 論理国語	4
		数研	高等学校 論理国語	5
		明治	新 精選 論理国語	1
		筑摩	論理国語 改訂版	1
		第一	高等学校 改訂版 標準論理国語	2
	文学国語	東書	精選文学国語	2
		大修館	新編 文学国語 改訂版	8
		数研	改訂版 文学国語	3
		筑摩	文学国語 改訂版	1
		第一	高等学校 改訂版 文学国語	4
	国語表現	大修館	国語表現 改訂版	11
	古典探究	東書	新編古典探究	1
		東書	精選古典探究 新版	1
		東書	精選古典探究 古文編	3
		東書	精選古典探究 漢文編	3
		大修館	古典探究 古文編 改訂版	2
		大修館	古典探究 漢文編 改訂版	2
		大修館	精選 古典探究 改訂版	3
		数研	改訂版 古典探究 古文編	3
		数研	改訂版 古典探究 漢文編	3
		数研	改訂版 高等学校 古典探究	3
		第一	高等学校 改訂版 古典探究 古文編	3
		第一	高等学校 改訂版 古典探究 漢文編	3
		第一	高等学校 改訂版 精選古典探究	2
		第一	高等学校 改訂版 標準古典探究	2
地理歴史	地理探究	東書	地理探究	1
		帝国	新詳地理探究	15
		山川	地理探究 改訂版	4
	日本史探究	東書	日本史探究	4
		実教	日本史探究 新訂版	1
		山川	詳説日本史 改訂版	16
		山川	高校日本史 改訂版	3
	世界史探究	東書	世界史探究	6
		帝国	新詳世界史探究	1
		山川	詳説世界史 改訂版	11
		山川	高校世界史 改訂版	5
	地図	帝国	標準高等地図	10
公民	倫理	東書	倫理	1
		実教	詳述倫理 新訂版	2
		数研	改訂版 倫理	3
		第一	高等学校 改訂版 倫理	2
	政治・経済	東書	政治・経済	8
		実教	詳述政治・経済 新訂版	1
		実教	最新政治・経済 新訂版	6
		数研	改訂版 政治・経済	4
		第一	高等学校 改訂版 政治・経済	6

令和 9 年度用県立高等学校新規採択使用教科書〈目録第 1 部〉一覧

教科名	科目名	発行者略称	教科書名	選定校数
数学	数学Ⅱ	東書	改訂版 数学Ⅱ Standard	3
		東書	改訂版 新数学Ⅱ	5
		東書	改訂版 新数学Ⅱ 解答編	5
		東書	数学Ⅱ The 探究	1
		実教	高校数学Ⅱ 新訂版	1
		数研	改訂版 数学Ⅱ	1
		数研	改訂版 高等学校 数学Ⅱ	2
		数研	改訂版 新編 数学Ⅱ	12
		数研	改訂版 最新 数学Ⅱ	10
		数研	改訂版 新 高校の数学Ⅱ	5
	数学 A	東書	数学 A Select	1
	数学 B	東書	改訂版 数学 B Standard	3
		東書	数学 B The 探究	1
		数研	改訂版 数学 B	1
		数研	改訂版 高等学校 数学 B	2
		数研	改訂版 新編 数学 B	12
		数研	改訂版 最新 数学 B	8
	数学 C	東書	改訂版 数学 C Standard	3
		東書	数学 C The 探究	1
		数研	改訂版 数学 C	1
		数研	改訂版 高等学校 数学 C	2
		数研	改訂版 新編 数学 C	12
		数研	改訂版 最新 数学 C	4
		第一	よくわかる 新編数学 C	1
理科	物理	東書	改訂 物理	1
		実教	物理 新訂版	1
		啓林館	高等学校 物理 改訂版	2
		数研	改訂版 物理	16
		数研	改訂版 総合物理 1 力と運動・熱	1
		数研	改訂版 総合物理 2 波・電気と磁気・原子	1
		第一	高等学校 改訂 物理	1
	化学基礎	数研	改訂版 高等学校 化学基礎	1
	化学	東書	改訂 化学	1
		東書	新編化学	2
		実教	化学 academia 新訂版	2
		数研	改訂版 化学	15
		数研	改訂版 新編 化学	1
	生物	東書	改訂 生物	1
		実教	生物 新訂版	2
		啓林館	高等学校 生物 改訂版	5
		数研	改訂版 生物	13
		第一	高等学校 改訂 生物	2
芸術	音楽Ⅱ	教芸	高校生の音楽 2	3
		教芸	MOUSA 2	8
		大修館	音楽Ⅱ 改訂版 T u t t i +	2
		友社	改訂版 ON! 2	1
	美術Ⅱ	光村	美術 2	7
		日文	新・高校生の美術 2	9
	書道Ⅱ	東書	書道Ⅱ	6
		教図	書Ⅱ	1
		光村	書Ⅱ	8
		大修館	新編 書道Ⅱ	1

令和９年度用県立高等学校新規採択使用教科書〈目録第１部〉一覧

教科名	科目名	発行者略称	教科書名	選定校数
外国語	英語コミュニケーションⅠ	啓林館	Revised LANDMARK English Communication I	1
		第一	Vivid English Communication I NEW EDITION	1
	英語コミュニケーションⅡ	東書	All Aboard! English Communication II Revised	9
		東書	Power On English Communication II Revised	5
		東書	BRIGHTEST English Communication II	1
		開隆堂	Bloom English Communication II	2
		開隆堂	Stellar English Communication II	1
		三省堂	VISTA English Communication II New Edition	2
		啓林館	Revised LANDMARK Fit English Communication II	6
		数研	Revised BLUE MARBLE English Communication II	4
		数研	Revised BIG DIPPER English Communication II	1
		数研	Revised COMET English Communication II	7
		第一	CREATIVE English Communication II NEW EDITION	1
		桐原	Heartening English Communication II New Edition	1
	英語コミュニケーションⅢ	文英堂	Grove English Communication III	1
	論理・表現Ⅱ	東書	NEW FAVORITE English Logic and Expression II Revised	1
		開隆堂	Revised Applause English Logic and Expression II	3
		三省堂	MY WAY Logic and Expression II New Edition	2
		啓林館	Revised Vision Quest English Logic and Expression II Hope	3
		数研	Revised EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced	1
		数研	Revised EARTHRISE English Logic and Expression II Standard	3
		数研	EARTHRISE English Logic and Expression II Essential	5
		数研	Revised BIG DIPPER English Logic and Expression II	4
		桐原	FACTBOOK English Logic and Expression II New Edition	1
	論理・表現Ⅲ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression III	1
情報	情報Ⅱ	東書	情報Ⅱ	6
		実教	最新情報Ⅱ	1
		実教	情報Ⅱ	1
工業		実教	電気機器 新訂版	5
		実教	電力技術１ 新訂版	5
		実教	電力技術２ 新訂版	5
		実教	電子技術 新訂版	5
商業		実教	マーケティング 新訂版	8
		実教	商品開発と流通 新訂版	5
		実教	ビジネス・マネジメント 新訂版	2
		実教	高校財務会計Ⅰ 新訂版	2
		実教	新財務会計Ⅰ 新訂版	5
		実教	原価計算 新訂版	6
		実教	ソフトウェア活用 新訂版	6
		実教	プログラミング 新訂版 マクロ言語	6
		東法	商品開発と流通 新訂版	1
		東法	ビジネス・マネジメント 新訂版	1
		東法	ソフトウェア活用 新訂版	2
		TAC	財務会計Ⅱ	1
家庭（専門）		教図	新保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ	17
		教図	新フードデザインFood Changes LIFE	10
		実教	保育基礎 新訂版	10
		実教	フードデザイン 新訂版	12
情報（専門）		実教	情報産業と社会	1

令和9年度用県立高等学校過年度採択済使用教科書〈目録第1部〉一覧

教科名	科目名	発行者略称	教科書名	選定校数
国語	現代の国語	東書	新編現代の国語	14
		東書	精選現代の国語	3
		東書	現代の国語	2
		大修館	現代の国語 改訂版	1
		大修館	新編 現代の国語 改訂版	2
		数研	増補新版 現代の国語	2
		数研	改訂版 高等学校 現代の国語	4
		数研	改訂版 新編 現代の国語	1
		筑摩	ちくま 現代の国語	3
		第一	高等学校 新訂現代の国語	1
		第一	高等学校 改訂版 標準現代の国語	6
		第一	高等学校 新編現代の国語	1
		桐原	新 現代の国語	1
	言語文化	東書	新編言語文化	14
		東書	精選言語文化	7
		大修館	言語文化 改訂版	1
		大修館	新編 言語文化 改訂版	3
		数研	改訂版 言語文化	1
		数研	改訂版 高等学校 言語文化	5
		数研	改訂版 新編 言語文化	2
		明治	新 精選 言語文化	1
		第一	高等学校 改訂版 精選言語文化	3
		第一	高等学校 改訂版 標準言語文化	4
		第一	高等学校 新編言語文化	1
	文学国語	第一	高等学校 標準文学国語	3
	国語表現	東書	国語表現	1
地理歴史	地理総合	東書	地理総合	2
		実教	新選地理総合 welcome to geography	1
		帝国	高等学校 新地理総合	21
		帝国	高校生の地理総合	9
		山川	わたしたちの地理総合 改訂版	5
		第一	高等学校 改訂版 地理総合 世界を学び、地域をつくる	3
	歴史総合	東書	歴史総合	5
		実教	詳述歴史総合 新訂版	2
		実教	歴史総合 新訂版 むすびつく世界と日本	11
		帝国	明解 歴史総合	3
		山川	歴史総合 近代から現代へ 改訂版	2
		山川	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える 改訂版	2
		山川	わたしたちの歴史 日本から世界へ 改訂版	3
		第一	高等学校 改訂版 歴史総合	4
		第一	高等学校 改訂版 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	10
	日本史探究	第一	高等学校 日本史探究	1
	世界史探究	第一	高等学校 世界史探究	2
	地図	帝国	新詳高等地図	24
		山川	詳解現代地図 改訂版	1
公民	公共	東書	公共	8
		実教	詳述公共 新訂版	1
		実教	公共 新訂版 共につくる未来	6
		帝国	高校生の公共	2
		数研	改訂版 公共	4
		数研	改訂版 高等学校 公共 これからの社会について考える	5
		第一	高等学校 改訂版 公共	2
		第一	高等学校 改訂版 新公共	11
	政治・経済	教図	政治・経済	1

令和9年度用県立高等学校過年度採択済使用教科書〈目録第1部〉一覧

教科名	科目名	発行者略称	教科書名	選定校数
数学	数学Ⅰ	東書	改訂版 数学Ⅰ Standard	3
		東書	数学Ⅰ Select	1
		東書	改訂版 新数学Ⅰ	5
		東書	改訂版 新数学Ⅰ 解答編	5
		東書	数学Ⅰ The 探究	1
		数研	改訂版 数学Ⅰ	1
		数研	改訂版 高等学校 数学Ⅰ	2
		数研	改訂版 新編 数学Ⅰ	13
		数研	改訂版 最新 数学Ⅰ	10
		数研	改訂版 新 高校の数学Ⅰ	7
	数学Ⅲ	東書	数学Ⅲ Standard	2
		数研	数学Ⅲ	1
		数研	高等学校 数学Ⅲ	2
		数研	新編 数学Ⅲ	12
		数研	最新 数学Ⅲ	1
	数学A	東書	改訂版 数学A Standard	3
		東書	改訂版 新数学A	3
		東書	改訂版 新数学A 解答編	3
		東書	数学A The 探究	1
		数研	改訂版 数学A	1
		数研	改訂版 高等学校 数学A	2
		数研	改訂版 新編 数学A	12
		数研	改訂版 最新 数学A	10
		数研	改訂版 新 高校の数学A	7
理科	科学と人間生活	東書	改訂 科学と人間生活	3
		実教	科学と人間生活 新訂版	11
		啓林館	高等学校 科学と人間生活 改訂版	5
		数研	改訂版 科学と人間生活	4
		第一	高等学校 改訂 科学と人間生活	9
	物理基礎	東書	改訂 新編物理基礎	5
		実教	物理基礎 新訂版	1
		実教	高校物理基礎 新訂版	1
		啓林館	高等学校 物理基礎 改訂版	1
		啓林館	i 版 物理基礎	2
		数研	改訂版 物理基礎	6
		数研	改訂版 新編 物理基礎	17
		第一	高等学校 改訂 新物理基礎	2
	化学基礎	東書	改訂 化学基礎	1
		東書	改訂 新編化学基礎	8
		実教	化学基礎 academia 新訂版	2
		実教	化学基礎 新訂版	2
		実教	高校化学基礎 visual	3
		啓林館	i 版 化学基礎 改訂版	1
		数研	改訂版 化学基礎	9
		数研	改訂版 新編 化学基礎	10
		第一	高等学校 改訂 新化学基礎	1
	化学	東書	化学 Vol.1 理論編	1
		東書	化学 Vol.2 物質編	1
	生物基礎	東書	改訂 新編生物基礎	5
		実教	生物基礎 新訂版	1
		実教	高校生物基礎 visual	4
		啓林館	高等学校 生物基礎 改訂版	5
		数研	改訂版 生物基礎	2
		数研	改訂版 高等学校 生物基礎	5
		数研	改訂版 新編 生物基礎	6
		第一	高等学校 改訂 生物基礎	2
		第一	高等学校 改訂 新生物基礎	5
	地学基礎	数研	改訂版 高等学校 地学基礎	1
		第一	高等学校 改訂 地学基礎	1

令和9年度用県立高等学校過年度採択済使用教科書〈目録第1部〉一覧

教科名	科目名	発行者略称	教科書名	選定校数
保健体育	保健体育	大修館	現代高等保健体育 改訂版	36
		大修館	新高等保健体育 改訂版	2
		第一	高等学校 改訂版 保健体育Textbook	2
		第一	高等学校 改訂版 保健体育Activity	2
芸術	音楽Ⅰ	教芸	MOUSA 1	27
		教芸	高校生の音楽 1	5
		大修館	音楽Ⅰ 改訂版 T u t t i +	3
		友社	改訂版 ON! 1	2
	音楽Ⅲ	教芸	Joy of Music	1
		友社	ON! 3	1
	美術Ⅰ	光村	美術 1	15
		日文	新・高校生の美術 1	23
	美術Ⅲ	光村	美術 3	1
		日文	高校生の美術 3	2
	工芸Ⅰ	日文	工芸Ⅰ	1
	書道Ⅰ	東書	書道Ⅰ	10
		教図	書Ⅰ	4
		光村	書Ⅰ	18
		大修館	新編 書道Ⅰ	4
	書道Ⅲ	光村	書Ⅲ	2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	東書	All Aboard! English CommunicationⅠ Revised	12
		東書	Power On English CommunicationⅠ Revised	7
		東書	BRIGHTEST English CommunicationⅠ	1
		開隆堂	Revised Amity English CommunicationⅠ	1
		開隆堂	Bloom English CommunicationⅠ	1
		三省堂	VISTA English CommunicationⅠ New Edition	2
		啓林館	Revised LANDMARK Fit English CommunicationⅠ	4
		数研	Revised BLUE MARBLE English CommunicationⅠ	5
		数研	Revised BIG DIPPER English CommunicationⅠ	1
		数研	Revised COMET English CommunicationⅠ	7
		桐原	Heartening English CommunicationⅠ New Edition	1
	英語コミュニケーションⅢ	東書	All Aboard! English CommunicationⅢ	4
		東書	Power On English CommunicationⅢ	5
		開隆堂	APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATIONⅢ	2
		啓林館	LANDMARK Fit English CommunicationⅢ	3
		数研	BLUE MARBLE English CommunicationⅢ	2
		数研	BIG DIPPER English CommunicationⅢ	4
		桐原	Heartening English CommunicationⅢ	3
		いづな	New Rays English CommunicationⅢ	1
	論理・表現Ⅰ	東書	NEW FAVORITE English Logic and ExpressionⅠ Revised	6
		開隆堂	Revised Amity English Logic and ExpressionⅠ	2
		開隆堂	Revised Applause English Logic and ExpressionⅠ	4
		三省堂	MY WAY Logic and ExpressionⅠ New Edition	3
		三省堂	VISTA Logic and ExpressionⅠ	4
		啓林館	Revised Vision Quest English Logic and ExpressionⅠ Standard	3
		数研	Revised EARTHRISE English Logic and ExpressionⅠ Advanced	2
		数研	EARTHRISE English Logic and ExpressionⅠ Essential	8
		数研	Revised BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅠ	6
		桐原	FACTBOOK English Logic and ExpressionⅠ New Edition	1
	論理・表現Ⅲ	三省堂	MY WAY Logic and ExpressionⅢ	4
		大修館	Genius English Logic and ExpressionⅢ	1
		数研	EARTHRISE English Logic and ExpressionⅢ Standard	2
		桐原	FACTBOOK English Logic and ExpressionⅢ	1

令和9年度用県立高等学校過年度採択済使用教科書〈目録第1部〉一覧

教科名	科目名	発行者略称	教科書名	選定校数
家庭	家庭基礎	東書	家庭基礎 自立・共生・創造	13
		教図	ウェルビーイングにつなぐ 家庭基礎	2
		教図	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来 新訂版	1
		教図	Survive!! 高等学校 家庭基礎 【改訂版】	1
		実教	新家庭基礎 気づく力 築く未来	2
		実教	新図説家庭基礎	3
		第一	高等学校 改訂版 家庭基礎 持続可能な未来をつくる	4
	家庭総合	東書	家庭総合 自立・共生・創造	11
		教図	ウェルビーイングにつなぐ 家庭総合	2
		実教	新家庭総合	2
		大修館	Creative Living 『家庭総合』で生活をつくろう 改訂版	2
		第一	高等学校 改訂版 家庭総合 持続可能な未来をつくる	1
情報	情報Ⅰ	東書	新編情報Ⅰ	9
		東書	情報Ⅰ Step Forward!	1
		実教	高校情報Ⅰ 新訂版	5
		実教	最新情報Ⅰ 新訂版	6
		実教	情報Ⅰ Flex	2
		実教	図説情報Ⅰ 新訂版	1
		数研	改訂版 高等学校 情報Ⅰ	4
		数研	改訂版 情報Ⅰ Next	1
		第一	高等学校 改訂版 情報Ⅰ	1
	情報Ⅱ	日文	情報Ⅱ	1
理数	理数探究基礎	啓林館	理数探究基礎 未来に向かって 改訂版	3
		数研	理数探究基礎	1
農業		実教	農業と環境	5
		実教	農業と情報	4
		実教	作物	2
		実教	野菜	5
		実教	果樹	2
		実教	草花	4
		実教	畜産	2
		実教	栽培と環境	3
		実教	農業経営	4
		実教	農業機械	2
		実教	植物バイオテクノロジー	3
		実教	食品製造	5
		実教	生物活用	4
		実教	地域資源活用	4
		実教	森林科学	3
		実教	林産物利用	1
		実教	農業土木設計	3
		実教	水循環	2
		実教	造園計画	2
		実教	造園植栽	2
		電機大	農業土木施工	3
		電機大	造園施工管理	3
		海文堂	飼育と環境	1

令和9年度用県立高等学校過年度採択済使用教科書〈目録第1部〉一覧

教科名	科目名	発行者略称	教科書名	選定校数
工業		実教	工業技術基礎	6
		実教	機械製図	5
		実教	電気製図	5
		実教	建築設計製図	4
		実教	土木製図	2
		実教	工業情報数理 新訂版	5
		実教	精選工業情報数理	1
		実教	工業環境技術	1
		実教	機械工作 1 新訂版	5
		実教	機械工作 2 新訂版	5
		実教	機械設計 1 新訂版	5
		実教	機械設計 2 新訂版	5
		実教	原動機	5
		実教	電子機械	4
		実教	生産技術	5
		実教	自動車工学 1	1
		実教	自動車工学 2	1
		実教	電気回路 1 新訂版	4
		実教	電気回路 2 新訂版	4
		実教	電子回路	1
		実教	電子計測制御	2
		実教	通信技術	1
		実教	プログラミング技術	1
		実教	ハードウェア技術	2
		実教	ソフトウェア技術	1
		実教	コンピュータシステム技術	1
		実教	建築構造	4
		実教	建築計画	4
		実教	建築構造設計	4
		実教	建築施工	4
		実教	建築法規	4
		実教	測量	4
		実教	土木基盤力学 水理学・土質力学	1
		実教	土木施工	1
		実教	デザイン実践	1
		オーム	工業情報数理	1
		コロナ	電気回路（上）	1
		コロナ	電気回路（下）	1
		電機大	インテリア装備	1
		海文堂	インテリアエレメント生産	1
商業		実教	ビジネス基礎 新訂版	16
		実教	ビジネス・コミュニケーション 新訂版	5
		実教	観光ビジネス	3
		実教	グローバル経済	2
		実教	ビジネス法規	2
		実教	高校簿記 新訂版	4
		実教	新簿記 新訂版	12
		実教	財務会計Ⅱ	3
		実教	最新情報処理 新訂版 Advanced Computing	7
		実教	情報処理 新訂版 Prologue of Computer	5
		実教	ネットワーク活用	4
		実教	ネットワーク管理	4
		東法	ビジネス法規	1
		東法	情報処理 新訂版	2
		東法	ネットワーク活用	1

令和9年度用県立高等学校過年度採択済使用教科書〈目録第1部〉一覧

教科名	科目名	発行者略称	教科書名	選定校数
水産		実教	漁業	2
		実教	船用機関 1	2
		実教	船用機関 2	2
		実教	資源増殖	1
		海文堂	水産海洋基礎	2
		海文堂	海洋情報技術	2
		海文堂	航海・計器	2
		海文堂	船舶運用	2
		海文堂	機械設計工作	2
		海文堂	電気理論	2
		海文堂	海洋生物	2
		海文堂	海洋環境	2
		海文堂	食品製造	2
		海文堂	食品管理 1	2
		海文堂	食品管理 2	2
		海文堂	水産流通	1
家庭（専門）		実教	ファッション造形基礎	7
		実教	消費生活	2
		実教	保育実践	4
		実教	服飾文化	4
情報（専門）		実教	情報デザイン	1
福祉		実教	社会福祉基礎	4
		実教	介護福祉基礎	4
		実教	コミュニケーション技術	3
		実教	生活支援技術	2
		実教	介護過程	1
		実教	こころとからだの理解	3

令和 9 年度使用特別支援学校教科用図書の採択結果について

1 概要

教育長に対する事務の委任等に関する規則第 4 条第 1 項の規定に基づき、令和 9 年度使用県立特別支援学校教科用図書について、8 月 24 日付教育長決裁にて採択したところであり、同条第 2 項の規定に基づき、報告するもの

2 採択の方針〔別紙参考資料〕

令和 8 年 5 月 19 日議決した「令和 9 年度使用県立特別支援学校高等部用教科用図書の採択の基本方針」及び、令和 8 年 6 月 1 日に議決した「令和 9 年度使用特別支援学校小・中学部用教科用図書の採択に関する事項」に従って採択

3 特別支援学校 小・中学部 教科用図書〔別紙 1〕

- | | |
|-------------------------|---------|
| (1) 文部科学省検定済教科書 | |
| ・小学部（令和 5 年度採択のものを使用） | 155 点採択 |
| ・中学部（令和 6 年度採択のものを使用） | 78 点採択 |
| (2) 文部科学省著作教科書 | |
| ・視覚障害者用（点字版） | 287 点採択 |
| ・聴覚障害者用 | 7 点採択 |
| ・知的障害者用 | 25 点採択 |
| (3) 学校教育法附則第 9 条による一般図書 | 427 点採択 |

4 特別支援学校 高等部 教科用図書〔別紙 2〕

- | | |
|---|---------|
| (1) 高等学校用文部科学省検定済教科書 | 107 点採択 |
| (2) 学校設定教科で使用する学校教育法附則第 9 条による一般図書 | 5 点採択 |
| (3) 学校教育法附則第 9 条による一般図書（特別支援学校小学部・中学部
文部科学省著作教科書） | 55 点採択 |
| (4) 学校教育法附則第 9 条による一般図書（知的障がい特別支援学校
高等部において使用する文部科学省検定済教科書） | 18 点採択 |
| (5) 学校教育法附則第 9 条による一般図書（島根県教育委員会選定一般
図書一覧掲載図書 427 点、学校選定図書 43 点） | 470 点採択 |

【参考】関係法令（抜粋） 「学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）」

第 34 条 小学校においては、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の意義を有する教科用図書を使用しなければならない。

第 82 条 ……第 34 条（第 49 条及び第 62 条において準用する場合を含む。）……の規定は特別支援学校に、……準用する。

附 則

第 9 条 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校並びに特別支援学級においては、当分の間、第 34 条第 1 項（第 49 条、第 62 条、第 70 条第 1 項及び第 82 条において準用する場合を含む。）の規定にかかわらず、文部科学大臣の定めるところにより、第 34 条第 1 項に規定する教科用図書以外の教科用図書を使用することができる。

(参考) 令和9年度使用教科用図書の採択について

(1) 公立学校の教科用図書の採択権者等

〔市町村立小学校・中学校等〕市町村教育委員会が、採択地区ごとに協議して採択。(4年に1回)

〔県立高等学校〕各学校の希望を聞いたうえで、所管する教育委員会が採択。(毎年)

〔県立特別支援学校〕各学校の希望を聞いたうえで、県教育委員会が採択。(毎年)

〔市町村立学校の特別支援学級〕各学校の希望を聞いたうえで、市町村教育委員会が採択。(毎年)

※採択地区…県教育委員会が、市町村の区域又はこれらの区域を併せた地域を「採択地区」として設定する。同一の採択地区では同一の教科用図書を用いる(島根県では、教育事務所ごとに採択地区を設定)。

※特別支援学校、小・中学校の特別支援学級については、個々の児童生徒ごとに教科用図書を採択する。

(2) 令和9年度使用教科用図書の採択の流れ

	小・中学校 特別支援学級	特別支援学校 小・中学部	高等学校	特別支援学校 高等部
3月	【教育委員会会議】（3/26） ・選定審議会委員及び諮問内容について付議			
4月	【選定審議会】（4/16） ・採択に係る基本方針 ・採択基準 ・採択に係る留意事項 ・選定に必要な資料の様式			
5月	↓ 教科用図書の調査研究 【※専門調査委員会】（審議会規則第4条）（4/21, 5/13） ・選定に必要な資料の作成 【選定審議会】（5/26） ・答申作成		【教育委員会会議】 ・採択に係る基本方針、採択基準、採 択の観点、採択に係る留意事項につ いて付議	
6月	【教育委員会会議】（6/1） ・市町村教育委員会に対する指導、助言又は 援助の内容について付議	・県教育委員会に おける教科用図 書採択の進め方 について付議	・採択に係る 基本方針、 採択基準、 採択の観点、 採択に係る留意 事項を各学校に 通知	・採択に係る 基本方針、 採択基準、 採択の観点、 採択に係る留 意事項を各学 校に通知
	⇒市町村教育委員会に対する指導、助言又は 援助の内容（採択に係る基本方針、採択基 準、採択に係る留意事項、選定に必要な資 料）を各採択権者に送付 ⇒Web 掲載	⇒採択に係る基本 方針、採択基準、 採択に係る留意 事項、選定に必要 な資料を各学校 に通知		
7月	○各学校で選定し、市町村教委に報告		○各学校で選定し、県教委に報告	
8月	○市町村教委において採択		○県教委において採択	
9月			【教育委員会会議】 ・採択について報告	

令和9年度使用県立特別支援学校高等部用教科用図書の採択の基本方針について

1 採択の基本方針

- (1) 関係法令の定めるところにより、公正かつ適正な採択を行う。
- (2) 採択は、校長の意見を聞いた上で教育委員会が行う。

2 採択基準

採択は、「高等学校用教科書目録（令和9年度使用）」「中学校用教科書目録（令和9年度使用）」「小学校用教科書目録（令和9年度使用）」「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（令和9年度使用）」「令和9年度用島根県教育委員会選定一般図書一覧」に登載されている図書のうちから行う。なお、「令和9年度用島根県教育委員会選定一般図書一覧」に登載する図書（追加分）については、令和8年度島根県教科用図書選定審議会の答申を受けて選定する。

ただし、必要がある場合には、校長の意見に基づき、「教科書目録」等に登載されている図書以外の図書を採択する。

3 採択の観点

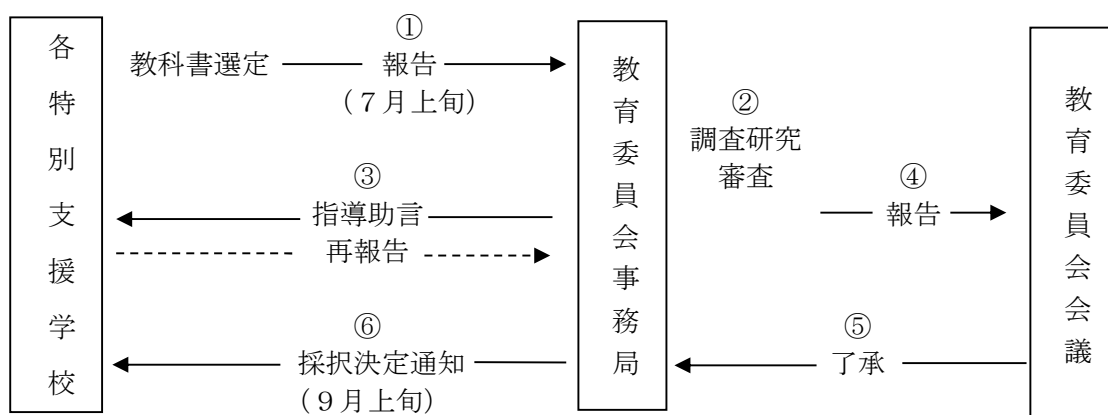
採択は、生徒の発達段階、障がいの状態及び特性、教育課程に適合したものであるかどうかを考慮した上で、厳正に行う。

4 採択に係る留意事項

- (1) 生徒の実態等を踏まえ、最も適した教科用図書を採択するために、「採択の基本方針」を基にして、教科書研究の充実に努める。
- (2) 適正かつ公正な採択の確保の観点から、教科用図書発行者等の宣伝行為等外部からの影響に採択結果が左右されることがないように、関係者の意識啓発に努める。加えて、教科用図書発行者等と健全かつ適切な関係を保つよう、すべての学校・教員等に対して指導を徹底する。

5 採択の手続き

- ① 校長は採択の基本方針を踏まえ、各学校で十分な検討の上、使用教科用図書を選定し、次年度採択希望を教育委員会事務局へ報告する。
- ② 教育委員会事務局は校長の報告に基づき調査研究し、選定理由・教育課程との適合性等について審査する。
- ③ 必要に応じて、教育委員会事務局は各学校に指導助言し、校長は選定に変更があれば教育委員会事務局へ再報告する。
- ④ 教育委員会事務局は、教育委員会会議に報告する。
- ⑤ 教育委員会会議は報告内容を審査し、適当であると認めた場合はこれを了承する。
- ⑥ 教育委員会会議で了承された後、教育委員会事務局から各学校へ採択決定を通知する。



※なお、新入生用については合格が決定した2月末に選定を行い、上記と同じ流れで3月に採択する。

令和9年度使用特別支援学校小・中学部用教科用図書の採択に関する事項

1 採択に係る基本方針

- (1) 関係法令の定めるところにより、公正かつ適正な採択を行う。
- (2) 採択にあたっては、児童生徒の障がいの状態及び特性を十分に考慮し、学習指導要領のねらい及びしまね教育振興ビジョン並びにしまね特別支援教育魅力化ビジョン（島根県教育委員会）を踏まえる。
- (3) 採択に係る情報を公表するなど、開かれた教科書採択を推進する。

2 採択基準

- (1) 採択は、「教科書目録」や「県選定一般図書一覧」等に登載されている図書のうちから、児童生徒ごと、かつ、種目ごとに1種を採択する。
- (2) 採択は、県教育委員会の責任において行う。
- (3) 採択は、児童生徒の発達の段階、障がいの状態及び特性、地域性を考慮し、県教育委員会が作成する「選定に必要な資料」を十分参考のうえ、厳正に行う。

3 採択に係る留意事項

- (1) 教科書観について
教科書に記述された内容を全て指導するのではなく、学習指導要領の目標、内容に照らし、児童生徒の一人一人の発達の段階、障がいの状態及び特性に応じた教科書であることを踏まえる。
- (2) 専門的な教科書研究の充実について
児童生徒の実態や地域の実態を踏まえ最も適した教科用図書を採択するために、「採択に係る基本方針」、「採択基準」、「選定に必要な資料」を基にして、教科書の調査研究の充実に努める。
- (3) 適正かつ公正な採択の確保について
教科書発行者等の過大な宣伝行為等外部からの影響に採択結果が左右されることなく、公正性・透明性の確保の徹底がなされるよう、関係者の意識の啓発に努める。

4 選定に必要な資料

県教育委員会は以下の観点に基づいて、選定に必要な資料を作成する。

- (1) 記述された内容、程度、分量が、児童生徒の発達の段階、障がいの状態及び特性に適合しているか。
- (2) 取り上げられた題材の選択や構成は、学習を効果的に進めるために適切なものになっているか。
- (3) 児童生徒が興味・関心をもって学習できるように工夫されているか。
- (4) 各教科等における資質・能力との関連や身近な生活に生かせる工夫が盛り込まれているか。

令和9年度使用特別支援学校 小・中学部 教科用図書の採択について

(1) 文部科学省検定済教科書 233点

別紙1

① 小学部（令和5年度採択） 155点

種 目	発行者	書 名
国 語	東京書籍	新編 あたらしい こくご 一上／下
		新編 新しい 国語 二上／下
		新編 新しい国語 三上／下
		新編 新しい国語 四上／下
		新編 新しい国語 五
		新編 新しい国語 六
	光村図書	こくご一上 かざぐるま／下 ともだち
		こくご二上 たんぼぼ／下 赤とんぼ
		国語三上 わかば／下 あおぞら
		国語四上 かがやき／下 はばたき
		国語五 銀河
		国語六 創造
書 写	東京書籍	新編 あたらしい しょしゃ 一
		新編 新しい しょしゃ 二
		新編 新しい 書写 三
		新編 新しい 書写 四
		新編 新しい 書写 五
		新編 新しい 書写 六
	教育出版	しょうがく しょしゃ 一ねん
		小学 しょしゃ 二年
		小学 書写 三年
		小学 書写 四年
		小学 書写 五年
		小学 書写 六年
	光村図書	しょしゃ 一ねん
		しょしゃ 二年
		書写 三年
		書写 四年
		書写 五年
		書写 六年
社 会	東京書籍	新編 新しい社会3
		新編 新しい社会4
		新編 新しい社会5上／下
		新編 新しい社会6 政治・国際編／歴史編
	教育出版	小学社会3
		小学社会4
		小学社会5
地 図	帝国書院	小学社会6
		楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年
算 数	東京書籍	新編 あたらしいさんすう1①はじめよう！さんすう②みつけよう！さんすう
		新編 新しい算数 2上／下 考えるって おもしろい！
		新編 新しい算数 3上／下 考えたことが つながるね！
		新編 新しい算数 4上／下 考えたことが つながるね！
		新編 新しい算数 5上／下 考えたことが つながるね！
		新編 新しい算数 6 数学ヘジャンプ！
	大日本図書	新版 たのしいさんすう1ねん①②
		新版 たのしい算数2年
		新版 たのしい算数3年
		新版 たのしい算数4年
		新版 たのしい算数5年
		新版 たのしい算数6年
	教育出版	しょうがくさんすう1
		小学算数2上／下
		小学算数3上／下
		小学算数4上／下
		小学算数5
		小学算数6
	啓林館	わくわく さんすう1 すたあと ぶっく／わくわく さんすう1
		わくわく 算数2上／下
		わくわく 算数3上／下
		わくわく 算数4上／下
		わくわく 算数5
		わくわく 算数6

理 科	東京書籍	新編 新しい理科 3
		新編 新しい理科 4
		新編 新しい理科 5
		新編 新しい理科 6
生 活	東京書籍	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上
		あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活 下
	啓林館	わくわく せいかつ上
		いきいき せいかつ下
音 楽	教育芸術社	小学生のおんがく 1
		小学生の音楽 2
		小学生の音楽 3
		小学生の音楽 4
		小学生の音楽 5
		小学生の音楽 6
図 画 工 作	開隆堂	ずがこうさく1・2上 わくわくするね/下 みつけたよ
		図画工作3・4上 できたらいいな/下 力を合わせて
	日本文教出版	図画工作5・6上 心をひらいて/下 つながる思い
		ずがこうさく1・2 上/下 まるごと たのしもう
		図画工作3・4 上/下 ためす 見つける
		図画工作5・6 上/下 わたしとひびき合う
家 庭	東京書籍	新編 新しい家庭 5・6 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる
	開隆堂	わたしたちの家庭科 5・6
保 健	東京書籍	新編 新しいほけん 3・4
		新編 新しい保健 5・6
	文教社	新わたしたちのほけん 3・4年
		新わたしたちの保健 5・6年
	大日本図書	新版 たのしいほけん3・4年
		新版 たのしい保健5・6年
英 語	東京書籍	NEW HORIZON Elementary English Course 5
		NEW HORIZON Elementary English Course My Picture Dictionary
		NEW HORIZON Elementary English Course 6
	開隆堂	Junior Sunshine 5 / Word Book
		Junior Sunshine 6 / Word Book
	教育出版	ONE WORLD Smiles 5
道 徳	東京書籍	ONE WORLD Smiles 6
		新編 あたらしい どうとく 1
		新編 新しい どうとく 2
		新編 新しいどうとく 3
		新編 新しいどうとく 4
		新編 新しい道徳 5
		新編 新しい道徳 6
	教育出版	しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ
		小学どうとく2 はばたこう明日へ
		小学どうとく3 はばたこう明日へ
		小学道徳4 はばたこう明日へ
		小学道徳5 はばたこう明日へ
		小学道徳6 はばたこう明日へ
	光村図書	どうとく 1 きみが いちばん ひかるとき
		どうとく 2 きみが いちばん ひかるとき
		どうとく 3 きみが いちばん ひかるとき
		道徳 4 きみが いちばん ひかるとき
		道徳 5 きみが いちばん ひかるとき
		道徳 6 きみが いちばん ひかるとき
	学研	新版 みんなのどうとく1
		新版 みんなのどうとく2
		新版 みんなのどうとく3
		新版 みんなの道徳4
		新版 みんなの道徳5
		新版 みんなの道徳6

② 中学部（令和6年度採択）

78点

種 目		発 行 者	書 名
国 語	東京書籍	新編 新しい国語 1	
		新編 新しい国語 2	
		新編 新しい国語 3	
	光村図書	国語 1	
国語 2			
国語 3			
書 写		東京書籍	新編 新しい書写 一・二・三年
		光村出版	中学書写 一・二・三年
社会	地理的分野	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
		教育出版	中学社会 地理 地域にまなぶ
	歴史的分野	東京書籍	新編 新しい社会 歴史
		帝国書院	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
	公民的分野	教育出版	中学社会 歴史 未来をひらく
		東京書籍	新編 新しい社会 公民
		帝国書院	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
		教育出版	中学社会 公民 とともに生きる
地 図		帝国書院	中学校社会科地図
数 学	東京書籍	新編 新しい数学 1	～MATH CONNECT 数学のつながり～
		新編 新しい数学 2	～MATH CONNECT 数学のつながり～
		新編 新しい数学 3	～MATH CONNECT 数学のつながり～
	啓林館	未来へひろがる数学1	
		未来へひろがる数学2	
		未来へひろがる数学3	
	数研出版	これからの 数学1	
		これからの 数学2	
これからの 数学3			
理 科	東京書籍	新編 新しい科学1	
		新編 新しい科学2	
		新編 新しい科学3	
	啓林館	未来へひろがるサイエンス1	
		未来へひろがるサイエンス2	
		未来へひろがるサイエンス3	
	大日本図書	理科の世界 1	
理科の世界 2			
理科の世界 3			
音楽	一般	教育芸術社	中学生の音楽 1
	器楽合奏	教育芸術社	中学生の音楽 2・3 上／下
		教育芸術社	中学生の器楽
美 術	光村図書	美術1／美術1 資料	
		美術2・3	
	日本文教出版	美術1 美術との出会い	
		美術2・3 上 学びの実感と深まり／下 学びの探求と未来	
		開隆堂	美術 1
			美術 2・3
保 健 体 育	東京書籍	新編 新しい保健体育	
	学研	新・中学保健体育	
	大日本図書	中学校保健体育	
技術 家庭	技術分野	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
		教育図書	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する／明日を創造する スキルアシスト
		開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
	家庭分野	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
		教育図書	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
		開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
英 語	東京書籍	NEW HORIZON English Course1	
		NEW HORIZON English Course2	
		NEW HORIZON English Course3	
	開隆堂	Sunshine English Course 1	
		Sunshine English Course 2	
		Sunshine English Course 3	
	教育出版	ONE WORLD English Course 1	
		ONE WORLD English Course 2	
		ONE WORLD English Course 3	
道 徳	東京書籍	新編 新しい道徳1	
		新編 新しい道徳2	
		新編 新しい道徳3	
	教育出版	中学道徳1 とびだそう未来へ	
		中学道徳2 とびだそう未来へ	
		中学道徳3 とびだそう未来へ	
	日本文教出版	中学道徳 あすを生きる1／中学道徳 あすを生きる1	道徳ノート
中学道徳 あすを生きる2／中学道徳 あすを生きる2		道徳ノート	
中学道徳 あすを生きる3／中学道徳 あすを生きる3		道徳ノート	

(2) 文部科学省著作教科書

(視覚障害者用(点字版) 287点、聴覚障害者用 7点、知的障害者用 25点)

区分	発行者	書名
視覚障害者用(点字版)	日本ライトハウス	こくご 点字導入編、1-1~2
		こくご 2-1~4
		国語 3-1~4
		国語 4-1~4
		国語 5-1~4
		国語 6-1~4
	視覚障害者支援総合センター	社会 3-1~4
		社会 4-1~5
		社会 5-1~7
		社会 6-1~8
	東京ヘレン・ケラー協会	さんすう 触って学ぶ導入編、1-1~7
		さんすう 2-1~8、珠算編 1~2
		さんすう 3-1~9
		算数 4-1~9
		算数 5-1~11
		算数 6-1~9
	東京点字出版所	理科 3-1~6
		理科 4-1~6
		理科 5-1~6
		理科 6-1~6
	東京点字出版所	英語 5-1~4
		英語 6-1~4
	日本ライトハウス	どうとく 1-1~2
		どうとく 2-1~2
		どうとく 3-1~2
		道徳 4-1~2
		道徳 5-1~2
		道徳 6-1~2
	視覚障害者支援総合センター	国語 1-1~6
		国語 2-1~6
		国語 3-1~6
	視覚障害者支援総合センター	社会(地理) 1~12
	東京ヘレン・ケラー協会	社会(歴史) 1~10
	日本点字図書館	社会(公民) 1~12
	日本ライトハウス	数学 1-1~11
		数学 2-1~10
		数学 3-1~10
	東京点字出版所	理科 1-1~9
		理科 2-1~11
		理科 3-1~11
	東京点字出版所	英語 1-1~5、資料編
		英語 2-1~7
		英語 3-1~7
	東京ヘレン・ケラー協会	道徳 1-1~2
		道徳 2-1~2
		道徳 3-1~2

聴覚障害者用	教育出版	こくご ことばのべんきょう 一ねん
		こくご ことばのべんきょう 二ねん
		こくご ことばのべんきょう 三ねん
		国語 ことばのれんしゅう 四年
		国語 ことばの練習 五年
		国語 ことばの練習 六年
		国語 言語編
知的障害者用	東京書籍	こくご☆
		こくご☆☆
		こくご☆☆☆
		国語☆☆☆☆
		国語☆☆☆☆☆
	東京書籍	社会☆☆☆☆
		社会☆☆☆☆☆
	教育出版	さんすう☆
		さんすう☆☆ (1) (2)
		さんすう☆☆☆
		数学☆☆☆☆
		数学☆☆☆☆☆
	東京書籍	理科☆☆☆☆
		理科☆☆☆☆☆
	東京書籍	せいかつ☆
		せいかつ☆☆
		せいかつ☆☆☆
	東京書籍	おんがく☆
		おんがく☆☆
		おんがく☆☆☆
		音楽☆☆☆☆
		音楽☆☆☆☆☆
	東京書籍	職業・家庭☆☆☆☆
		職業・家庭☆☆☆☆☆

(3) 学校教育法附則第9条による一般図書

427点

発行者名	図 書 名
あかね書房	単行本さわってあそぼうふわふわあひる
あかね書房	もじのえほんあいうえお
あかね書房	もじのえほんかたかなアイウエオ
あかね書房	もじのえほんかんじ(1)
あかね書房	もじのえほんかんじ(2)
あかね書房	あかねえほんシリーズかたちのえほんまる・さんかく・しかくさん
あかね書房	あかねえほんシリーズえほんえかきうた
あかね書房	けんちゃんとあそぼう1のつてのつて
あかね書房	けんちゃんとあそぼう3まねっこまねっこ
あかね書房	くりのきえんのおともだち2あしたえんそくだから
あかね書房	からだのえほん4からだにもしもし
あかね書房	かばくん・くらのえほん1かばくんのいちにち
あかね書房	かばくん・くらのえほん2かばくんのおかいもの
あかね書房	あかね書房の学習えほんあそぼうあそぼうあいうえお
あかね書房	あかね書房の学習えほんおかあさんだいすき1. 2. 3
あかね書房	あかね書房の学習えほんことばのえほんABC
あかね書房	あかね書房の学習えほんかたかなえほんアイウエオ
あかね書房	あかね書房の学習えほんえいごえほんぞうさんのピクニック
あかね書房	あかね書房の学習えほんえいごえほんぞうさんがっこうにいく
あかね書房	新・心が元気になる本 (1) 自分にイライラ、どうしよう? 自分の気持ちや性格の悩み ※R9追加
岩崎書店	あそびの絵本ねんどあそび
岩崎書店	あそびの絵本クレヨンあそび
岩崎書店	あそびの絵本紙ねんどあそび
岩崎書店	あそびの絵本えのぐあそび
岩崎書店	あそびの絵本えかきあそび
岩崎書店	知識の絵本ひとのからだ
岩崎書店	かいかたそだてかたずかん4やさいのうえかたそだてかた
岩崎書店	五味太郎のことばとかずの絵本漢字の絵本
岩崎書店	五味太郎のことばとかずの絵本絵本ABC
岩崎書店	五味太郎のことばとかずの絵本ことばのあいうえお
岩崎書店	五味太郎のことばとかずの絵本かずの絵本
岩崎書店	五味太郎のことばとかずの絵本すうじの絵本
岩崎書店	絵本図鑑シリーズ8やさいのずかん
岩崎書店	絵本図鑑シリーズ12のはらのずかんー野の花と虫たちー
岩崎書店	ひとりのできる手づくりBOXしぜんで工作しよう
岩崎書店	時計がわかる本
岩崎書店	おすしやさんにいらっしやい!生きものが食べものになるまで
岩崎書店	カラフル
絵本館	五味太郎の絵本9いろ
絵本館	五味太郎の絵本10かたち
絵本館	五味太郎の絵本かずのえほん1・2・3
大阪教育図	からだで学ぶ英語教室
旺文社	学校では教えてくれない大切なこと(2)友だち関係(自分と仲良く)
旺文社	学校では教えてくれない大切なこと(6)友だち関係(気持ちの伝え方)
偕成社	エリック・カールかずのほん1, 2, 3どうぶつえんへ
偕成社	ことばをおぼえる本かず・かたち・いろあいうえお
偕成社	ノンタンあそぼうよ(1)ノンタンぶらんこのせて
偕成社	ノンタンあそぼうよ(8)ノンタンあわぶくぶくぶぶふう
偕成社	エンバリーおじさんの絵かきえほんしもんスタンプでかいてみよう
偕成社	日本むかし話おむすびころりん
偕成社	子どもの健康を考える絵本(4)からだがすきなたべものなあに?
偕成社	子どもの健康を考える絵本(5)こんなときどうするの?
偕成社	100かいだてのいえシリーズ100かいだてのいえ
偕成社	五味太郎・言葉図鑑(1)うごきのことば
偕成社	五味太郎・言葉図鑑(3)かざることば(A)
偕成社	五味太郎・言葉図鑑(5)つなぎのことば
偕成社	五味太郎・言葉図鑑(6)くらのことば
偕成社	五味太郎・言葉図鑑(10)なまえのことば
偕成社	赤ちゃん版ノンタン(2)ノンタンもぐもぐもぐ
偕成社	子どもの生活(3)マナーをきちんとおぼえよう!
偕成社	子どもの生活(6)じょうぶなからだになれるよ!
偕成社	あかちゃんのあそびえほん(1)ごあいさつあそび
偕成社	あかちゃんのあそびえほん(2)いないいないばああそび
偕成社	あかちゃんのあそびえほん(3)いただきますあそび
偕成社	あかちゃんのあそびえほん(4)ひとりでうんちできるかな
偕成社	あかちゃんのあそびえほん(6)いいおへんじできるかな
偕成社	安全のしつけ絵本(1)きをつけようね

偕成社	エリック・カールの絵本はらぺこあおむし
偕成社	エリック・カールの絵本うたがみえるきこえるよ
偕成社	エリック・カールの絵本（ぬりえ絵本）わたしだけのはらぺこあおむし
偕成社	エリック・カールの絵本くまさんくまさんなにみてるの？
偕成社	エリック・カールの絵本（ぬりえ絵本）ごちゃまぜカメレオン
偕成社	エリック・カールの絵本月ようびはなにたべる？ーアメリカのわらべうた
偕成社	エリック・カールの絵本できるかな？ーあたまからつまさきまでー
偕成社	五味太郎の絵本わにさんどきつはいしゃさんどきつ
偕成社	五味太郎・しかけ絵本（１）きいろいののはちょうちょ
偕成社	木村裕一・しかけ絵本（１）みんなみんなみーつけた
偕成社	木村裕一・しかけ絵本（１ ２）げんきにごあいさつ
偕成社	坂本廣子のひとりでクッキング（１）朝ごはんつくろう！
偕成社	坂本廣子のひとりでクッキング（２）昼ごはんつくろう！
偕成社	坂本廣子のひとりでクッキング（７）おべんとうつくろう！
偕成社	ともだちだいすき（２）おべんとうなあに？
偕成社	子どものマナー図鑑（１）ふだんの生活のマナー
偕成社	子どものマナー図鑑（３）でかけるときのマナー
偕成社	かこさとしうつくしい絵
偕成社	１０＋１人の絵本作家オリジナルソング集うたのパレット
偕成社	「おれたち、ともだち！」絵本ともだちや
偕成社	１００かいだてのいえシリーズうみの１００かいだてのいえ
偕成社	１００かいだてのいえシリーズちか１００かいだてのいえ
偕成社	かんたんおぼけ工作おぼけのレストランであそぼう！
偕成社	かんたんおぼけ工作（３） おぼけのえんにちであそぼう！ ※R9追加
学研	はっけんずかんのりもの改訂版
学研	あそびのおうさまBOOKはじめてぬるほん
学研	あそびのおうさまBOOKはじめてきるほん
学研	あそびのおうさまBOOKどんどんぬるほん
学研	あそびのおうさまずかんからだ増補改訂
学研	あそびのおうさまずかんリサイクルこうさく増補改訂
学研	さわって学べる算数図鑑
学研	ほんとおおきさほんとおおきさ動物園
学研	あそびのおうさまBOOKぬって
学研	あそびのおうさまBOOKはって
学研	一生つかえる！おまもりルールえほん ネットのぼうはん
開隆堂出版	職業・家庭たのしい職業科わたしの夢につながる
開隆堂出版	職業・家庭たのしい家庭科わたしのくらしに生かす
金の星社	あかちゃんとおかあさんの絵本ハティちゃんのいち・に・さん
金の星社	あかちゃんとおかあさんの絵本ハティちゃんのまる・さんかく・しかく
金の星社	あかちゃんとおかあさんの絵本このいろいろなに
金の星社	やさしいからだのえほん１からだのなかはどうなっているの？
金の星社	ひとりでできるもん！１たのしいたまご料理
金の星社	ひとりでできるもん！４うれしいごはん、パン、めん料理
金の星社	ひとりでできるもん！５すてきなおかし作り
金の星社	ひとりでできるもん！６だいすきおやつ作り
金の星社	ひとりでできるもん！１０おしゃれなおかし作り
金の星社	やさしいからだのえほん４むしばはどうしてできるの？
金の星社	げんきをつくる食育えほん１たべるのだいすき！
金の星社	はじめてのちずえほんたべものちずのえほん
金の星社	やさしくわかるぼうさい・ぼうはんのえほんじしん・つなみどうするの？
金の星社	おとのでる♪えいごのうたえほん
金の星社	ただしいもちかたの絵本
金の星社	おてつだいの絵本
金の星社	きゅうきゅうばこの絵本
金の星社	おいしい！ふしぎ！理科実験スイーツ こおる・わかれるひんやりスイーツ
金の星社	ただしいかぞえかたの絵本 ※R9追加
金の星社	おいしゃさんにいくときの絵本 ※R9追加
教芸	５訂版歌はともだち
教育画劇	つくってたべよう！お料理マジック２
くもん出版	もじ・ことば１はじめてのひらがな１集
くもん出版	もじ・ことば３やさしいひらがな１集
くもん出版	もじ・ことば１１はじめてのかん字
くもん出版	生活図鑑カードたべものカード
くもん出版	生活図鑑カードくだものやさしいカード１集
くもん出版	生活図鑑カードお店カード
くもん出版	生活図鑑カード生活道具カード
くもん出版	書きかたカード「ひらがな」
くもん出版	ひらがなカード
くもん出版	とけいカード
くもん出版	かずカード
くもん出版	おけいこはじめてのおけいこ
くもん出版	CＤ付き英語カードあいさつと話しことば編

くもん出版	C D付き楽器カード
くもん出版	時計のみかたが楽しくわかるくろくまくんのとけいえほん
くもん出版	あいうえおべんとう
くもん出版	100円たんけん
くもん出版	すきなことにがてなこと
グランまま	ぼくとわたしのせいかつえほん
グランまま	うたえほん
グランまま	うたえほんⅡ
グランまま	ことばえほん
講談社	講談社の年齢で選ぶ知育絵本4・5・6さいのきもちをつたえることばのえほん
講談社	ブルーナのアイディアブックミッフィーの1から10まで
講談社	米村でんじろうのDVDでわかるおもしろ実験！！
好学社	レオ・レオニの絵本スイミー
国土社	たのしい図画工作9うごくおもちゃ
国土社	たのしい図画工作14こすりだし・すりだし
国土社	たのしい図画工作16ちぎり紙・きり紙・はり絵
国土社	はじめてでもかんたん！日本の料理
国土社	ルールとマナーを学ぶ子ども生活図鑑（1）家庭生活編
国土社	立体地図で見る日本の国土とくらし（3）低い土地や寒い土地のくらしと平野・川
国土社	国土社のLLブックマシロさんとユウリさんの今日もきちんと身だしなみ
国土社	図画工作deたのしい作品づくり紙そめ
国土社	図画工作deたのしい作品づくり 第3期 光をつかった造形 ※R9追加
こぐま社	こぐまちゃんえほん第1集こぐまちゃんおはよう
こぐま社	こぐまちゃんえほん第2集こぐまちゃんのみずあそび
こぐま社	こぐまちゃんえほん第3集しろくまちゃんのほっとけき
こぐま社	ぶうとびよんのえほんおんなじおんなじ
こぐま社	ことばあそびの絵本ぶたたぬききつねねこ
こぐま社	こぐまちゃんえほん別冊さよならさんかく
こぐま社	馬場のぼるのえほん11ぴきのねこ
こぐま社	柳原良平のえほんかおかおどんなかお
小峰書店	りかのこうさく1ねんせい
小峰書店	くまたんのはじめてシリーズよめるよよめるよあいうえお
小峰書店	くまたんのはじめてシリーズおいしいおいしい1・2・3
小峰書店	東京パノラマたんけん
小峰書店	リサイクル工作ずかん
小峰書店	筆であそぼう書道入門2さあ、筆で書いてみよう
小峰書店	かんたん手芸3ねんどでつくろう
合同出版	子どもとマスターする49の生活技術イラスト版手のしごと
合同出版	子どもとマスターする45の操体法改訂新版イラスト版からだのつかい方ととのえ方
合同出版	運動が得意になる43の基本レッスンイラスト版体育のコツ
合同出版	絵でわかるこどものせいかつずかん1みのまわりのきほん
合同出版	絵でわかるこどものせいかつずかん4おつきあいのきほん
合同出版	絵でわかるこどものせいかつずかん3おでかけのきほん
合同出版	子どもとマスターする54の生活技術イラスト版修理のこつ
合同出版	イラスト版気持ちの伝え方コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング
こぼと	中級編ジャンプアップとけい・おかね・カレンダー
コクヨ	かおノート
さえら	たのしい工作教室たのしいこうさくきょうしつ
さえら	たのしい工作教室木のぞうけい教室
さえら	母と子の手づくり教室母と子の園芸教室野菜をつくろう
三省堂	三省堂こどもかずの絵じてん改訂版
三省堂	こどもきせつのぎょうじ絵じてん第2版小型版
三省堂	親子でうたう英語うたの絵じてん
三省堂	三省堂ことばつかいかた絵じてん増補新装版小型版
三省堂	こどもマナーとけい絵じてん
三省堂	こどもしごと絵じてん
三省堂	こどもりょうりのことば絵じてん
小学館	21世紀幼稚園百科2とけいとじかん
小学館	21世紀幼稚園百科6かずあそび1・2・3
小学館	21世紀幼稚園百科11からだのふしぎ
小学館	ドラえもんちずかん1につぼんちず
小学館	ドラえもんちずかん2せかいちず
小学館	あーとぶっくひらめき美術館第1館
小学館	あーとぶっくひらめき美術館第2館
小学館	ドラえもんの音楽おもしろ攻略リコーダーがふける
小学館	ドラえもんはじめての英語辞典改訂第2版
小学館	小児科医がつくったLD児・ADHD児のためのゆっくりさんすうプリント10までのかず
小学館	小児科医がつくったLD児・ADHD児のためゆっくりさんすうプリント100といくつまでのかず
小学館	マンガでわかるよのなかのルール
小学館	ドラえもんはじめての英語図鑑
女子栄養大	新・こどもクッキング
視覚デザイン	ハートアートシリーズ色のえほん

鈴木出版	知育えほんマークのずかん
育成会	自立生活ハンドブック4からだ！！げんき！？
育成会	自立生活ハンドブック5ぼなぺていどうぞめしあがれ
育成会	自立生活ハンドブック8食（しょく）
育成会	ひとりだち（2021年改訂版）
成美堂出版	DVDでひける！はじめてのピアノえほん2たのしいピアノのうた
成美堂出版	いちばんわかりやすい小学生のための学習世界地図帳
成美堂出版	いちばんわかりやすい小学生のための学習日本地図帳
成美堂出版	CDつき楽しく歌える英語のうた
成美堂出版	作ってみよう！リサイクル工作68
成美堂出版	CDつき小学生の英語レッスン絵でみて学ぼう英会話
成美堂出版	ちょうしんきつきからだずかん
成美堂出版	じぶんでよめる いきものずかん
世界文化社	写真でわかるなぜなに1どうぶつ
草思社	みんなのためのルールブックあたりまえだけど、とても大切なこと
草思社	考える力がつく算数脳パズルなぞべ〜1改訂版
大日本絵画	メロディーえほんI Cピアノえほん四季のどうようー12カ月
太郎次郎社	漢字がたのしくなる本シリーズ漢字がたのしくなる本ワーク1基本漢字あそび
太郎次郎社	漢字がたのしくなる本シリーズ漢字がたのしくなる本ワーク2あわせ漢字あそび
太郎次郎社	漢字がたのしくなる本シリーズ漢字がたのしくなる本ワーク3部首あそび
太郎次郎社	子どもがしあげる手づくり絵本あいうえおあそび上ひらがな50音
チャイルド	チャイルドブックこども百科になりたい！わくわく！おしごとずかん
チャイルド	ぬったりかいたりらくがきBOOK
童心社	かずのほん1どっちがたくさん
童心社	かずのほん20から10まで
童心社	かずのほん30から10までのたしざんひきざん
童心社	かこさとしからだの本2たべもののたび
童心社	14ひきのシリーズ14ひきのあさごはん
童心社	14ひきのシリーズ14ひきのびくにつく
童心社	ピーマン村の絵本たちさつまのおいも
童心社	ピーマン村の絵本たちおおきくなるっていうことは
童心社	ピーマン村の絵本たちよいいどん！
童心社	童心社の絵本じごくのそうべえ
童心社	おかあさんとみる性の本わたしのはなし
童心社	みずちやぽん
童心社	ごろんずっしりさつまいも
ドレミ楽譜	保育名歌こどものうた100選
ドレミ楽譜	やさしいこどものうたとあそび
東京書店	やさしくおれるたのしいおりがみ
東京書店	わくわく音あそびえほん 新装版にほんご★えいごおしゃべりタブレットえほん
戸田デザイン	和英えほん
戸田デザイン	1から100までのえほん
戸田デザイン	あいうえおえほん
戸田デザイン	A B C えほん
戸田デザイン	にっぽんちず絵本
戸田デザイン	せかいちず絵本
戸田デザイン	よみかた絵本
戸田デザイン	6つの色
戸田デザイン	とけいのえほん
戸田デザイン	昆虫とあそぼう
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」1（改訂版）（ひらがなのことば・文・文章の読み）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」2（改訂版）（かたかな・かん字の読み書き）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」3（改訂版）（文章を読む、作文・詩を書く）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための国語4
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編1（改訂版）（表象形成・音韻形成・発声・発音）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編2（改訂版）（ひらがなの読み書き）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」1（量概念の基礎、比較、なかま集め）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」2（1対1対応、1～5の数、5までのたし算）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3（6～9のたし算、ひき算、位取り）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」4（くり上がり、くり下がり、2けたの数の計算）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」5（3けたの数の計算、かけ算、わり算）
東洋館	改訂新版くらしに役立つ社会
東洋館	改訂新版くらしに役立つ国語
東洋館	改訂新版くらしに役立つ数学
東洋館	改訂新版くらしに役立つ理科
東洋館	改訂新版くらしに役立つ保健体育
東洋館	改訂新版くらしに役立つ家庭
ナツメ社	子どもの生きる力を育てるせいかつの絵じてん
日本教育研	ひとりだちするための国語
日本教育研	ひとりだちするための算数・数学
のら書店	はじめてのこうさくあそび
ひかりのく	認識絵本5いくつか

ひかりのく	認識絵本10おおきいちいさい
ひかりのく	こどものずかんM i o 9ひとのからだ
ひかりのく	こどものずかんM i o 10たべもの
ひかりのく	こどものずかんM i o 12きせつとしぜん
ひかりのく	202シリーズたべもの202
ひかりのく	改訂新版どうようえほん1
ひかりのく	改訂新版どうようえほん2
ひかりのく	改訂新版どうようえほん3
ひかりのく	改訂新版体験を広げるこどものずかん1どうぶつえん
ひかりのく	改訂新版体験を広げるこどものずかん4はなとやさい・くだもの
ひかりのく	改訂新版体験を広げるこどものずかん8あそびのずかん
ひかりのく	改訂新版体験を広げるこどものずかん9からだとけんこう
ひかりのく	はじめてのずかん4やさいとくだもの
ひかりのく	新装版K I D S 2 1 1 2たべものひやっか
ひかりのく	たのしいてあそびうたえほん
ひかりのく	どうようでおえかきできるどうようNEW絵かきうたブック
ひかりのく	マナーやルールがどんどんわかる！新装改訂版みちかなマーク
ひかりのく	手あそび指あそび歌あそびブック1
ひかりのく	あそびうたのほんCDつき
ひかりのく	改訂新版辞書びきえほん国旗
ひかりのく	改訂新版辞書びきえほんもののはじまり
ひかりのく	改訂新版辞書びきえほん日本地図
ひかりのく	てあらイーモウがイーモ
評論社	スカーリーおじさんのほたらく人たち
評論社	しかけ絵本の本棚コロちゃんはどこ？
評論社	しかけ絵本の本棚からだのなかとそと
評論社	ピーター・スピアーの絵本1せかいのひとびと
ひさかた	あかちゃんのための絵本はみがきしゅわしゅわ
ひさかた	ミーミとクークのえほんミーミとクークのあか・あお・きいろ
ひさかた	ミーミとクークのえほんミーミとクークの1・2・3
ひさかた	スキンシップ絵本かたかなアイウエオ
ひさかた	スキンシップ絵本かずのえほん
ひさかた	でんしゃでいこうでんしゃでかえろう
ひさかた	どうぞのいす
ひさかた	ねこのピートだいすきなしろいくつ
PHP	子どもの字がうまくなる練習ノート
福音館	ブルーナの絵本まる、しかく、さんかく
福音館	幼児絵本シリーズくだもの
福音館	幼児絵本シリーズやさい
福音館	幼児絵本シリーズやさいのおなか
福音館	かがくのとも絵本たべられるしょくぶつ
福音館	かがくのとも絵本きゅうきゅうばこ新版
福音館	かがくのとも絵本しんぶんしでつくろう
福音館	かがくのとも絵本かみであそぼうきる・おる
福音館	かがくのとも絵本みんなうんち
福音館	かがくのとも絵本かみコップでつくろう
福音館	かがくのとも絵本平野レミのおりょうりブック
福音館	かがくのとも絵本しゃぼんだまとあそぼう
福音館	福音館の科学シリーズ昆虫
福音館	福音館の科学シリーズ地球
福音館	福音館の科学シリーズ道ばたの四季
福音館	福音館の科学シリーズぼくらの地図旅行
福音館	福音館の科学シリーズどうぶつえんガイド
福音館	福音館の科学シリーズあそびのレシピ
福音館	福音館の科学シリーズただいまお仕事中
福音館	こどものとも絵本ぞうくんのさんぽ
福音館	ぐりとぐらの絵本ぐりとぐら
福音館	こどものとも絵本そらいろのたね
福音館	こどものとも絵本おおきなかぶ
福音館	こどものとも絵本はじめてのおつかい
福音館	安野光雅の絵本はじめてであうすうがくの絵本1
福音館	世界傑作絵本シリーズてぶくろ
福音館	世界傑作絵本シリーズプレーメンのおんがくたい
福音館	世界傑作絵本シリーズ三びきのやぎのがらがらどん
福音館	日本傑作絵本シリーズおふろだいすき
福音館	日本傑作絵本シリーズみんなであそぶわらべうた
福音館	日本傑作絵本シリーズドオン！
福音館	ぐりとぐらの絵本ぐりとぐらの1ねんかん
福音館	みちかなかがくシリーズ町の水族館・町の植物園
福音館	みちかなかがくシリーズ町たんけん
福音館	D o ! 図鑑シリーズ工作図鑑
福音館	こどものとも絵本めっきらもっきらどおんどん

福音館	D o ! 図鑑シリーズ生活図鑑
福音館	D o ! 図鑑シリーズ自由研究図鑑
福音館	福音館の単行本にほんご
福音館	幼児絵本シリーズもりのおふろ
福音館	福音館の単行本かがみのえほんふしぎなにじ
婦人之友	こどもがつくるたのしいお料理
婦人之友	よくみるよくきくよくする絵本たべものとかからだ
ブロンズ新	らくがきえほんあ・い・う・え・お
ブロンズ新	しごとば
ブロンズ新	続・しごとば
ブロンズ新	続々・しごとば
ブロンズ新	りんごかもしれない
文化出版局	どうぶつあれあれえほん第4集かくしたのだあれ
文研出版	ジョイフルえほん傑作集りんごがドスーン
文研出版	みるみる絵本もこもこもこ
文研出版	小学生からのなんでも法律相談5巻これから大人になるみなさんへ
福村出版	シリーズ生活を学ぶ1つくって食べよう
福村出版	シリーズ生活を学ぶ5遠くへ行きたいな
福村出版	シリーズ生活を学ぶ6わたしたちのからだ
フレーベル館	たいせつなこと
平凡社	新版はじめましてにほんちず
ポプラ	こども和英じてん
ポプラ	あそびのひろば1はんがあそび
ポプラ	あそびのひろば2やさしいてづくりのプレゼント
ポプラ	あそびのひろば4はりえあそび
ポプラ	あそびのひろば8らくがきあそび
ポプラ	ペーパーランド3とびだすカード
ポプラ	ペーパーランド8おりがみえあそび
ポプラ	ねずみくんの絵本1ねずみくんのチョッキ
ポプラ	クーとマーのおぼえるえほん1ぼくのいろなあに
ポプラ	絵本・いつでもいっしょ2どうぶつなんびき?
ポプラ	毎日かんさつ!ぐんぐんそだつはじめてのやさいづくり〈7〉ジャガイモ・サツマイモをそだてよう
むぎ書房	わかるさんすう2
山と溪谷社	家庭科の教科書小学校低学年～高学年用
理論社	あいうえおうさま
理論社	こどものための防災教室身の守りかたがわかる本
理論社	こどものための もしもマニュアル「きんきゅうじたいにつかうもの」がわかる本 町の中編
理論社	紙コップで作ろう! とび出す紙コップ工作 ※R9追加
リーブル	あっちゃんあがつくたべものあいうえお
リーブル	しりとりしましょ!たべものあいうえお
明石書店	イラスト版子どもの認知行動療法2だいじょうぶ自分でできる怒りの消化法ワークブック【第2版】
岩波書店	だれでもアーティスト
いかだ社	音が出るおもちゃ&楽器あそび
大泉書店	だいじだいじどーこだ?はじめての「からだ」と「性」のえほん
交通新聞	でんしゃでおぼえる!はじめてのおかいものブック
サンマーク	いのちのまつりヌチヌグスージ
少年写真新	ドキドキワクワク性教育(3)女の子が大人になるとき
ジャムハウ	最新版・親子で学ぶインターネットの安全ルール小学生・中学生編
高橋書店	たのしい!さんすうのふしぎなぜ?どうして?1・2年生
大日本図書	ゆめのかなえかた
汐文社	和楽器にチャレンジ!1和太鼓を打ってみよう
汐文社	5回で折れる季節と行事のおりがみ4ふゆ～サント・てぶくろ・おにほかへ
汐文社	あいての気持ちを考えて話そうちくことば・ふわふわことば3あいてがすきなものに「どこがいいの?」!?ほか
汐文社	リサイクルで地球を救う追跡!ごみの大変身3野菜くずがクレヨンに!ほか
汐文社	それって決めつけじゃない!?アンコンシャス・バイアス 1巻男子なら虫がさわれる!?ほか
汐文社	きみも言ったことがあるかも?ちくちくことば・ふわふわことば 言いかえじてん ①自分の意見や考えを言いたいとき ※R9追加
永岡書店	都道府県かるた
永岡書店	〔オリジナル版〕カラーモンスターきもちはなにいろ?
日本図書	おやくそくえほんはじめての「よのなかルールブック」
日本図書	自分でつくっちゃおう!かんたん手づくり防災グッズ 1準備編
白泉社	A B C パーティ
パイインタ	はじめてのさがしておぼえるえいごのことば
ポトス出版	I a mはじめてであう英語の絵本
ほるぷ	単位がわかるメートルのえほん
光村教育	語彙を広げる!書いて、話して、伝わることば1巻
明治図書	グレーゾーンの子どもに対応した算数ワーク初級編1
ロクリン社	名画で遊ぶあそびじゅつ!絵が語る歴史と物語
埼玉福祉会	仕事に行ってきます1クッキーづくりの仕事洋美さんの1日
埼玉福祉会	仕事に行ってきますプラス1休けい上手になろう
東京書籍	目でみるえいごのずかん ※R9追加
新日本出版社	こころとかからだの不安によりそう 性ってなんだろう? 3子どもから大人へ、どう変わるの? ※R9追加
弘文堂	こども六法(第2版) ※R9追加

令和9年度使用特別支援学校 高等部 教科用図書の採択について

別紙2

(1) 高等学校用文部科学省検定済教科書
以下のとおり、採択する。

107 点

第1部:学習指導要領(平成30年告示)に基づいて編成された教科書
第2部:学習指導要領(平成21年告示)に基づいて編成された教科書

教科	学指	種目	発行者	書名	選定校数
国語	第1部	現代の国語	東京書籍	新編現代の国語	1
			東京書籍	現代の国語	1
			大修館書店	新編 現代の国語 改訂版	3
			第一学習社	現代の国語 改訂版	1
			第一学習社	高等学校 新編現代の国語	1
		言語文化	東京書籍	新編言語文化	1
			大修館書店	言語文化 改訂版	1
			大修館書店	新編 言語文化 改訂版	3
			数研出版	改訂版 高等学校 言語文化	1
			第一学習社	高等学校 新編言語文化	1
		論理国語	大修館書店	新編 論理国語 改訂版	1
			第一学習社	高等学校 改訂版 標準論理国語	1
		文学国語	大修館書店	新編 文学国語 改訂版	2
		国語表現	大修館書店	国語表現 改訂版	4
		古典探究	東京書籍	新編古典探究	1
			大修館書店	精選 古典探究 改訂版	1
地理歴史	第1部	地理総合	東京書籍	地理総合	1
			実教出版	新選地理総合 welcome to geography	1
			帝国書院	高校生の地理総合	3
		地理探究	東京書籍	地理探究	3
			帝国書院	新詳地理探究	1
		歴史総合	東京書籍	歴史総合	1
			実教出版	詳述歴史総合 新訂版	1
			山川学習社	わたしたちの歴史 日本から世界へ 改訂版	1
		日本史探究	東京書籍	日本史探究	3
			山川学習社	高校日本史 改訂版	1
		世界史探究	東京書籍	世界史探究	2
			帝国書院	新詳世界史探究	1
			山川学習社	高校世界史 改訂版	1
		地図	帝国書院	新詳高等地図	1
			帝国書院	標準高等地図	2

公民	第1部	公共	清水書院	改訂版 私たちの公共	2
			第一学習社	高等学校 改訂版 公共	1
			第一学習社	高等学校 改訂版 新公共	2
			第一学習社	高等学校 新公共	1
		倫理	東京書籍	倫理	1
			第一学習社	高等学校 改訂版 倫理	1
		政治・経済	東京書籍	政治・経済	1
			第一学習社	高等学校 改訂版 政治・経済	1
数学	第1部	数学Ⅰ	東京書籍	改訂版 数学Ⅰ Standard	1
			東京書籍	改訂版 新数学Ⅰ	2
			東京書籍	改訂版 新数学Ⅰ 解答編	2
			実教出版	高校数学Ⅰ 新訂版	2
			数研出版	改訂版 新編 数学Ⅰ	2
			数研出版	改訂版 新 高校の数学Ⅰ	1
		数学Ⅱ	実教出版	新編数学Ⅱ Flex	1
			数研出版	改訂版 新編 数学Ⅱ	1
			数研出版	改訂版 新 高校の数学Ⅱ	1
		数学A	東京書籍	改訂版 数学A Standard	1
			実教出版	新編数学A Flex	1
			実教出版	高校数学A 新訂版	1
			数研出版	改訂版 新編 数学A	1
			数研出版	改訂版 新 高校の数学A	1
		数学B	実教出版	新編数学B Flex	1
			数研出版	改訂版 新編 数学B	1
			数研出版	改訂版 新 高校の数学B	1
		数学C	実教出版	新編数学C Flex	1
			数研出版	改訂版 高等学校 数学C	1
理科	第1部	科学と人間生活	実教出版	科学と人間生活 新訂版	1
			啓林館	高等学校 科学と人間生活 改訂版	1
			数研出版	改訂版 科学と人間生活	3
		物理基礎	東京書籍	改訂 新編物理基礎	2
		化学基礎	東京書籍	改訂 新編化学基礎	3
			実教出版	高校化学基礎 visual	2
		生物基礎	東京書籍	改訂 生物基礎	1
			東京書籍	改訂 新編生物基礎	2
			実教出版	生物基礎 新訂版	1
			実教出版	高校生物基礎 visual	2
		地学基礎	東京書籍	改訂 地学基礎	1
保健体育	第1部	保健体育	大修館書店	現代高等保健体育 改訂版	4
			大修館書店	新高等保健体育 改訂版	2

芸術	第1部	音楽Ⅰ	教育出版社	MOUSA 1	2
			教育芸術社	高校生の音楽 1	1
			大修館書店	音楽Ⅰ 改訂版 T u t t i +	2
		美術Ⅰ	光村図書	美術 1	3
			日本文教出版	新・高校生の美術 1	2
外国語	第1部	英語コミュニケーションⅠ	東京書籍	All Aboard! English Communication I Revised	3
			東京書籍	Power On English Communication I Revised	1
			開隆堂	Revised Amity English Communication I	1
			三省堂	VISTA English Communication I New Edition	1
			第一学習社	Vivid English Communication I New Edition	1
		英語コミュニケーションⅡ	東京書籍	All Aboard! English Communication II Revised	1
			開隆堂	Revised Amity English Communication II	1
		英語コミュニケーションⅢ	東京書籍	All Aboard! English Communication III	1
			開隆堂	APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION III	1
		論理・表現Ⅰ	開隆堂	Revised Amity English Logic and Expression I	1
			三省堂	MY WAY Logic and Expression I New Edition	2
		論理・表現Ⅱ	開隆堂	Revised Amity English Logic and Expression II	1
			開隆堂	Revised Applause English Logic and Expression II	1
			三省堂	MY WAY Logic and Expression II New Edition	1
		論理・表現Ⅲ	三省堂	APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION III	1
			三省堂	MY WAY Logic and Expression III	1
家庭	第1部	家庭基礎	東京書籍	家庭基礎 自立・共生・創造	3
			教育図書	Survive!! 高等学校 家庭基礎【改訂版】	1
			実教出版	新図説家庭基礎	1
		家庭総合	東京書籍	家庭総合 自立・共生・創造	1
情報	第1部	情報Ⅰ	実教出版	情報Ⅰ Flex	1
			日本文教出版	情報Ⅰ 図解と実習－図解編－ 情報Ⅰ 図解と実習－実習編－	2
			第一学習社	高等学校 改訂版 情報Ⅰ	1
工業	第1部	工業	実教出版	工業技術基礎	2
			実教出版	工業情報数理 新訂版	2
			海文堂出版	インテリアエレメント生産	1
家庭	第1部	家庭（専門）	実教出版	生活産業情報	2
			実教出版	ファッション造形基礎	2
			教育図書	フードデザイン Food Changes LIFE	2
			実教出版	保育実践	1
			実教出版	ファッションデザイン	1

(2) 学校設定教科で使用する学校教育法附則第9条による一般図書 5 点

以下のとおり、採択する。

教科	種目	発行者	書名	選定校数
産業社会と人間	産業社会と人間	全国手をつなぐ育成会連合会	障害のある人が使える支援	1
		学事出版	産業社会と人間 四訂版 よりよき高校生活のために	1
情報	情報実習	実教出版	全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集 3級	1
	情報表現	とうほう	全商情報処理検定試験パスポート 3級	1
ワーキングタイム	ワーキングタイム	東洋館	くらしに役立つソーシャルスキル-よりよく暮らす・働く・楽しむ-	1

(3) 学校教育法附則第9条による一般図書

(特別支援学校小学部・中学部文部科学省著作教科書) 55 点

以下のとおり、採択する。

区分	発行者	書名
視覚障害者用	日点	社会（公民）1～12
	東点	理科3-1～11
	東点	英語3-1～7
知的障害者用	東京書籍	こくご☆
		こくご☆☆
		こくご☆☆☆
		国語☆☆☆☆
		国語☆☆☆☆☆
	東京書籍	社会☆☆☆☆
		社会☆☆☆☆☆
	教育出版社	さんすう☆
		さんすう☆☆（1）
		さんすう☆☆（2）
		さんすう☆☆☆
		数学☆☆☆☆
		数学☆☆☆☆☆
	東京書籍	理科☆☆☆☆
		理科☆☆☆☆☆
	東京書籍	せいかつ☆
		せいかつ☆☆
		せいかつ☆☆☆

	東京書籍	おんがく☆
		おんがく☆☆
		おんがく☆☆☆
		音楽☆☆☆☆
		音楽☆☆☆☆☆
	東京書籍	職業・家庭☆☆☆☆
		職業・家庭☆☆☆☆☆

(4) 学校教育法附則第9条による一般図書

(知的障がい特別支援学校高等部において使用する文部科学省検定済教科書) 18 点

以下のとおり、採択する。

発行者	書 名	選定校数
山川出版社	(第1部) 基本地図帳 改訂版	1
大修館書店	(第2部) 現代高等保健体育 改訂版	1
大修館書店	(第1部) 音楽Ⅰ 改訂版 T u t t i +	5
教育芸術社	(第1部) 高校生の音楽 1	3
教育芸術社	(第1部) MOU S A 1	3
光村図書	(第1部) 美術 1	6
日本文教出版	(第1部) 新・高校生の美術 1	2
日本文教出版	(第1部) 高校生の美術 1	1
日文	(第1部) 高校美術	1
光村図書	(第1部) 美術 2	1
東京書籍	(第1部) 家庭総合 自立・共生・創造	1
実教出版	(第1部) 情報Ⅰ Flex	1
実教出版	(第1部) 図説情報Ⅰ 新訂版	1
日本文教出版	(第1部) 情報Ⅰ 図解と実習-図解編	1
日本文教出版	(第1部) 情報Ⅰ 図解と実習-実習編	1
教育出版	中学校 中学社会 公民 ともに生きる	1
東京書籍	中学校 新編 新しい科学 3	1
教育出版	中学校 ONE WORLD English Course 3	1

(第1部): 高等学校学習指導要領(平成30年告示)に基づいて編成された教科書

(第2部): 高等学校学習指導要領(平成21年告示)に基づいて編成された教科書

- (5) 学校教育法附則第9条による一般図書 470点
 (島根県教育委員会選定一般図書一覧 427点、学校選定図書※太線以下 43点)
 以下のとおり、採択する。

発 行 者 名	図 書 名
あかね書房	単行本さわってあそぼうふわふわあひる
あかね書房	もじのえほんあいうえお
あかね書房	もじのえほんかたかなアイウエオ
あかね書房	もじのえほんかんじ (1)
あかね書房	もじのえほんかんじ (2)
あかね書房	あかねえほんシリーズかたちのえほんまる・さんかく・しかくさん
あかね書房	あかねえほんシリーズえほんえかきうた
あかね書房	けんちゃんとあそぼう 1 のってのって
あかね書房	けんちゃんとあそぼう 3 まねっこまねっこ
あかね書房	くりのきえんのおともだち 2 あしたえんそくだから
あかね書房	からだのえほん 4 からだにもしもし
あかね書房	かばくん・くらしのえほん 1 かばくんのいちにち
あかね書房	かばくん・くらしのえほん 2 かばくんのおかいもの
あかね書房	あかね書房の学習えほんあそぼうあそぼうあいうえお
あかね書房	あかね書房の学習えほんおかあさんだいすき 1. 2. 3
あかね書房	あかね書房の学習えほんことばのえほん A B C
あかね書房	あかね書房の学習えほんかたかなえほんアイウエオ
あかね書房	あかね書房の学習えほんえいごえほんぞうさんのピクニック
あかね書房	あかね書房の学習えほんえいごえほんぞうさんがっこうに行く
あかね書房	新・心が元気になる本 (1) 自分にイライラ、どうしよう? 自分の気持ちや性格の悩み ※R9追加
岩崎書店	あそびの絵本ねんどあそび
岩崎書店	あそびの絵本クレヨンあそび
岩崎書店	あそびの絵本紙ねんどあそび
岩崎書店	あそびの絵本えのぐあそび
岩崎書店	あそびの絵本えかきあそび
岩崎書店	知識の絵本ひとのからだ
岩崎書店	かいかたそだてかたずかん 4 やさいのうえかたそだてかた
岩崎書店	五味太郎のことばとかずの絵本漢字の絵本
岩崎書店	五味太郎のことばとかずの絵本絵本 A B C
岩崎書店	五味太郎のことばとかずの絵本ことばのあいうえお
岩崎書店	五味太郎のことばとかずの絵本かずの絵本
岩崎書店	五味太郎のことばとかずの絵本すうじの絵本
岩崎書店	絵本図鑑シリーズ 8 やさいのずかん
岩崎書店	絵本図鑑シリーズ 1 2 のはらのずかんー野の花と虫たちー
岩崎書店	ひとりりでできる手づくり B O X しぜんで工作しよう
岩崎書店	時計がわかる本
岩崎書店	おすしやさんにいらっしやい!生きものが食べものになるまで
岩崎書店	カラフル
絵本館	五味太郎の絵本 9 いろ
絵本館	五味太郎の絵本 1 0 かたち
絵本館	五味太郎の絵本かずのえほん 1・2・3
大阪教育図	からだで学ぶ英語教室
旺文社	学校では教えてくれない大切なこと (2) 友だち関係 (自分と仲良く)
旺文社	学校では教えてくれない大切なこと (6) 友だち関係 (気持ちの伝え方)
偕成社	エリック・カールかずのほん 1, 2, 3 どうぶつえんへ
偕成社	ことばをおぼえる本かず・かたち・いろあいうえお
偕成社	ノンタンあそぼうよ (1) ノンタンぶらんこのせて
偕成社	ノンタンあそぼうよ (8) ノンタンあわぶくぷくぷくぷう
偕成社	エンバリーおじさんの絵かきえほんしもんスタンプでかいてみよう
偕成社	日本むかし話おむすびころりん
偕成社	子どもの健康を考える絵本 (4) からだがすきなたべものなあに?
偕成社	子どもの健康を考える絵本 (5) こんなときどうするの?
偕成社	1 0 0 かいだてのいえシリーズ 1 0 0 かいだてのいえ
偕成社	五味太郎・言葉図鑑 (1) うごきのことば

偕成社	五味太郎・言葉図鑑（3）かざることば（A）
偕成社	五味太郎・言葉図鑑（5）つなぎのことば
偕成社	五味太郎・言葉図鑑（6）くらしのことば
偕成社	五味太郎・言葉図鑑（10）なまえのことば
偕成社	赤ちゃん版ノンタン（2）ノンタンもぐもぐもぐ
偕成社	子どもの生活（3）マナーをきちんとおぼえよう！
偕成社	子どもの生活（6）じょうぶなからだになれるよ！
偕成社	あかちゃんのおそびえほん（1）ごあいさつあそび
偕成社	あかちゃんのおそびえほん（2）いないいないばああそび
偕成社	あかちゃんのおそびえほん（3）いただきますあそび
偕成社	あかちゃんのおそびえほん（4）ひとりでうんちできるかな
偕成社	あかちゃんのおそびえほん（6）いいおへんじできるかな
偕成社	安全のしつけ絵本（1）きをつけようね
偕成社	エリック・カールの絵本はらぺこあおむし
偕成社	エリック・カールの絵本うたがみえるきこえるよ
偕成社	エリック・カールの絵本（ぬりえ絵本）わたしだけのはらぺこあおむし
偕成社	エリック・カールの絵本くまさんくまさんなみてるの？
偕成社	エリック・カールの絵本（ぬりえ絵本）ごちゃまぜカメレオン
偕成社	エリック・カールの絵本月ようびはなにたべる？ーアメリカのわらべうた
偕成社	エリック・カールの絵本できるかな？ーあたまからつまさきまでー
偕成社	五味太郎の絵本わにさんどきっはいしゃさんどきっ
偕成社	五味太郎・しかけ絵本（1）きいろいのはちょうちょ
偕成社	木村裕一・しかけ絵本（1）みんなみんなみ一つけた
偕成社	木村裕一・しかけ絵本（12）げんきにごあいさつ
偕成社	坂本廣子のひとりでクッキング（1）朝ごはんつくろう！
偕成社	坂本廣子のひとりでクッキング（2）昼ごはんつくろう！
偕成社	坂本廣子のひとりでクッキング（7）おべんとうつくろう！
偕成社	ともだちだいすき（2）おべんとうなあに？
偕成社	子どものマナー図鑑（1）ふだんの生活のマナー
偕成社	子どものマナー図鑑（3）でかけるときのマナー
偕成社	かこさとしうつくしい絵
偕成社	10+1人の絵本作家オリジナルソング集うたのパレット
偕成社	「おれたち、ともだち！」絵本ともだちや
偕成社	100かいだてのいえシリーズうみの100かいだてのいえ
偕成社	100かいだてのいえシリーズちか100かいだてのいえ
偕成社	かんたんおぼけ工作おぼけのレストランであそぼう！
偕成社	かんたんおぼけ工作（3） おぼけのえんにちであそぼう！ ※R9追加
学研	はっけんずかんのりもの改訂版
学研	あそびのおうさまBOOKはじめてぬるほん
学研	あそびのおうさまBOOKはじめてきるほん
学研	あそびのおうさまBOOKどんどんぬるほん
学研	あそびのおうさまずかんからだ増補改訂
学研	あそびのおうさまずかんリサイクルこうさく増補改訂
学研	さわって学べる算数図鑑
学研	ほんとおおきさほんとおおきさ動物園
学研	あそびのおうさまBOOKぬって
学研	あそびのおうさまBOOKはって
学研	一生つかえる！おももりルールえほん ネットのぼうはん
開隆堂出版	職業・家庭たのしい職業科わたしの夢につながる
開隆堂出版	職業・家庭たのしい家庭科わたしのくらしに生かす
金の星社	あかちゃんとおかあさんの絵本ハティちゃんのいち・に・さん
金の星社	あかちゃんとおかあさんの絵本ハティちゃんのまる・さんかく・しかく
金の星社	あかちゃんとおかあさんの絵本このいろいろなあに
金の星社	やさしいからだのえほん1からだのなかはどうなっているの？
金の星社	ひとりでできるもん！1たのしいたまご料理
金の星社	ひとりでできるもん！4うれしいごはん、パン、めん料理
金の星社	ひとりでできるもん！5すてきなおかし作り
金の星社	ひとりでできるもん！6だいすきおやつ作り
金の星社	ひとりでできるもん！10おしゃれなおかし作り

金の星社	やさしいからだのえほん4むしばはどうしてできるの？
金の星社	げんきをつくる食育えほん1たべるのだいすき！
金の星社	はじめてのちずえほんたべものちずのえほん
金の星社	やさしくわかるぼうさい・ぼうはんのえほんじしん・つなみどうするの？
金の星社	おとのでる♪えいごのうたえほん
金の星社	ただしいもちかたの絵本
金の星社	おてつだいの絵本
金の星社	きゅうきゅうばこの絵本
金の星社	おいしい！ふしぎ！理科実験スイーツ こおる・わかれるひんやりスイーツ
金の星社	ただしいかぞえかたの絵本 ※R9追加
金の星社	おいしゃさんにいくときの絵本 ※R9追加
教芸	5訂版歌はともだち
教育画劇	つくってたべよう！お料理マジック2
くもん出版	もじ・ことば1 はじめてのひらがな1集
くもん出版	もじ・ことば3 やさしいひらがな1集
くもん出版	もじ・ことば1 1 はじめてのかん字
くもん出版	生活図鑑カードたべものカード
くもん出版	生活図鑑カードくだものやさいカード1集
くもん出版	生活図鑑カードお店カード
くもん出版	生活図鑑カード生活道具カード
くもん出版	書きかたカード「ひらがな」
くもん出版	ひらがなカード
くもん出版	とけいカード
くもん出版	かずカード
くもん出版	おけいこはじめてのおけいこ
くもん出版	C D付き英語カードあいさつと話しことば編
くもん出版	C D付き楽器カード
くもん出版	時計のみかたが楽しくわかるくろくまくんのとけいえほん
くもん出版	あいうえおべんとう
くもん出版	100円たんけん
くもん出版	すきなことにがてなこと
グランママ	ぼくとわたしのせいかつえほん
グランママ	うたえほん
グランママ	うたえほんⅡ
グランママ	ことばえほん
講談社	講談社の年齢で選ぶ知育絵本4・5・6さいのきもちをつたえることばのえほん
講談社	ブルーナのアイディアブックミッフィーの1から10まで
講談社	米村でんじろうのDVDでわかるおもしろ実験！！
好学社	レオ・レオニの絵本スイミー
国土社	たのしい図画工作9 うごくおもちゃ
国土社	たのしい図画工作14 こすりだし・すりだし
国土社	たのしい図画工作16 ちぎり紙・きり紙・はり絵
国土社	はじめてでもかんたん！日本の料理
国土社	ルールとマナーを学ぶ子ども生活図鑑（1）家庭生活編
国土社	立体地図で見る日本の国土とくらし（3）低い土地や寒い土地のくらしと平野・川
国土社	国土社のLLブックマシロさんとユウリさんの今日もきちんと身だしなみ
国土社	図画工作deたのしい作品づくり紙そめ
国土社	図画工作deたのしい作品づくり 第3期 光をつかった造形 ※R9追加
こぐま社	こぐまちゃんえほん第1集こぐまちゃんおはよう
こぐま社	こぐまちゃんえほん第2集こぐまちゃんのみずあそび
こぐま社	こぐまちゃんえほん第3集しろくまちゃんのほっとけーき
こぐま社	ぶうとびよんのえほんおんなじおんなじ
こぐま社	ことばあそびの絵本ぶたたぬききつねねこ
こぐま社	こぐまちゃんえほん別冊さよならさんかく
こぐま社	馬場のぼるのえほん11びきのねこ
こぐま社	柳原良平のえほんかおかおどんなかお
小峰書店	りかのこうさく1ねんせい
小峰書店	くまたんのはじめてシリーズよめるよよめるよあいうえお
小峰書店	くまたんのはじめてシリーズおいしいおいしい1・2・3

小峰書店	東京パノラマたんけん
小峰書店	リサイクル工作ずかん
小峰書店	筆であそぼう書道入門 2 さあ、筆で書いてみよう
小峰書店	かんたん手芸 3 ねんどでつくろう
合同出版	子どもとマスターする 4 9 の生活技術イラスト版手のしごと
合同出版	子どもとマスターする 4 5 の操体法改訂新版イラスト版からだのつかい方ととのえ方
合同出版	運動が得意になる 4 3 の基本レッスンイラスト版体育のコツ
合同出版	絵でわかるこどものせいかつずかん 1 みのまわりのきほん
合同出版	絵でわかるこどものせいかつずかん 4 おつきあいのきほん
合同出版	絵でわかるこどものせいかつずかん 3 おでかけのきほん
合同出版	子どもとマスターする 5 4 の生活技術イラスト版修理のこつ
合同出版	イラスト版気持ちの伝え方コミュニケーションに自信がつく 4 4 のトレーニング
こばと	中級編ジャンプアップとけい・おかね・カレンダー
コクヨ	かおノート
さえら	たのしい工作教室たのしいこうさくきょうしつ
さえら	たのしい工作教室木のぞうけい教室
さえら	母と子の手づくり教室母と子の園芸教室野菜をつくろう
三省堂	三省堂こどもかずの絵じてん改訂版
三省堂	こどもきせつのぎょうじ絵じてん第2版小型版
三省堂	親子でうたう英語うたの絵じてん
三省堂	三省堂ことばつかいかた絵じてん増補新装版小型版
三省堂	こどもマナーとけいご絵じてん
三省堂	こどもしごと絵じてん
三省堂	こどもりょうりのことば絵じてん
小学館	21世紀幼稚園百科2とけいとじかん
小学館	21世紀幼稚園百科6かずあそび1・2・3
小学館	21世紀幼稚園百科11からだのふしぎ
小学館	ドラえもんちずかん1につぼんちず
小学館	ドラえもんちずかん2せかいちず
小学館	あーとぶっくひらめき美術館第1館
小学館	あーとぶっくひらめき美術館第2館
小学館	ドラえもんの音楽おもしろ攻略リコーダーがふける
小学館	ドラえもんはじめての英語辞典改訂第2版
小学館	小児科医がつくったLD児・ADHD児のためのゆっくりさんすうプリント10までのかず
小学館	小児科医がつくったLD児・ADHD児のためゆっくりさんすうプリント100といくつまでのかず
小学館	マンガでわかるよのなかのルール
小学館	ドラえもんはじめての英語図鑑
女子栄養大	新・こどもクッキング
視覚デザイン	ハートアートシリーズ色のえほん
鈴木出版	知育えほんマークのずかん
育成会	自立生活ハンドブック4からだ！！げんき！？
育成会	自立生活ハンドブック5ぼなべていどうぞめしあがれ
育成会	自立生活ハンドブック8食（しょく）
育成会	ひとりだち（2021年改訂版）
成美堂出版	DVDでひける！はじめてのピアノえほん2たのしいピアノのうた
成美堂出版	いちばんわかりやすい小学生のための学習世界地図帳
成美堂出版	いちばんわかりやすい小学生のための学習日本地図帳
成美堂出版	CDつき楽しく歌える英語のうた
成美堂出版	作ってみよう！リサイクル工作68
成美堂出版	CDつき小学生の英語レッスン絵でみて学ぼう英会話
成美堂出版	ちょうしんきつきからだずかん
成美堂出版	じぶんでよめる いきものずかん
世界文化社	写真でわかるなぜなに1どうぶつ
草思社	みんなのためのルールブックあたりまえだけど、とても大切なこと
草思社	考える力がつく算数脳パズルなぞぺー1改訂版
大日本絵画	メロディーえほんICピアノえほん四季のどうようー12カ月
太郎次郎社	漢字がたのしくなる本シリーズ漢字がたのしくなる本ワーク1基本漢字あそび
太郎次郎社	漢字がたのしくなる本シリーズ漢字がたのしくなる本ワーク2あわせ漢字あそび
太郎次郎社	漢字がたのしくなる本シリーズ漢字がたのしくなる本ワーク3部首あそび

太郎次郎社	子どもがしあげる手づくり絵本あいうえおあそび上ひらがな50音
チャイルド	チャイルドブックこども百科なりたい！わくわく！おしごとずかん
チャイルド	ぬったりかいたりらくがきBOOK
童心社	かずのほん1 どっちがたくさん
童心社	かずのほん20から10まで
童心社	かずのほん30から10までのたしざんひきざん
童心社	かこさとしからだの本2たべもののたび
童心社	14ひきのシリーズ14ひきのあさごはん
童心社	14ひきのシリーズ14ひきのぴくにつく
童心社	ピーマン村の絵本たちさつまのおいも
童心社	ピーマン村の絵本たちおおきくなるっていうことは
童心社	ピーマン村の絵本たちよーいどん！
童心社	童心社の絵本じごくのそうべえ
童心社	おかあさんとみる性の本わたしのはなし
童心社	みずちやぽん
童心社	ごろんずっしりさつまいも
ドレミ楽譜	保育名歌こどものうた100選
ドレミ楽譜	やさしいこどものうたとあそび
東京書店	やさしくおれるたのしいおりがみ
東京書店	わくわく音あそびえほん 新装版にほんご★えいごおしゃべりタブレットえほん
戸田デザイン	和英えほん
戸田デザイン	1から100までのえほん
戸田デザイン	あいうえおえほん
戸田デザイン	ABCえほん
戸田デザイン	にっぽんちず絵本
戸田デザイン	せかいちず絵本
戸田デザイン	よみかた絵本
戸田デザイン	6つの色
戸田デザイン	とけいのえほん
戸田デザイン	昆虫とあそぼう
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」1（改訂版）（ひらがなのことば・文・文章の読み）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」2（改訂版）（かたかな・かん字の読み書き）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」3（改訂版）（文章を読む、作文・詩を書く）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための国語4
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編1（改訂版）（表象形成・音韻形成・発声・発音）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編2（改訂版）（ひらがなの読み書き）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」1（量概念の基礎、比較、なかま集め）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」2（1対1対応、1～5の数、5までのたし算）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3（6～9のたし算、ひき算、位取り）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」4（くり上がり、くり下がり、2けたの数の計算）
同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」5（3けたの数の計算、かけ算、わり算）
東洋館	改訂新版くらしに役立つ社会
東洋館	改訂新版くらしに役立つ国語
東洋館	改訂新版くらしに役立つ数学
東洋館	改訂新版くらしに役立つ理科
東洋館	改訂新版くらしに役立つ保健体育
東洋館	改訂新版くらしに役立つ家庭
ナツメ社	子どもの生きる力を育てるせいかつの絵じてん
日本教育研	ひとりだちするための国語
日本教育研	ひとりだちするための算数・数学
のら書店	はじめてのこうさくあそび
ひかりのく	認識絵本5いくつかな
ひかりのく	認識絵本10おおきいちさい
ひかりのく	こどものずかんMio9ひとのからだ
ひかりのく	こどものずかんMio10たべもの
ひかりのく	こどものずかんMio12きせつとしぜん
ひかりのく	202シリーズたべもの202
ひかりのく	改訂新版どうようえほん1
ひかりのく	改訂新版どうようえほん2

ひかりのく	改訂新版どうようえほん3
ひかりのく	改訂新版体験を広げるこどものずかん1 どうぶつえん
ひかりのく	改訂新版体験を広げるこどものずかん4 はなとやさい・くだもの
ひかりのく	改訂新版体験を広げるこどものずかん8 あそびのずかん
ひかりのく	改訂新版体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう
ひかりのく	はじめてのずかん4 やさいとくだもの
ひかりのく	新装版KIDS 2112 たべものひやか
ひかりのく	たのしいてあそびうたえほん
ひかりのく	どうようでおえかきできるどうようNEW絵かきうたブック
ひかりのく	マナーやルールがどんどんわかる！新装改訂版みちかなマーク
ひかりのく	手あそび指あそび歌あそびブック1
ひかりのく	あそびうたのほんCDつき
ひかりのく	改訂新版辞書びきえほん国旗
ひかりのく	改訂新版辞書びきえほんもののはじまり
ひかりのく	改訂新版辞書びきえほん日本地図
ひかりのく	てあらイーモうがイーモ
評論社	スカーリーおじさんのはたらく人たち
評論社	しかけ絵本の本棚コロちゃんはどこ？
評論社	しかけ絵本の本棚からだのなかとそと
評論社	ピーター・スピアーの絵本1 せかいのひとびと
ひさかた	あかちゃんのための絵本はみがきしゅわしゅわ
ひさかた	ミーミとクークのえほんミーミとクークのあか・あお・きいろ
ひさかた	ミーミとクークのえほんミーミとクークの1・2・3
ひさかた	スキンシップ絵本かたかなアイウエオ
ひさかた	スキンシップ絵本かずのえほん
ひさかた	でんしゃでいこうでんしゃでかえろう
ひさかた	どうぞのいす
ひさかた	ねこのピートだいすきなしろいくつ
PHP	子どもの字がうまくなる練習ノート
福音館	ブルーナの絵本まる、しかく、さんかく
福音館	幼児絵本シリーズくだもの
福音館	幼児絵本シリーズやさい
福音館	幼児絵本シリーズやさいのおなか
福音館	かがくのとも絵本たべられるしょくぶつ
福音館	かがくのとも絵本きゅうきゅうばこ新版
福音館	かがくのとも絵本しんぶんしでつくろう
福音館	かがくのとも絵本かみであそぼうきる・おる
福音館	かがくのとも絵本みんなうんち
福音館	かがくのとも絵本かみコップでつくろう
福音館	かがくのとも絵本平野レミのおりょうりブック
福音館	かがくのとも絵本しゃぼんだまとあそぼう
福音館	福音館の科学シリーズ昆虫
福音館	福音館の科学シリーズ地球
福音館	福音館の科学シリーズ道ばたの四季
福音館	福音館の科学シリーズぼくらの地図旅行
福音館	福音館の科学シリーズどうぶつえんガイド
福音館	福音館の科学シリーズあそびのレシピ
福音館	福音館の科学シリーズただいまお仕事中
福音館	こどものとも絵本ぞうくんのさんぽ
福音館	ぐりとぐらの絵本ぐりとぐら
福音館	こどものとも絵本そらいろのたね
福音館	こどものとも絵本おおきなかぶ
福音館	こどものとも絵本はじめてのおつかい
福音館	安野光雅の絵本はじめてであうすうがくの絵本1
福音館	世界傑作絵本シリーズてぶくろ
福音館	世界傑作絵本シリーズブレーメンのおんがくたい
福音館	世界傑作絵本シリーズ三びきのやぎのがらがらどん
福音館	日本傑作絵本シリーズおふろだいすき
福音館	日本傑作絵本シリーズみんなであそぼわらべうた

福音館	日本傑作絵本シリーズドオン！
福音館	ぐりとぐらの絵本ぐりとぐらの1ねんかん
福音館	みぢかなかがくシリーズ町の水族館・町の植物園
福音館	みぢかなかがくシリーズ町たんけん
福音館	D o ! 図鑑シリーズ工作図鑑
福音館	こどものとも絵本めっきらもっきらどおんどん
福音館	D o ! 図鑑シリーズ生活図鑑
福音館	D o ! 図鑑シリーズ自由研究図鑑
福音館	福音館の単行本にほんご
福音館	幼児絵本シリーズもりのおふろ
福音館	福音館の単行本かがみのえほんふしぎなにじ
婦人之友	こどもがつくるたのしいお料理
婦人之友	よくみるよくきくよくする絵本たべものとかからだ
ブロンズ新	らくがきえほんあ・い・う・え・お
ブロンズ新	しごとば
ブロンズ新	続・しごとば
ブロンズ新	続々・しごとば
ブロンズ新	りんごかもしれない
文化出版局	どうぶつあれあれえほん第4集かくしたのだあれ
文研出版	ジョイフルえほん傑作集りんごがドスーン
文研出版	みるみる絵本もこもこもこ
文研出版	小学生からのなんでも法律相談5巻これから大人になるみなさんへ
福村出版	シリーズ生活を学ぶ1つくって食べよう
福村出版	シリーズ生活を学ぶ5遠くへ行きたいな
福村出版	シリーズ生活を学ぶ6わたしたちのからだ
フレーベル館	たいせつなこと
平凡社	新版はじめましてにほんちず
ポプラ	こども和英じてん
ポプラ	あそびのひろば1はんがあそび
ポプラ	あそびのひろば2やさしいてづくりのプレゼント
ポプラ	あそびのひろば4はりえあそび
ポプラ	あそびのひろば8らくがきあそび
ポプラ	ペーパーランド3とびだすカード
ポプラ	ペーパーランド8おりがみえあそび
ポプラ	ねずみくんの絵本1ねずみくんのチョッキ
ポプラ	クーとマーのおぼえるえほん1ぼくのいろなあに
ポプラ	絵本・いつでもいっしょ2どうぶつなんびき？
ポプラ	毎日かんさつ！ぐんぐんそだつはじめてのやさいづくり〈7〉ジャガイモ・サツマイモをそだてよう
むぎ書房	わかるさんすう2
山と溪谷社	家庭科の教科書小学校低学年～高学年用
理論社	あいうえおうさま
理論社	こどものための防災教室身の守りかたがわかる本
理論社	こどものためのもしもマニュアル「きんきゅうじたいにつかうもの」がわかる本 町の中編
理論社	紙コップで作ろう！ とび出す紙コップ工作 ※R9追加
リーブル	あっちゃんあがつくたべものあいうえお
リーブル	しりとりしましょ！たべものあいうえお
明石書店	イラスト版子どもの認知行動療法2だいじょうぶ自分でできる怒りの消化法ワークブック【第2版】
岩波書店	だれでもアーティスト
いかだ社	音が出るおもちゃ&楽器あそび
大泉書店	だいじだいじどーこだ？はじめての「からだ」と「性」のえほん
交通新聞	でんしゃでおぼえる！はじめてのおかいものブック
サンマーク	いのちのまつりヌチヌグスージ
少年写真新	ドキドキワクワク性教育(3)女の子が大人になるとき
ジャムハウ	最新版・親子で学ぶインターネットの安全ルール小学生・中学生編
高橋書店	たのしい！さんすうのふしぎなぜ？どうして？1・2年生
大日本図書	ゆめのかなえかた
汐文社	和楽器にチャレンジ！1和太鼓を打ってみよう
汐文社	5回で折れる季節と行事のおりがみ4ふゆ～サンタ・てぶくろ・おにほか～
汐文社	あいての気持ちを考えて話そうちくちくことば・ふわふわことば3あいてがすきなものに「どこがいいの？」！？ほか

汐文社	リサイクルで地球を救う追跡！ごみの大変身3野菜くずがクレヨンに！ほか
汐文社	それって決めつけじゃない！？アンコンシャス・バイアス 1巻男子なら虫がさわれる！？ほか
汐文社	きみも言ったことがあるかも？ ちくちくことば・ふわふわことば 言いかえじてん ①自分の意見や考えを言いたいとき ※R9追加
永岡書店	都道府県かるた
永岡書店	〔オリジナル版〕カラーモンスターきもちはなにいろ？
日本図書	おやくそくえほんはじめての「よのなかルールブック」
日本図書	自分でつくっちゃおう！かんたん手づくり防災グッズ 1 準備編
白泉社	A B C パーティ
パイインタ	はじめてのさがしておぼえるえいごのことば
ポトス出版	I a m はじめてであう英語の絵本
ほるぷ	単位がわかるメートルのえほん
光村教育	語彙を広げる！書いて、話して、伝わることば1巻
明治図書	グレーゾーンの子どもに対応した算数ワーク初級編1
ロクリン社	名画で遊ぶあそびじゅつ！絵が語る歴史と物語
埼玉福祉会	仕事に行ってきます1クッキーづくりの仕事洋美さんの1日
埼玉福祉会	仕事に行ってきますプラス1休けい上手になろう
東京書籍	目でみるえいごのずかん ※R9追加
新日本出版社	こころとからだの不安によりそう 性ってなんだろう？ 3子どもから大人へ、どう変わるの？ ※R9追加
弘文堂	こども六法（第2版） ※R9追加
汐文社	②危険なアプリに注意しよう
中央法規	「働く」の教科書 15人の先輩とやりたい仕事を見つけよう！
東京法令出版	カラーブック理科資料
秀学社	WATCH2
日本教育研	ひとりだちするための調理学習
日本教育研	ひとりだちするための社会
日本教育研	ひとりだちするための理科
ケイ・エム・ピー	6訂版 私たちのミュージックランド
旺文社	学校では教えてくれない大切なこと（1）整理整頓
旺文社	学校では教えてくれない大切なこと（11）友だち関係（考え方のちがい）
旺文社	学校では教えてくれない大切なこと（12）ネットのルール
くもん出版	脳を鍛える大人の計算ドリル
くもん出版	脳を鍛える大人の漢字ドリル
ジアース	知的障害・発達障害の人たちのための 見てわかる社会生活ガイド集
ジアース	知的障害・発達障害の人たちのための新・見てわかるビジネスマナー集
実教出版	30時間でマスター Word & Excel 最新刊
実教出版	生活と福祉
昭文社	グローバルマップ世界&日本地図帳
帝国書院	旅に出たくなる地図（日本）
東洋館	くらしに役立つ英語
日本教育研	ひとりだちするための進路学習
日本教育研	ひとりだちするためのビジネスマナー&コミュニケーション
育成会	あたらしいほうりつの本（2018）改訂版
成美堂出版	いちばんわかりやすい 家事のきほん大事典
JTBパブリッシング	るるぶ地図でよくわかる47都道府県の歴史大百科
JTBパブリッシング	るるぶ地図でよくわかる都道府県大百科
JTBパブリッシング	るるぶマンガとクイズで楽しく学ぶ日本の歴史
JTBパブリッシング	るるぶ山陰 出雲 松江 鳥取 萩'26
赤ちゃん和妈妈社	13歳からの家事のきほん46
PHP研究所	イラストでわかる13歳から自立できる家事の基本
PHP	声をあげよう、社会は変えられる 子どもが政治参加する方法
開隆堂出版	私たちの未来 未来の私たち
パイインタ	はじめてのせかいちずえほん
技術評論社	今すぐ使えるかんたんぜったいデキます！パソコン超入門 Windows11Copilot対応改訂
ジアース教育新社	やってみよう！やさしい言葉で学べる「情報」
開隆堂	道徳 私たちの未来 未来の私たち

旺文社	学校では教えてくれない大切なこと（6）友だち関係（気持ちの伝え方）
学研	脳が活性化する大人のえんぴつ書写脳ドリル
成美堂出版	かんたんだけど、しっかり作る基本の家庭料理
東洋館	くらしに役立つ音楽
日本教育研	ひとりだちするための保健
ケイ・エム・ピー	5訂版 私たちのミュージックランド
実教出版	生活産業基礎

令和8年度全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会等の成績について

1 全国高等学校総合体育大会入賞一覧

- 開催地 近畿ブロック(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県) ※サッカーは福島県と北海道開催
○ 開催期間 令和8年7月22日(水)～8月21日(金)

No.	競技名	選手名(学年)	学校名	性別	種目	順位
1	陸上競技	倉橋 拓叶(3)	大社高校	男	棒高跳	2位
2		遠藤 光基(3)	平田高校	男	3000m障害	5位
3		中濱 瑤稀(3)	大社高校	女	砲丸投	5位
4		岩本 遥真(1)・柳 斗真(1) 野田 小獅郎(3)・須山 勇人(2)	大社高校	男	4×100mリレー	7位
5		金山 光(3)	大社高校	男	棒高跳	7位
6	剣道	大社高校		女	団体	5位
7	柔道	東向 漱太(2)	開星高校	男	60kg級	5位
8		出雲西高校		女	団体	5位
9	相撲	池田 琥大郎(1)	隠岐高校	男	80kg級	5位
10	卓球	三好 蒼空(3)・金丸 陽(3)	出雲北陵高校	男	ダブルス	3位
11	水泳	杉浦 亘(2)	松江北高校	男	100mバタフライ	8位
12		廣富 諒(2)	松江南高校	男	高飛込	5位
13	ウエイトリフティング	高崎 陽(3)	出雲農林高校	女	63kg級スナッチ	8位
14	ホッケー	横田高校		男		1位
15		横田高校		女		3位
16	カヌー	矢野 来樹(3)	出雲農林高校	男	カナディアンシングル200m	5位
17					カナディアンシングル500m	3位
18		飯島 颯(3)・勝部 利一(2)	出雲農林高校	男	カナディアンペア200m	1位
19					カナディアンペア500m	8位
20		飯島 颯(3)・矢野 来樹(3) 勝部 利一(2)・陶山 直太郎(2)	出雲農林高校	男	カナディアンフォア200m	3位
21		上野 有象(3)・吉村 和虎(2)	島根中央高校	男	カヤックペア200m	7位
22					カヤックペア500m	7位
23		山下 柊大(3)・上野 有象(3) 吉村 和虎(2)・重松 楓(3)	島根中央高校	男	カヤックフォア200m	6位
24					カヤックフォア500m	4位
25		浦川 千穂(3)・西浦 ジェシカ(2)	島根中央高校	女	カヤックペア200m	6位
26					カヤックペア500m	8位
27		浦川 千穂(3)・西浦 ジェシカ(2) 植出 千歳(1)・渡邊 結子(1)	島根中央高校	女	カヤックフォア200m	4位
28					カヤックフォア500m	5位
29	ボクシング	兵主 瑠聖(3)	松江西高校	男	ミドル級	1位

【公開競技】(将来的な正式種目への採用や競技普及を目的として実施されるもの)

1	水泳	廣富 諒(2)・田中 愛琉(2)	松江南高校・松江商業高校	男	シンクロナイズド飛板飛込	2位
2		吉田 こころ(1)・永江 楓子(1)	松江南高校・松江東高校	女	シンクロナイズド飛板飛込	6位
3	カヌー	佐脇 瑠南(3)	島根中央高校	女	カナディアンシングル200m	3位
4					カナディアンシングル500m	3位
5	ボクシング	池田 友結(3)	出雲西高校	女	ライトフライ級	5位
6		金丸 由良(3)	出雲西高校	女	バンタム級	3位
7		永瀬 愛華(2)	出雲西高校	女	ライト級	3位

2 全国中学校体育大会等入賞一覧

- 開催地 中国ブロック(鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県)
- 開催期間 令和8年8月17日(月)～8月24日(月)
- 島根県開催競技 バスケットボール(松江市・出雲市)、軟式野球(松江市・安来市・出雲市)、ソフトテニス(松江市)

No.	競技名	選手名(学年)	学校名	性別	種目	順位
1	柔道	恩田 歩佳(3)	開星中学校	女	48kg級	3位
2	軟式野球	益田市立益田中学校		男		5位
3	卓球	出雲北陵中学校		男	団体	3位
4		松徳学院中学校		男	団体	5位
5		明誠U15		女	団体	5位
6	ホッケー	奥出雲町立横田中学校		男		1位
7				女		5位
8	テニス	錦織 柑太(3)	開星中学校	男	シングルス	5位

第50回全国高等学校総合文化祭の成績について

1 大会の概要

- (1) 各都道府県代表の高校生による芸術文化の祭典で22部門を実施
- (2) 開催期間 令和8年7月26日（日）～8月1日（土）
- (3) 会場 秋田県内8市
- (4) 参加生徒数 約2万人

2 本県の参加状況

- (1) 参加部門 15部門（総合開会式を含む）
- (2) 参加生徒数 135人（19校）

3 入賞状況

(1) 美術・工芸部門

奨励賞 作品名：こっちを見て
出雲高等学校 2年 奥井 琴音

(2) 書道部門

特別賞 作品名：漱石の詩
松江東高等学校 3年 梅瀬 真心

(3) 写真部門

優秀賞 作品名：家族の時間
平田高等学校 2年 岡 美遙

奨励賞 作品名：晚餐
出雲北陵高等学校 3年 水口 笑奈

(4) 放送部門

優秀賞（朗読部門）
松江南高等学校 3年 大櫃 みなも

(5) 囲碁部門

第4位（男女混成団体戦）
松江北高等学校・出雲工業高等学校

(6) 将棋部門

第3位（女子団体戦）
松江南高等学校

(7) 小倉百人一首かるた部門

優秀賞（読み手コンクール部門）
石見智翠館高等学校 3年 舘下 美郷

第50回全国高等学校総合文化祭2026あきた総文

行事・開催部門		学校名	参加生徒数 135名	演目・作品名	結果・成績 (■:表彰 制度なし)
1	総合開会式	島根県立平田高等学校	1		■
3	合唱	島根県立松江南高等学校	6	1. 女声合唱組曲「花咲くまに思ひ出よ」より 私のいのちは 2. アンソロジー I - 女声合唱とピアノのためのー～序・泣いているきみ～	■
		島根県立松江東高等学校	3		
		島根県立大社高等学校	10		
		島根県立益田高等学校	6		
4	日本音楽	島根県立松江北高等学校	8	和楽器のための三重奏曲	入賞なし
5	郷土芸能	島根県立出雲農林高等学校	12	新七兵衛太鼓	入賞なし
		島根県立江津高等学校	10	石見神楽「塵輪」	入賞なし
6	美術・工芸	島根県立松江南高等学校	1	絵画「ぼくはわからない」	入賞なし
		島根県立出雲高等学校	1	絵画「黎明」	入賞なし
		島根県立出雲高等学校	1	絵画「こっちを見て」	奨励賞
		島根県立大田高等学校	1	絵画「寝不足」	入賞なし
		出雲北陵高等学校	1	絵画「逃亡」	入賞なし
		出雲北陵高等学校	1	映像「color」	入賞なし
		島根県立横田高等学校	4	彫刻「測り知れぬオロチの心」	入賞なし
		島根県立松江北高等学校	1	「漱石の詩」	特別賞
7	書道	島根県立出雲高等学校	2	「臨 敦煌漢簡」	入賞なし
		島根県立浜田高等学校	1	「新美南吉の詩『貝殻』より」	入賞なし
		島根県立松江北高等学校	1	「変わらぬ背中 変わるワタン」	入賞なし
8	写真	島根県立平田高等学校	1	「天使の光」	入賞なし
		島根県立平田高等学校	1	「家族の時間」	優秀賞
		島根県立出雲高等学校	1	「命の余韻」	入賞なし
		出雲北陵高等学校	1	「晩餐」	奨励賞
		石見智翠館高等学校	1	アナウンス「愛の物語」	入賞なし
9	放送	石見智翠館高等学校	1	アナウンス「びいびいマスター検定」	入賞なし
		石見智翠館高等学校	1	アナウンス「神楽面人生に悔いはなし」	入賞なし
		島根県立松江南高等学校	1	朗読「ヘルンとセツ」	入賞なし
		島根県立松江南高等学校	1	朗読「normal?」	優秀賞
		石見智翠館高等学校	1	朗読「少年と犬」	入賞なし
		島根県立出雲工業高等学校	3	AM「KACHN」改札線の音に関する作品	入賞なし
		島根県立松江南高等学校	3	VM「松江城～地域と雲海が紡ぐ物語～」	入賞なし
		島根県立出雲工業高等学校	3	VM「出雲に残す風景」出雲地方独特の築地松を話題にした作品	入賞なし
		島根県立松江南高等学校	1	男子個人戦	入賞なし
10	囲碁	島根県立出雲高等学校	1	女子個人戦	入賞なし
		島根県立松江北高等学校	2	団体戦(男女混成)	第4位
		島根県立出雲工業高等学校	1	団体戦(男女混成)	
		松江工業高等専門学校	3	男子団体戦	入賞なし
11	将棋	島根県立松江南高等学校	3	女子団体戦	第3位
		島根県立松江南高等学校	2	男子個人戦	入賞なし
		島根県立出雲高等学校	1	男子個人戦	入賞なし
		島根県立松江南高等学校	1	女子個人戦	入賞なし
		島根県立出雲高等学校	1	女子個人戦	入賞なし
		島根県立松江北高等学校	1	「健全な批判力でよりよい未来へ」	入賞なし
12	弁論	島根県立松江北高等学校	1	「Trying to know～知ろうとすることから～」	入賞なし
		島根県立松江北高等学校	1	「Trying to know～知ろうとすることから～」	入賞なし
13	小倉百人一首かゝるた	島根県立松江北高等学校	1	競技	入賞なし
		島根県立益田高等学校	7	競技	入賞なし
		石見智翠館高等学校	1	読み手コンクール	優秀賞
14	新聞	島根県立出雲高等学校	2	「鷹の澤新聞」	入賞なし
		島根県立安来高等学校	2	(島根県推薦)	入賞なし
		島根県立出雲工業高等学校	2	(島根県推薦)	入賞なし
15	文芸	島根県立出雲高等学校	1	文芸部誌	■
		島根県立出雲高等学校	1	散文	
		島根県立三刀屋高等学校	1	詩	
		島根県立出雲高等学校	1	短歌	
		島根県立平田高等学校	1	俳句	
16	自然科学	島根県立松江南高等学校	2	研究発表 化学「央道湖・Air電池Ⅱ ～湖水と空気から電圧を得る一工夫～」	入賞なし
		島根県立松江北高等学校	1	研究発表 生物「お米のおいしさ大研究 パートⅡ ～発芽玄米の構造が麺加工品に及ぼし得る影響～」	入賞なし
		島根県立松江北高等学校	2	研究発表 地学「黄鉄鉱による酸性鉱山排水の発生と、自然素材を用いた中和効果の評価～持続可能な環境保全に向けて～」	入賞なし
		島根県立松江南高等学校	2	ポスター発表「屈折率を用いた溶液の濃度分布測定を試み」	入賞なし